

楽ナビ Lite マップ Type I Vol.2

ナビゲーション & オーディオブック

目次 4 ページ

はじめに

基本操作

場所を探す操作

Liteメニューの操作

ルートに関する操作

場所の登録や各種編集を行う

渋滞情報を取得して利用する

ラジオ・交通情報を聞く

ワンセグ、地デジを見る

CD、ROM(WMA/MP3/AAC)を聴く

DVDビデオ、DVD-VR、DivXを見る

iPodを使う

SD・USBを使う

その他のオーディオ機器を使う

携帯電話を使う

バックカメラを使う

設定や調整をする

各種情報を表示する


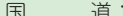
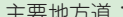

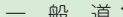
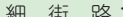
文字を入力する

付録

地図の見かた

目的地までの道のり距離と到着予想時刻を表示します。また、到着予想時刻を計算するための「到着予想時刻速度（一般道／有料道）」を実際の走行速度に近い設定にすることで、より現実的な到着予想時刻を表示させることもできます。

道路であることを示しています。また、道路種別を色で判断することができます。

有料道： 
 国道： 
 主要地方道： 
 都道府県道： 
 一般道： 
 細街路： 

現在の地図表示スケール（縮尺）を示しています。タッチすることでスケールを変更（拡大／縮小）することができます。

赤い三角が北を示しています。タッチすることで地図の向きや表示方法を変更できます。また、色でGPSの測位状態を判断することができます。

赤：3次元測位
 黄：2次元測位
 灰：未測位

ナビゲーションでよく使う機能がまとめられたショートカットメニューが表示されます。

現在いる場所を示しています（自車マーク）。また、自車マークの向きによって進行方向を判断することができます。

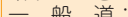
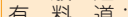
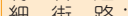
進行方向



進行方向 ←

現在いる場所に対して、目的地の方向を示しています。

ルート案内中の道路であることを示しています。また、道路種別を色で判断することができます。

一般道： 
 有料道： 
 細街路： 

次の案内地までの距離と曲がる方向および交差点名称が表示されます（ルートインフォメーション）。

レーン情報を示しています。誘導レーンは緑色、推奨される誘導レーンは明るい緑色で表示されます。

方面名称を案内する看板が表示されます。誘導中のレーンが緑色で表示されます。

現在の時刻を表示します。時刻はGPS衛星の電波を受信して取得しているため、任意で変更することはできません。

現在いる市区町村名を表示します。タッチすることで「走行中の道路名」（ルート案内中のみ）、「表示なし」に変更することもできます。

ルート案内中は渋滞情報を取得します。ルート案内中で無い場合は規制情報を取得します。長く押しと通信で渋滞情報を取得することもできます。（別途ご登録や設定が必要です）

FM多重情報によるVICS情報提供時刻（F）や、オンデマンドVICSまたはスマートループによる渋滞情報提供時刻（O/S）を示しています。



安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください)

マークの意味については、スタートブックをご覧ください。

走行中はナビゲーションの操作をしない

走行中に運転者が操作するのは、絶対におやめください。

走行中に制限される機能の操作は

安全な場所に車を止めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。
ルート探索の設定などの複雑な操作は、安全のため、走行中にはできないように設計されています。(操作しようとする時、「走行中は操作できません」とメッセージが表示されます。)

操作はエンジンをかけたままで

エンジンを止めて本機を操作すると、バッテリー消耗の原因になります。本機の操作はエンジンをかけたままで行ってください。

交通規則に従って走行する

ルート探索をすると、自動的にルート / 音声案内が設定されます。曜日、時刻規制などの交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。

なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

画面に表示される情報は実際と異なる場合があります。

ナビゲーションの画面に表示される情報や建物や道路などの形状は実際と異なる場合があります。

安全上のご注意



警告

自動車の運転中に地点登録・地点検索などの操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。



注意

ナビゲーションによるルート案内時は、実際の交通規則に従って走行してください。



目次

地図の見かた	2
安全上のご注意	
（別冊の「安全上のご注意」もお読みください） ...	3
走行中はナビゲーションの操作をしない ...	3
交通規則に従って走行する	3
本書の見かた	10
本書の表記のしかた	10

基本操作

共通操作	12
基本的な操作方法	12
タッチパネルで操作する	12
ボタンで操作する	12
ロータリーボリューム& セレクトキーで操作する	12
ナビゲーション画面と	
AVソース画面を切り換える	13
メニューを表示する	13
メインメニューを表示する	13
Liteメニューを表示する	14
ショートカットメニューを表示する ...	15
リスト画面の操作方法	16
ページ送り操作	16
行送り/音送り/あかさたな送り操作 ...	16
インジケーター付リストの操作 ...	16
ナビゲーションの基本操作	17
現在地画面を表示させる	17
地図を動かす	17
地図のスケールを変える	18
地図画面の表示方法を変える	18
走行中に表示される画面	19
交差点に近づくと	19
有料道路を走行すると	19
走行中の音声案内	20
走行中の道路を切り換える	20
ハイウェイモードについて	21
先の施設情報を見る	21
ジャンクションの	
分岐先の情報を見るには	22
サービスエリアやパーキングエリアで 表示される情報	22

施設のイラスト表示について	23
有料道路の料金所に近づくと	23
サイドマップ表示	24
ハイウェイモード	24
リスト画面	24
情報画面	24
オーディオの基本操作	25
ご使用前に	
知っておいていただきたいこと ...	25
安全走行のために	25
ワンセグ/SD/USBを お使いになる場合	25
リアモニターについて	25
AVソースを切り換える	26
AVソースをOFFにする	26
操作タッチキーについて	27
AVソースプレートについて	27
AVソース画面の表示方法を切り換える ...	28
イコライザーカーブを切り換える ...	28
各イコライザーカーブの効果	29
ファンクションメニューを表示する ...	29
本機で再生可能なメディアと ファイルの種類	30

場所を探す操作

場所を探す	32
地図で探す	32
名称で探す	32
住所で探す	33
ジャンルで探す	34
周辺施設で探す	35
検索後のロゴマークについて	36
電話番号で探す	36
登録した場所から探す	37
最近探した場所から探す	37
マップコードで探す	38
詳細情報を見る	39
登録した場所に合わせたとき	39
VICSマークに合わせたとき	39
マップクリップ [®] （2次元バーコード）を使う	40

Liteメニューの操作

Liteメニューを使う	44
Liteメニューを表示する	44
よく行く場所に案内させる	44
お買いものやお食事の スポットを探して案内させる	45
外出先から自宅まで案内させる	45
売価の安いガソリンスタンドや 空いている駐車場を探して案内させる	45

ルートに関する操作

目的地までのルートを探索させる ...	48
目的地(行き先)までルート探索させる ...	48
自宅までルート探索させる	49
ルート探索時の機能	49
渋滞情報を考慮したルート探索 (渋滞考慮ルート探索)	49
案内開始画面の見かた	50
ルートを確認する	51
ルートプロフィールで確認する	51
設定地点リストで確認する	51
ルートスクロールで確認する	52
デモ走行で確認する	52
デモ走行中画面での操作	53
ルートを詳細に設定する	54
立寄地を指定(追加)する	54
立寄地を並べ替える(手動)	55
出発地を指定する	56
探索条件を指定する	56
立寄地を先送りする	57
ルート誘導・案内	58
ルート案内中の現在地画面	58
案内地に近づくと	59
都市高速道路の入口に近づくと	59
有料道路の分岐に近づくと	59
音声による誘導・案内	60
進行方向案内	60
一般道路走行時の案内	60
ルート案内中の操作と機能	61

ルートから外れたときに自動的に ルートを再探索させる	61
状況に応じて 新しいルートを提案させる	61
ルート上に通行止めが発生した場合	62
ルートを消去する	63

場所の登録や各種編集を行う

地点の登録	66
自宅を登録する	66
場所を登録する	66
用意されている名称で登録する	67
よく行く場所を登録する	68
登録データの編集	69
登録した場所の登録内容を変更する	69
登録した場所の名称を 地図上に表示させる	70
効果音の鳴りかた	70
よく行く場所の登録内容を変更する	70
登録した場所・ よく行く場所を消去する	71
その他のデータ編集	72
最近探した場所を消去する	72
走行軌跡を消去する	72

渋滞情報を取得して利用する

渋滞情報	74
VICs情報	74
オンデマンドVICs情報/ スマートループ渋滞情報	74
VICs情報を利用する	75
VICs情報の表示形態	75
地図上でVICs情報を見る	76
VICs情報マークの詳細を見る	77
緊急情報の自動表示	77
VICsの文字・図形情報を見る	78
放送局を選ぶ	79
放送局の受信感度の確認について	79
通信で渋滞情報を取得する	80
オンデマンドVICsについて	80

スマートループと スマートループ渋滞情報について...80	
手動で取得する	81
自動で取得する	81
通信で取得した渋滞情報の 地図表示について	82
通信で取得した渋滞情報の 提供時刻を確認する	83

ラジオ・交通情報を聞く

ラジオを聞く	86
基本操作	86
プリセットを切り換える	86
バンドを切り換える	87
放送局を手動で登録する	87
放送局を自動で登録する	88
交通情報を聞く	89

ワンセグ、地デジを見る

ワンセグを見る	92
基本操作	92
放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)	93
番組情報を表示する	93
チャンネルリストを表示して 放送局を選ぶ	94
TV表示設定を行う	94
地デジを見る	95
基本操作	95
放送局を手動で登録する	96
放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)	96
バンドを切り換える	97
音声を切り換える	97
字幕を切り換える	98
サービスを切り換える	98
映像を切り換える	99

CD、ROM (WMA/MP3/AAC) を聴く

CDを聴く	102
基本操作	102
再生メディアの切り換え	103
リピート再生	103
ランダム再生	104
スキャン再生	104
ROM(WMA/MP3/AAC)を聴く ...	105
基本操作	105
詳細情報を表示する	106
再生メディアの切り換え	106
リピート再生	107
ランダム再生	107
スキャン再生	108

DVDビデオ、DVD-VR、DivXを見る

DVDビデオを見る	110
基本操作	110
ディスクメニューの操作	112
ブックマークの登録	112
タッチキーで登録する	112
イジェクトボタンで登録する	113
AVソースプレートに表示される 情報の切り換え	113
コマ送り/スロー再生	114
コマ送り再生する	114
スロー再生する	114
見たい場面を探す (ダイレクトサーチ)	115
リターン再生	115
音声言語の切り換え	116
字幕言語の切り換え	116
アングルの切り換え	117
タイトルサーチ	117
リピート再生	118
音声出力の切り換え	118
DVD-VRを見る	119

基本操作	119
CMスキップ/バック	120
プレイリスト/ オリジナルリストから再生する... ..	121
AVソースプレートに表示される 情報の切り換え	121
音声言語の切り換え	122
字幕言語の切り換え	122
コマ送り/スロー再生	123
コマ送り再生する.....	123
スロー再生する.....	123
見たい場面を探す (ダイレクトサーチ).....	123
リピート再生	124
音声出力の切り換え	124
DivXを見る.....	125
基本操作	125
見たい場面を探す (ダイレクトサーチ).....	126
AVソースプレートに表示される 情報の切り換え	127
コマ送り/スロー再生	127
コマ送り再生する.....	127
スロー再生する.....	127
字幕言語の切り換え	128
音声言語の切り換え	128
レンタルコンテンツの ファイルを再生した場合	129
再生メディアの切り換え	129
リピート再生	130
DVD機能設定のしかた.....	131
基本操作	131
言語設定	132
アシスト字幕	132
マルチアングル	133
テレビアスペクト	133
視聴制限	134
DivX VODコード.....	135
オートプレイ	135
字幕切換	136
言語コード表.....	137

iPodを使う

iPodを聴く/見る.....	140
基本操作	140
カバーアートについて.....	141
iPodミュージックのリストから 聴きたい曲を探す	142
iPodビデオのリストから 見たい映像を探す	142
リピート再生	143
シャッフル再生	143
オーディオブック	144
ワイドスクリーン	144

SD・USBを使う

SDメモリーカード/USBメモリー内の データを聴く/見る.....	146
基本操作	146
詳細情報を表示する	147
見たい場面を探す (ダイレクトサーチ).....	148
リピート再生	148
ランダム再生	149
スキャン再生	149
推奨コーデック	150

その他のオーディオ機器を使う

エクスターナルユニットの操作のしかた... ..	152
ビデオなどを見る.....	153

携帯電話を使う

携帯電話を使う.....	156
ハンズフリー通話をする	156
電話のかけかた	158
メモリダイヤルを呼び出して 電話をかける.....	158
電話番号を入力して電話をかける... ..	159
発着信の履歴から 相手を選んで電話をかける	159
地図に登録された電話番号に 電話をかける場合.....	160

メモリダイヤルを読み込む	160
データを消去する	162

バックカメラを使う

バックカメラを使う	164
バックカメラの切り換えかた	164

設定や調整をする

ナビ設定	166
機能設定をする	166
機能設定項目一覧	167
ロゴマーク表示設定をする	170
車両情報設定をする	170
有料道路料金区分の設定	171
駐車制限(車種)の設定	171
駐車制限(車両寸法)の設定	171
ナビゲーションの音量調整をする ...	172

通信接続設定

通信機器使用上のご注意	173
通信接続設定をする	173
携帯電話を登録する	174
詳細設定を行う	175
携帯電話の接続状態を設定する ...	176
接続先(プロバイダ)を設定する ...	176
接続先(プロバイダ)を変更する ...	178

システム設定

バックカメラを設定する	179
イルミネーションカラー設定をする ...	180
カスタム色を登録する	180
タッチパネル調整をする	181
明るさ調整をする	182
一時的に画面を消す	182

AV設定

フェーダー / バランス設定	184
イコライザー設定	184
イコライザーカーブを切り換える ...	184
AVソースごとにオリジナルの イコライザーカーブを登録する ...	185
AVソース共通のオリジナル イコライザーカーブを登録する ...	186

ラウドネス設定	187
サブウーファー設定	188
ハイパスフィルター設定	189
ソースレベルアジャスター設定 ...	189
バスブースター設定	190
その他設定	190
AV1 / AV2入力	191
アンテナコントロール連動	191
ワイドモード設定	192
消音設定	192

設定初期化

各種情報を表示する

各種情報の表示	196
GPS受信状態を表示する	196
接続状態を表示する	197
バージョン情報を表示する	198

文字を入力する

文字の入力操作	200
文字の入力操作の流れ	200
文字の種類を切り換える	200
全角・半角を切り換える	201
大文字・小文字を切り換える	201
文字を入力する	202
基本操作	202
濁点、半濁点、音引きなどを追加する ...	203
文字を削除する	203
スペースを空ける	203
文字を挿入する	203
漢字に変換する	204
文字入力を完了する	205
かな漢字変換できる記号	206





付録

再生できるディスクの種類	208
DVDに表示されているマークの意味 ...	209
ディスクの操作について	209
ディスクの構成について	210

DVDビデオ	210	その他の情報	229
映画など	210	検索におけるデータベースについて ...	229
カラオケディスク	210	ルートに関する注意事項	229
CD	210	VICS情報に関する注意事項	231
WMA/MP3/AACファイルについて ...	211	阪神高速道路株式会社からのご連絡 ...	231
フォルダーとWMA/MP3		収録データベースについて	232
およびAACファイルについて ...	211	索引	233
WMAとは?	212	用語索引	233
再生できるWMAディスクについて ...	212	五十音順	233
MP3とは?	212	数字・アルファベット順	236
再生できるMP3ディスクについて ...	212	記号・マーク一覧	239
AACとは?	213		
再生できるAACディスクについて ...	213		
DivXとは?	213		
ナビゲーションのしくみ	214		
現在地がわかるしくみ	214		
GPSによる測位	214		
自立航法による測位	214		
測位の精度を高めるためのしくみ ...	215		
マップマッチング	215		
誤差について	215		
故障かな?と思ったら	218		
ナビゲーション	218		
FM/AM	218		
DVD	218		
CD、ROM (WMA/MP3/AAC) ...	219		
SDメモリーカード/USBメモリー ...	220		
ワンセグ	221		
地上デジタルテレビ	221		
エラーメッセージと対処方法	223		
共通項目	223		
ナビゲーション	223		
DVD、CD、ROM (WMA/MP3/			
AAC)、DivX	224		
ワンセグ	224		
iPod	225		
地上デジタルテレビ	225		
VICS情報有料放送サービス			
契約約款	227		

本書の見かた

本書の表記のしかた

表記	意味
	注意マーク 操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明しています。
	メモ 操作するうえで注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
	タッチキーを表します。 例：戻るにタッチする
	ナビゲーション本体についているボタンを表します。 例：(戻る)を押す
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：→「場所を探す」(P32)
つづく→	続きマーク 右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。
長く押す/ 長くタッチする	“ピッ”と音がするまで押す(タッチする)ことを示します。
タッチし続ける	押している(タッチしている)間だけ動作していることを示します。

メモ

- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載している製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。

基本操作

共通操作	12
ナビゲーションの基本操作	17
オーディオの基本操作	25

共通操作

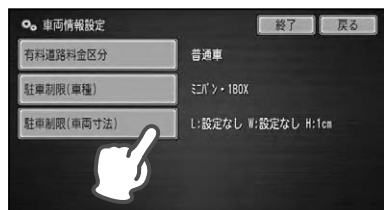
本機の基本操作について説明します。

基本的な操作方法

本機は、以下の3つの操作方法が基本となります。

タッチパネルで操作する

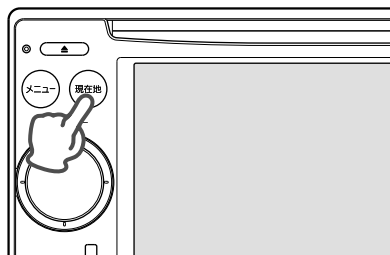
画面上に表示されるマークや項目（操作タッチキー）に直接指で触れる（タッチする）ことで操作することができます。



終了	現在開いているメニューなどを終了して元の画面に戻ります。
戻る	現在開いているメニューなどの画面を1つ前の画面に戻します。

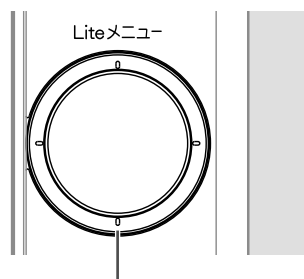
ボタンで操作する

本機のボタンを使って、画面の切り換え、メニュー画面の表示などを行うことができます。



ロータリーボリューム&セクターで操作する

ロータリーボリューム&セクターは、動かしかたによって以下のような操作が行えます。



ロータリーボリューム&セクター

左右に倒す／ 左右に長く倒す／ 左右に倒し続ける／ 上下に倒す 押す	各 AV ソースに応じた操作を行います。
長く押す (約2秒以上)	一時的に音を消します。(MUTE) もう一度長く押すと、元の音量に戻ります。
左右に回す	オーディオの音量を調整します。

メモ

- AVソースが「ワンセグ」、「SD」、「USB」のときにオーディオの音量調整を行うと、ナビゲーションの案内音声と操作音も同時に変化します。これは本機の仕様で、故障ではありません。

ナビゲーション画面とAVソース画面を切り換える

ナビゲーション画面（地図画面）とAVソース画面（オーディオ画面）をワンタッチで切り換えることができます。

1 ナビゲーション画面で **AV** にタッチする



AVソース画面が表示されます。

2 AVソース画面で **ナビ** にタッチする



ナビゲーション画面が表示されます。

メモ

- AVソース画面で **MEMO** を押してナビゲーション画面に切り換えることもできます。
- ワンセグを視聴中またはSDメモリーカード／USBメモリー内の映像ファイル再生中に、AVソース画面からナビゲーション画面やメニュー画面などに切り換えると、映像と音声は一時停止状態となります。

メニューを表示する

メインメニューを表示する

本機のいろいろな機能（検索機能、AV機能、設定・編集機能、携帯電話機能など）を使うには、はじめにメインメニューを表示させます。

1 **メニュー** を押す

メインメニューが表示されます。



お出かけメニュー

目的地や場所を探すときのメニューです。

1 **メニュー** を押し、**お出かけ** にタッチする



- 名称 (→ P32)
- 住所 (→ P33)
- ジャンル (→ P34)
- 周辺施設 (→ P35)
- 電話番号 (→ P36)
- 登録した場所 (→ P37)
- 最近探した場所 (→ P37)
- マップコード (→ P38)
- 自宅 (→ P49, 66)
- ルート消去 (→ P63)

AVソースメニュー

本機のオーディオ機能を選ぶメニューです。

1 を押し、**AV** にタッチする



- DISC (→ P102, 105, 110, 119, 125)
- FM/AM (→ P86)
- ワンセグ (→ P92)
- iPod/USB (→ P140, 146)
- SD (→ P146)
- 地上デジタル TV (→ P95)
- 交通情報 (→ P89)
- AV1/2 (→ P153)
- EXT1/2 (→ P152)
- AV ソース OFF (→ P26)

携帯電話メニュー

携帯電話を接続し、ハンズフリー通話を行ったり、メモリアイタルの操作を行うメニューです。

1 を押し、**携帯電話** にタッチする



- メモリアイタル呼び出し (→ P158)
- 発信履歴・着信履歴 (→ P159)
- ダイヤル発信 (→ P159)
- メモリアイタル読み込み (→ P160)

メモ

• メモリアイタル、発信履歴・着信履歴は、本機に登録された携帯電話ごとに保存されます。接続する携帯電話を切り換える(→P176)と、表示されるメモリアイタル、発信履歴・着信履歴の内容も切り換わります。

設定・編集メニュー

ナビゲーションの設定や編集・調整、オーディオの機能や音の設定、本機の設定などを行うメニューです。

1 を押し、**設定・編集** にタッチする



- ナビ設定 (→ P166)
- ナビデータ編集 (→ P69)
- AV 設定 (→ P183)
- システム設定 (→ P179)
- 通信接続設定 (→ P173)
- 各種情報 (→ P196)

Liteメニューを表示する

よく行く場所や買い物、食事場所などをかんたんに探すことができる生活に便利な機能をまとめたメニューです。

1 (ロータリーボリューム&セレクト)を押す

Liteメニューが表示されます。



- よく行く場所 (→ P44)
- ショッピング (→ P45)
- グルメ (→ P45)
- お帰り (→ P45)
- ガススタ価格 (→ P45)
- 駐車場満空 (→ P45)

ショートカットメニューを表示する

現在地画面や場所を探したあとに操作するメニューです。ルート探索や地点登録、詳細情報の表示などを行うことができます。

1 現在地画面またはスクロール画面で にタッチする



現在地またはスクロール位置に対して、それぞれの状況に応じたメニュー項目が表示されます。

現在地画面のとき



ルート編集 ルート案内中は、ルート編集画面を表示します。(→ P51, 54, 63)

ここを登録する 現在いる場所を本機に登録することができます。(→ P66)

周辺施設で探す 現在地周辺の施設をジャンルを選んで検索することができます。(→ P35)

別道路切替 一般道路と有料道路が並行している場所を走行中、自車位置が実際と異なる種類の道路に乗ってしまった場合に、自車位置を一般道路または有料道路へ切り換えることができます。(→ P20)

マップクリップ 現在いる場所の情報をQRコードにすることができます。(→ P40)

スクロール画面のとき



ここへ行く スクロールした場所を目的地として、ルート探索を行います。(→ P48)


ここを登録する スクロールした場所を本機に登録することができます。(→ P66)

周辺施設で探す スクロールした場所周辺の施設をジャンルを選んで検索することができます。(→ P35)

詳細情報を見る スクロールした場所に詳細情報があれば、その情報を見ることができます。(→ P39)

マップクリップ スクロールした場所の情報をQRコードにすることができます。(→ P40)

メモ

- ・ **戻る** または  にタッチすると、ショートカットメニューを閉じることができます。

リスト画面の操作方法

メニュー操作中に表示されるリスト画面の共通操作について説明します。

ページ送り操作



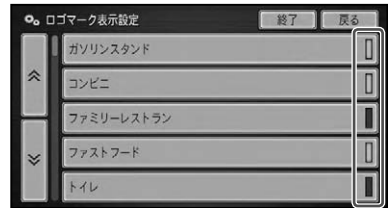
- ⏪ / ⏩ 1画面ずつ移動します。
(タッチし続けると、連続で移動します。)

行送り／音送り／あかさたな送り操作



- ⏪ (あ〜わ) リストを行送りすることができます。
(例：あ→か→さ→た→な)
- ⏪ (例：あ) 繰り返しタッチすることにより、リストを音送りすることができます。
(例：あ→い→う→え→お)
- ⏪ / ⏩ タブを次ページ／前ページに送ることができます。
(例：あかさたな ← は
まやらわ)

インジケータ付リストの操作



インジケータ付リストでは、項目を選ぶとリスト右側のインジケータが点灯し、選択中であることを示します。もう一度項目を選ぶとインジケータが消灯し、選択が解除されます。

ナビゲーションの基本操作

ナビゲーションの基本操作について説明します。

現在地画面を表示させる

どの画面を表示していても、かんたんに現在地画面に戻ることができます。

1 現在地を押す

現在地の地図が表示されます。



地図には、自分の車の現在地と進行方向を示す自車マークが表示されます。

メモ

- 5km/h以下の低速走行中は自車マークが実際の現在地や進行方向とずれる（異なる）場合があります。
- 現在地画面について、詳しくは「地図の見かた」(→P2)をご覧ください。

地図を動かす

地図上の見たい場所に地図を動かします（スクロール）。

1 地図上の見たい方向にタッチする

タッチした場所が中心となるように地図が動きます。



メモ

- 画面にタッチしたまま指を動かしてスクロールすることもでき、画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が速くなります。ただし、走行中はタッチした場所までしかスクロールできません。

2 位置を微調整したい場合は、**微調整**にタッチし、8方向矢印にタッチする



矢印にタッチすることにより、地図が少しずつ動きます。

もう一度**微調整**にタッチすると、8方向の矢印が消えます。

メモ

- **微調整**は、ノーマルビュー(→P18)の場合のみ表示されます。

地図のスケールを変える

50m～500kmの範囲で地図のスケールを変えることができます。

1 スケール表示(例：**100m**)にタッチする

2 詳細または**広域**にタッチする



詳細	表示させる地図の範囲は狭くなりますが、細い道路などがより詳しく表示されます。
広域	細い道路などは表示されませんが、現在地から遠い目的地までの道のりなどが一目で分かる広い範囲の地図を表示します。

メモ

- **詳細** や **広域** にタッチするごとに、50m、100m、200m、500m、1km、2km、5km、10km、20km、50km、100km、200km、500kmとスケール表示が変わります。
- **詳細** や **広域** にタッチし続けると、連続してスケールを変えることができます。

地図画面の表示方法を変える

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変えることができます。

1 方位マークにタッチする



タッチするごとに、地図の表示が以下のように切り換わります。

ノーマルビュー（ヘディングアップ）

「進行方向」が常に上になるように地図が自動的に回転する、2Dの地図です。工場出荷時の設定です。



ノーマルビュー（ノースアップ）

「北」が常に上になるように表示される、2Dの地図です。



スカイビュー（ヘディングアップ固定） 上空から見ているような3Dの地図です。



ハイウェイモード

有料道路走行時の専用画面です。
前方の有料道路施設までの距離や、到着（通過）までの予想残時間、分岐などの情報が表示されます。



メモ

- ハイウェイモードは、有料道路走行中のみ切り換えることができます。

ノーマルビュー（ヘディングアップ）に戻ります。

走行中に表示される画面

交差点に近づくと

交差点の手前約300mに近づくと、場所により通過する交差点名、レーン情報、方面案内、および信号機のマークが表示されます。



メモ

- 連続した交差点の場合、案内が間に合わない場合があります。

有料道路を走行すると

有料道路を走行すると、自動的にハイウェイモードに切り換わります（オートハイウェイモード）。



メモ

- オートハイウェイモードは、ON/OFFできません。→「機能設定をする」(P166)
- 一部表示対象外の有料道路もあります。
- ハイウェイモードについて詳しくは「ハイウェイモードについて」(→P21)をご覧ください。

走行中の音声案内

運転の状況に応じて音声で案内を行います（セーフティインフォメーション）。

有料道路注意地点	ここからおよそ5キロ先までは、十分運転に注意してください。 ----- この先、左からの合流があります（右からの合流があります）（合流があります）、ご注意ください。
踏切案内	この先踏切です。ご注意ください。
右左折専用レーン案内	およそ300m先、右折専用レーンがあります（左折専用レーンがあります）。ご注意ください。 ----- およそ300m先、右折専用および左折専用レーンがあります。ご注意ください。
リフレッシュ案内	そろそろ2時間になります。休憩しませんか？
ライト点灯案内	まもなく日が暮れます。ライトの確認をしてください。

メモ

- 有料道路注意地点は、有料道路を走行中のみ行われます。
- 踏切案内は、走行中の道路の先に踏切がない場合でも近くに踏切があれば案内される場合があります。また、すべての踏切で案内されるわけではありません。
- 右左折専用レーン案内は、直進レーンが右折または左折専用レーンに変化する地点を案内します。ルート案内中でなくても案内されます。
- 右左折専用レーン案内では、誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状と合わない場合があります。
- 有料道路注意地点以外の案内は、ON/OFFできます。→「機能設定をする」(P166)

走行中の道路を切り換える

一般道路と有料道路が並行している場所を走行中、自車位置が実際と異なる種類の道路に乗ってしまった場合に、自車位置を一般道路または有料道路へ切り換えることができます。

1 ショートカットメニュー(→P15)で別道路切換にタッチする



異なる種類の道路へ自車位置が修正されます。

メモ

- 自車位置が修正できない場合もあります。
- ルート案内中は、自車位置を修正後ルートを探し直します。

ハイウェイモードについて

ハイウェイモードでは、現在向かっているインターチェンジやサービスエリアまでの距離、および施設情報などを確認できます。また、車が実際の施設を通過するごとに、自動的に1つ先の施設情報に切り換わりします。本線上や分岐先の施設情報も、見ることができます。

ハイウェイモードの現在地画面

出口施設情報(ルート案内中)

目的地までの残り距離と到着予想時刻
(ルート案内中)



次の施設

その次の施設

メモ

- ハイウェイモードのサイドマップの地図方位はヘディングアップ固定となります。
- ハイウェイモードでは、それぞれの施設の種類(IC/PA/SA/JCT/ランプ/料金所)と施設名および現在地からの距離と到着(通過)までの予想残時間が表示されます。
- 次の施設には、施設のサービス情報(→P22)が表示されます。
- 次の施設にタッチすると、次の施設周辺の地図を表示させることができます。
- ルート案内中は、有料道路出口のおよそ1km手前になると有料道路出口の案内が表示され、出口を通過すると自動的にハイウェイモードは解除されます。
- 方位マークにタッチすると、他の地図表示に切り換えることができます。
- 有料道路施設が近接しているときは、施設表示の自動切り換えが間に合わないことがあります。

先の施設情報を見る

ハイウェイモード表示中は、施設を先送りさせて先の施設情報を見ることができます。

1 ▲、▼にタッチして、表示させたい施設を選ぶ



選択中の施設

メモ

- 先の施設にタッチして、その施設を選択することもできます。
- サイドマップ(→P24)には、選択中の施設周辺の地図が表示されます。
- ルート案内中は、ルートに沿って施設が送られます。
- 選択中の施設にタッチすると、選択中の施設周辺の地図を表示させることができます。
- 100施設先まで見ることができます。
- 選んだ施設にジャンクションとSA/PAが併設されている場合は、どちらかを選択する画面が表示されます。

ジャンクションの分岐先の情報を見るには

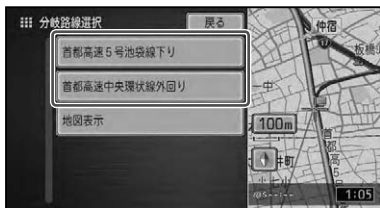
ルートが設定されていない場合は、走行中の路線に沿った施設情報を見ることができます。

ルートの有無に関係なく途中でジャンクションがある場合は、分岐先を選んで先の情報を見ることができます。

1 ジャンクションを選んで施設名にタッチする



2 見たい分岐先にタッチする



メモ

- **地図表示** にタッチすると、ジャンクションがある地点の地図を表示します。

分岐先の路線が表示されます。



サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報

	ガソリンスタンド
	スマート IC
	身障者用トイレ
	レストラン
	ショッピングコーナー
	ハイウェイオアシス
	仮眠休憩所
	スナックコーナー
	インフォメーション
	ハイウェイ情報ターミナル
	風呂
	ファクシミリ
	郵便ポスト
	キャッシュサービス
	トイレ

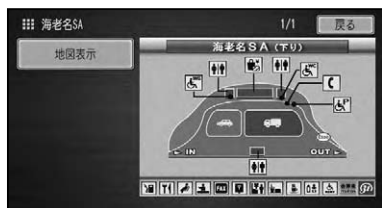
メモ

- 同時に表示される情報は8種類までです。9種類以上の情報がある場合は、上表の並び順に優先表示され、9番目以降は表示されません。

施設のイラスト表示について

SAやPAなどの施設にタッチしたときに、施設のイラスト情報が収録されている場合に表示されます。

1 SAまたはPAを選んで施設名にタッチする



メモ

- **地図表示** にタッチすると、SAやPAがある地点の地図を表示します。

有料道路の料金所に近づくと

有料道路を走行中に、ETCレーンがある本線上の料金所、または出口料金所に近づくとETCレーン案内看板が表示されます。



メモ

- ETCレーン案内表示は、実際のETCレーン案内看板の表示内容と異なる場合があります。
- ETCレーン案内表示は、お車にETC車載器を取り付けていない場合でも表示できます。
- ETCレーン案内表示は、ON/OFFできます。→「機能設定をする」(P166)
- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

サイドマップ表示

ハイウェイモード表示、および場所を探すリスト画面、情報画面などを表示している場合は、画面右側に地図画面が表示されます(サイドマップ)。

メモ

- サイドマップのスケールは変更できます。
→「地図のスケールを変える」(P18)

ハイウェイモード

ハイウェイモードでは、現在地またはスクロール先の施設の地図がサイドマップに表示されます。



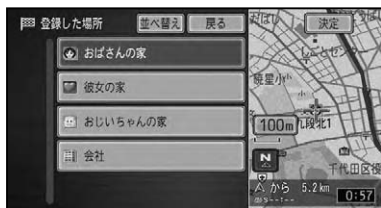
情報画面

VICSの図形情報や文字情報画面では、情報画面とともに自車位置周辺の地図がサイドマップに表示されます。



リスト画面

場所を探す場合や情報を表示したい地点や施設のリスト画面では、現在選択中の施設周辺の地図がサイドマップに表示されます。



オーディオの基本操作

オーディオの基本操作について説明します。

ご使用前に知っておいていただきたいこと

安全走行のために

本機は、安全のため走行中にテレビやVTRなどの映像を見ることができないようになっています。(走行中は、以下のようなメッセージが表示されます。)また、一部のメニュー操作もできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから、操作してください。

(例：DVDを見ようとしたとき)



ワンセグ/SD/USBをお使いになる場合

本機の仕様上の制限により、以下の症状が発生しますが、故障ではありません。

- ワンセグの視聴中やSD/USBの再生中に、本機の動作が遅くなる場合があります。
- ワンセグの視聴中やSD/USBの映像ファイル再生中に、AVソース画面からナビゲーション画面やメニュー画面などへ切り換えると、各AVソースは一時的に停止します。例えば、地図画面を表示しながらワンセグの音声だけを楽しむということはできません。

リアモニターについて

リアモニター出力に後部座席専用のモニターを接続すれば、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。リアモニター出力は、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が出力されます。リアモニター出力に接続したリアモニターは、運転者が走行中映像を見ることができる位置には、設置しないでください。

メモ

- ナビ画面、ワンセグおよびSDメモリーカード／USBメモリー内に保存された映像ファイルは、リアモニターには表示されません。

AVソースを切り換える

AVソースとは、本機で再生できる音源(CD、FM/AMなど)や映像(DVD、ワンセグなど)のことを言います。

1 を押し、**AV** にタッチする



AVソースメニューが表示されます。

2 お好みのAVソースにタッチする



選んだAVソースに切り換わります。

メモ

- 機器を接続していないAVソースや、再生の準備、設定ができていないAVソースは選べません。
- **iPod** または **USB** は、現在接続中のソース名が表示されます。どちらも接続されていない場合は **USB** と表示されますが、選ぶことはできません。
- AVソース画面では、ソースアイコンにタッチしてAVソースメニューを表示することもできます。

ソースアイコン



AVソースをOFFにする

AVソースの再生をやめるときは、AVソースをOFFにします。

1 を押し、**AVソースOFF** にタッチする



AVソースがOFFになります。

メモ

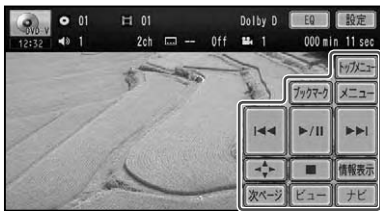
- AVソースメニュー (→P26) で **AVソースOFF** にタッチして、AVソースをOFFにすることもできます。

操作タッチキーについて

いろいろな操作を行うための操作タッチキーは、選んだAVソースごとに自動的に表示されますが、映像系AVソース(ワンセグやDVDなど)の場合は、はじめに映像のみが表示されるため、操作タッチキーの表示は手動で行います。

1 映像系AVソースに切り換える

2 画面にタッチして操作タッチキーを表示する



メモ

- ワンセグ以外の映像系AVソースでは、**ビュー**にタッチすると、操作タッチキーを消すことができます。
- ワンセグと地上デジタルTVでは、約10秒間何も操作しないと、操作タッチキーは消えます。ワンセグと地上デジタルTV以外の映像系AVソースでは、約30秒間何も操作しないと操作タッチキーは消えます。

AVソースプレートについて

AVソースの状態(受信チャンネル/周波数、再生状態、タイトルなど)は、画面上部の「AVソースプレート」に表示されます。

(例：DVD)

AVソースプレート



メモ

- AVソースによって、表示される内容は異なります。
- DVDなど映像系のAVソースでは、AVソースを切り換えた場合、約30秒間AVソースプレートが表示されます(ただし、ワンセグだけは約10秒間の表示になります)。画面にタッチすると、操作タッチキーと同時に表示することができます。
- DVD-V、DVD-VR、DivXのAVソースプレートは、表示内容を切り換えることができます。(→P113, 121, 127)

AVソース画面の表示方法を切り換える

AVソース画面の表示方法をリスト画面または情報画面に切り換えることができます。

1 リストまたは詳細にタッチする

タッチするごとに以下のように切り換わります。

情報画面



リスト画面



メモ

- リスト画面では、表示される曲名や周波数などに直接タッチして選ぶことができます。
- AVソースによっては、画面の切り換えができないものがあります。

イコライザーカーブを切り換える

あらかじめ用意されたイコライザーカーブ（音響効果）を選ぶだけで、音質を手軽に調整することができます

1 EQにタッチする



現在のイコライザー設定がポップアップ表示されます。

2 ポップアップ表示中にEQにタッチする



タッチするごとに、イコライザー設定が以下のように切り換わります。
工場出荷時は「FLAT」です。

FLAT → CUSTOM1 → CUSTOM2 →
S.BASS → POWERFUL → NATURAL
→ VOCAL → FLAT に戻る

メモ

- イコライザー設定のポップアップ表示は、約4秒間何も操作しないと消えます。
- イコライザーカーブは、AV設定メニューのイコライザー設定（→P184）で切り換えたり、お好みに合わせて調整することもできます。
- AVソースを交通情報に切り換えた場合は、イコライザーカーブを選ぶことはできません。

各イコライザーカーブの効果

FLAT	音の補正をしません。他のイコライザーカーブとの比較用として使用すると便利です。
CUSTOM1	各 AV ソースごとに、お好みに合わせて調整したイコライザーカーブです。(→ P185)
CUSTOM2	すべての AV ソースに共通として、お好みに合わせて調整したイコライザーカーブです。(→ P186)
S.BASS	低音が厚みを持ち、迫力のある重低音が響きます。
POWERFUL	低音と高音が厚みを持ち、アップテンポな曲がメリハリよく聞こえます。
NATURAL	自然なバランスで、聞き疲れしない心地よい音を再生します。
VOCAL	中高域が厚みを持ち、伸びやかなボーカルを際立たせます。

ファンクションメニューを表示する

各AVソースには、あらかじめファンクションメニューが用意されています。ファンクションメニューを表示して、いろいろな再生操作などを行うことができます。

1 設定にタッチする

(例：CD)



ファンクションメニューが表示されます。









メモ

- ファンクションメニューの内容は、各AVソースごとに異なります。
- 地上デジタルTVには、ファンクションメニューはありません。
- ワンセグでは、**メニュー**にタッチするとファンクションメニューを表示することができます。

本機で再生可能なメディアとファイルの種類

本機で再生可能なメディアとファイル形式の組み合わせには制限があります。以下の表をご覧ください。対応の可(○) 否(×)をご確認のうえ、ご利用ください。

なお、ファイル形式や拡張子に対応可の場合でも、ファイルの作成方法などによっては再生できない場合もあります。

	ファイル形式	拡張子	 CD-R/RW	 DVD-R/RW	  USB メモリー /SD メモリーカード
	WMA	.wma	○	○	○
	MP3	.mp3	○	○	○
	AAC	.m4a	○	○	○
	WAV	.wav	×	×	○
	DivX	.avi/.divx	○	○	×
	MPEG-4	.avi/.mp4	×	×	○

場所を探す操作

場所を探す	32
詳細情報を見る	39
マップクリップ [®] (2次元バーコード)を使う	40

場所を探す


ナビゲーションの操作は場所(行き先、立寄地などの目的地)を探すことから始まります。目的地の地図を表示させることができれば、そこまでのルートを設定したり、詳細情報を見たりすることができます。

メモ

- 検索した場所によっては、表示された地図が目的地を中心にしたピンポイントの地図ではない場合があります。その場合は、ピンポイントでない旨のメッセージが表示され、代表地点の地図が表示されます。
- 施設を検索した場合、検索後はそのままスクロールせずに目的地に設定してください。例えば高速道路上の施設を検索後にスクロールさせて目的地に設定すると、一般道が目的地になる場合があります。
- 自然を対象とした検索では、周囲に道路がないポイントが表示されることがあります。このような場所では、地図をスクロールして近くの道路の上に目的地を設定してください。周囲に道路がない場所を目的地にすると、ルート探索できないことがあります。
- 本機では、お出かけメニュー以外にもふだんの生活に便利な検索メニュー「Liteメニュー」で場所を探すことができます。詳しくは「Liteメニューを使う」(→P44)をご覧ください。

地図で探す

地図をスクロールさせて探すことができます。


- 1 地図をスクロールさせて、目的の場所に十字カーソルを合わせ、にタッチする



以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P15)を参照してください。

名称で探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

- 1 を押し、**お出かけ** - **名称** にタッチする
- 2 施設の名称を入力し、**検索開始** にタッチする



メモ

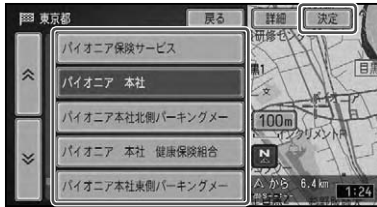
- 文字入力の方法は、「文字の入力操作」(→P200)をご覧ください。
- 名称検索では、ひらがな以外の入力はできません。カタカナ、漢字、ローマ字、数字などを含む施設を探すときも、すべてひらがなで入力します。
- 名称はわかっている部分だけ入力(最低2文字以上)して、検索することができます(キーワード検索)。
- 濁音(゜)や半濁音(゜)の入力は省略できます。また、促音(ょ)などは(よ)などで代用できます。
- 検索方法は、部分一致(入力した文字が含まれる場所をすべて検索)で検索されます。

3 都道府県にタッチする



4 目的の施設を選んで**決定**にタッチする

サイドマップには、選んだ施設の地図が表示されます。



詳細

選んだ項目の文字情報を画面右側に表示します。文字情報表示中は、**地図**が表示され、タッチすると右画面をサイドマップに戻します。

施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P15)を参照してください。

住所で探す

住所や地名で探すことができます。

1 **メニュー**を押し、**お出かけ** - **住所**にタッチする

2 都道府県名にタッチする



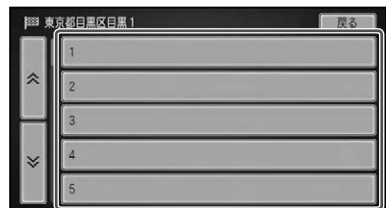
3 市区町村名、地名の順にタッチする



メモ

- ・**主要部**にタッチすると、選んだ地域の代表地点の地図が表示されます。

4 番地、号にタッチする



指定した住所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P15)を参照してください。

ジャンルで探す

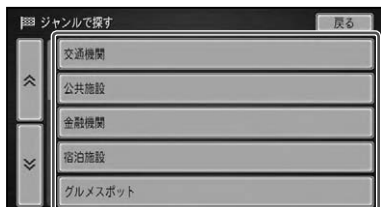
ジャンルリストから各種施設を探することができます。

検索できるジャンル

- 交通機関
- 公共施設
- 金融機関
- 宿泊施設
- グルメスポット
- プレイスポット
- スポーツスポット
- 文化スポット
- 自動車関連施設
- その他の店
- 病院
- 教育施設
- その他

1 **メニュー** を押し、**お出かけ** ジャンルにタッチする

2 探している施設のジャンルのタッチする



3 選んだジャンルにサブジャンルがある場合は、サブジャンルにタッチする



4 都道府県名、市区町村名の順にタッチする



5 目的の施設を選んで**決定**にタッチする

サイドマップには、選んだ施設の地図が表示されます。



詳細 選んだ項目の文字情報を画面右側に表示します。文字情報表示中は、**地図**が表示され、タッチすると右画面をサイドマップに戻します。

施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P15)を参照してください。

周辺施設で探す

ガソリンスタンド、駐車場、その他の各ジャンルなど、現在地やルート周辺、スクロール先の周辺の施設を、近い順に最大100件まで探すことができます。

メモ

- ・ショートカットメニュー(→P15)の**周辺施設で探す**からも操作することができます。

1 **メニュー** を押し、**お出かけ** - **周辺施設** にタッチする

2 ジャンルにタッチする



結果消去

検索後、地図上に表示される施設のロゴマーク表示を消去することができます。(→P36)

3 **全選択** または **詳細選択** にタッチする



メモ

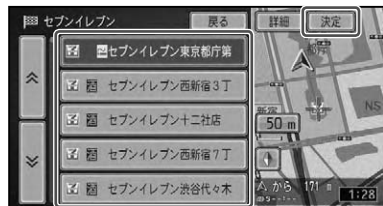
- ・**全選択** にタッチした場合は、施設のジャンル選択は行いません。手順5に進みます。
- ・通信機器が本機に接続されている場合は、**ガソリンスタンド** のサブジャンルで **ガスタ価価格**、**駐車場** のサブジャンルで **駐車場満空** を選ぶことができ、通信によりそれぞれの情報を取得して検索することができます。詳しくは「Liteメニューを使う」(→P44)をご覧ください。

4 目的の施設のジャンルにタッチする



5 目的の施設を選んで**決定** にタッチする

サイドマップには、選んだ施設の地図が表示されます。



詳細

選んだ項目の文字情報を画面右側に表示します。文字情報表示中は、**地図**が表示され、タッチすると右画面をサイドマップに戻します。





選んだ施設を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P15)を参照してください。

メモ


- ・以下の施設では、取り扱い品目やサービスの情報がマークで表示されます。
 - コンビニ
 - 酒・タバコの取り扱い: **酒**
 - 酒の取り扱い: **酒**
 - タバコの取り扱い: **タバコ**
 - ファストフード
 - ドライブスルー完備: **ドライブスルー**
- 一部表示されない施設もあります。

つづく→

- ・駐車場を選んだ場合、本機の車両情報設定(→P170)が考慮され、利用できる施設には 、利用できない施設には  が表示されます。
- ・自転車周辺またはスクロール位置で探す場合は、自転車位置またはスクロール位置の半径約8kmの範囲から検索されます。

検索後のロゴマークについて

周辺施設を検索後は、地図上に選んだジャンルや施設のロゴマークが表示されます。表示されたロゴマークを消去するには以下のようにします。

- 1  を押し、**お出かけ** - **周辺施設** にタッチする
- 2 **結果消去** にタッチする




表示されていたロゴマークが消去されます。

メモ

- ・エンジンをOFFにした場合もロゴマークは消去されます。

電話番号で探す

行きたい場所の電話番号を入力して探すことができます。

- 1  を押し、**お出かけ** - **電話番号** にタッチする
- 2 電話番号を入力し、**検索開始** にタッチする



該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P15)を参照してください。

メモ

- ・文字入力の方法は、「文字の入力操作」(→P200)をご覧ください。
- ・全桁を入力しないで **検索開始** にタッチした場合、その番号が含まれる市区町村の代表地点が表示されます。
- ・市外局番と市内局番は必ず入力してください。
- ・ダイヤルQ2 (0990-〇〇)、携帯電話、短縮ダイヤルは、対象外です。ただし、該当する電話番号が登録した場所に登録されている場合(→P69)は検索できます。
- ・タウンページに登録されているフリーダイヤル(0120-〇〇)は、検索できます。
- ・タウンページに収録されている番号でも、個人宅は探せません。詳しくは「その他の情報」(→P229)をご覧ください。

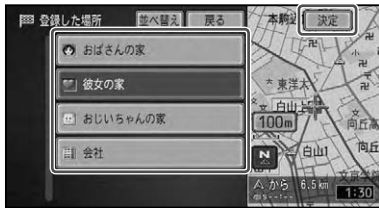
登録した場所から探す

お気に入りの場所やよく行く場所など、あらかじめ本機に登録しておいた場所から探すことができます。

1 **メニュー** を押し、**お出かけ** - **登録した場所** にタッチする

2 目的の場所を選んで**決定** にタッチする

サイドマップには、選んだ場所の地図が表示されます。



並べ替え - ヨミ順	登録した場所をヨミ順で並べ替えます。
並べ替え - 登録日時順	登録した場所を登録した日時順で並べ替えます。



選んだ場所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P15)を参照してください。

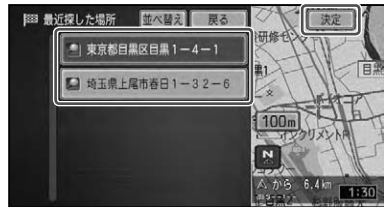
最近探した場所から探す

過去に探した場所や目的地とした場所から探すことができます。

1 **メニュー** を押し、**お出かけ** - **最近探した場所** にタッチする

2 目的の場所を選んで**決定** にタッチする

サイドマップには、選んだ場所の地図が表示されます。



並べ替え - 呼出日時順	最近探した場所を呼び出した日時順で並べ替えます。
並べ替え - 保存日時順	最近探した場所を本機に保存された日時順で並べ替えます。



選んだ場所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P15)を参照してください。

マップコードで探す

市販の情報誌などに掲載されているマップコードを入力することで、その地点をすばやく呼び出すことができます。

メモ

- マップコードとは、日本全国さまざまな場所の位置データを最大13桁（拡張マップコードの場合）の数字や*マークで特定するものです。住所などでは特定することが困難な場所も、マップコードでは特定することができます。
- マップコードは株式会社デンソーの登録商標です。

1 を押し、**お出かけ - マップコード** にタッチする

2 マップコードを入力し、**検索開始** にタッチする



▼

選んだ場所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P15)を参照してください。

メモ

- 文字入力の方法は、「文字の入力操作」(→P200)をご覧ください。

詳細情報を見る

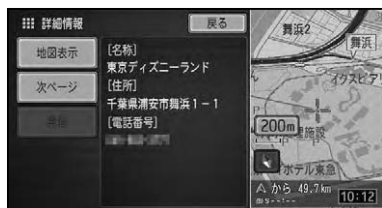
検索した場所や、地図上の詳細情報を見ることができます。

1 場所を探して(→P32) ショートカットメニュー(→P15)を表示させる

2 **詳細情報を見る** にタッチする



3 情報を確認する



地図表示 地図が全画面で表示されます。

次ページ 情報が複数ページある場合に、ページを切り換えます。

発信 登録されている電話番号に電話をかけます。(→P160)

メモ

- 複数の情報がある場合はリスト画面が表示されますので、見たい情報を選んでください。
- 施設によっては、詳細情報が無いものもあります。
- **発信**は、本機に携帯電話が接続されている場合のみ操作できます。

登録した場所に合わせたとき



発信 表示されている電話番号に電話をかけます。(→P160)

データ編集 登録されている情報を編集します。(→P69)

コメント 登録されているコメントが表示されます。

消去 選んだ場所のデータを消去します。

地図表示 地図が全画面で表示されます。

VICSマークに合わせたとき

VICSの情報が表示されます。→「VICS情報マークの詳細を見る」(P77)

マップクリップ[®](2次元バーコード)を使う

2次元バーコード(QRコード)を携帯電話で読み取るだけで、本機で探した場所と同じ場所の地図を携帯電話で見ることができます。たとえば、本来の目的地とその目的地に整備された駐車場との距離が少し離れている場合に、この機能を使って地図を持ち出せば、携帯電話に表示されている地図を見ながら行きたい場所までスムーズに行くことができます。

メモ

- ドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話でご利用いただけます。2次元バーコードの読み取りに対応していない機種もあります。
- 2次元バーコードで読み取った地図1画面のみの閲覧は無料です。(通信費はお客様負担となります。)
- 有料会員の方は、地図の縮尺変更や移動ができます。

NTTドコモ	iMapFan(アイマップファン) 月額315円(税込) ※地図1画面の閲覧は無料
au	ケータイ地図MapFan 月額315円(税込) ※地図1画面の閲覧は無料
ソフトバンク	ケータイ地図MapFan 月額315円(税込) ※地図1画面の閲覧は無料

- **MapFan**(iMapFan)、**MapFan**(ケータイ地図MapFan)とは、携帯電話で利用できる地図検索サイトです。かんたんな操作で、日本全国の詳細な地図をすぐに見ることができます。住所や駅名から検索したり、レストランやコンビニ、公共施設、トイレ、駐車場など、「この近くで探したい」場所を検索できます。

※iモード、EZweb、Yahoo!ケータイの公式メニュー内に登録されています。

- 「マップクリップ」のサービスは、予告無く変更・中断・中止される場合があります。

1 場所を探して(→P32)ショートカットメニュー(→P15)を表示させる

メモ

- 「マップクリップ」では、自転車マーク(現在地)または十字カーソル(スクロール位置)の位置を2次元バーコードとして作成します。携帯電話に持ち出したい地図の位置を正確に決めてから操作してください。
- ショートカットメニューを表示したときのスケールが2次元バーコードに反映されます。
- スケールの範囲は、50m ~ 2kmまでです。
- 携帯電話には、ここで選択したおおよそのスケールで地図が表示されます。(場所によっては、縮尺スケールなどが変更になることがあります。)

2 マップクリップにタッチする



3 携帯電話で2次元バーコードを読み取る



メモ

- **大** または **小** にタッチすると、バーコードの大きさを変更することができます。読み取りやすい大きさを選んでください。
- 2次元バーコード読み取りの操作手順は、携帯電話の取扱説明書をご確認ください。

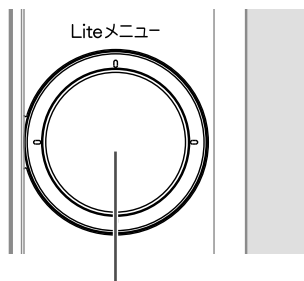
Liteメニューの操作

Liteメニューを使う

Liteメニューとは、あらかじめ登録しておいた「よく行く場所」や「自宅」へのルート案内や、「グルメ」「ショッピング」でのスポット検索、価格情報をもとにしたガソリンスタンドの検索や空き駐車場の検索など、生活に便利な機能をかんたんな操作で使うことができるメニューです。

Liteメニューを表示する

1 (ロータリーボリューム&セクター)を押す



ロータリーボリューム&セクター

▼
Liteメニューが表示されます。



よく行く場所

会社や友人宅など、あらかじめ「よく行く場所」として本機に登録しておく、かんたんな操作で目的地とすることができます。(→P44)

ショッピング

グルメ

現在地周辺の買い物や食事に適した場所を検索し、目的地とすることができます。(→P45)

お帰り

あらかじめ登録しておいた自宅まで、かんたんな操作でルート案内を開始することができます。自宅が登録されていない場合は、Liteメニューを表示する前の地図画面上の位置を自宅として登録することができます。(→P45)

ガスタ価格 駐車場満空

本機が通信可能な場合、専用サーバーからガソリン販売価格の情報や駐車場(コインパーキング)の満空情報を取得し、自車位置またはカーソル位置で近い順にリスト表示して、目的地とすることができます。(→P45)

メモ

- Liteメニュー表示中に、ロータリーボリューム&セクターを押すと、Liteメニューを表示する前の地図画面に戻ります。

よく行く場所に案内させる

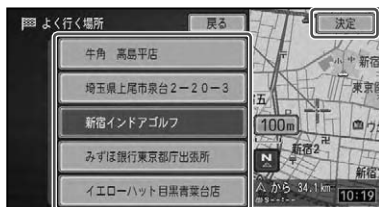
メモ

- 「よく行く場所」への登録は、探した場所を「よく行く地点」として登録する方法(→P67)と「よく行く地点」に登録するために場所を探す方法(→P68)があります。

1 よく行く場所にタッチする

2 目的地を選んで**決定**にタッチする

サイドマップには、選んだ施設の地図が表示されます。



3 **ここへ行く**にタッチする

▼
選んだ目的地までのルートが探索され、案内開始画面が表示されます。

メモ

- ・案内開始画面については、「案内開始画面の見かた」(→P50)をご覧ください。

お買いものやお食事のスポットを探して案内させる

1 ショッピングまたはグルメにタッチする

2 ジャンルを選んでタッチする

(例：グルメ)

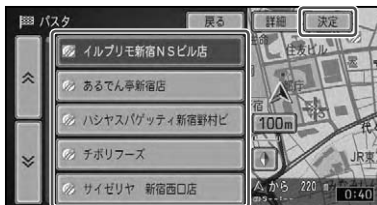


メモ

- ・選んだジャンルによっては、**全選択**・**詳細選択**が表示されます。全選択では選んだジャンルに含まれるすべての施設をリスト表示します。詳細選択では選んだジャンルをさらに細かく(チェーン店名などで)指定することができます。

3 目的の施設を選んで**決定**にタッチする

サイドマップには、選んだ施設の地図が表示されます。



4 **ここへ行く**にタッチする

選んだスポットまでのルートが探索され、案内開始画面が表示されます。

メモ

- ・案内開始画面については、「案内開始画面の見かた」(→P50)をご覧ください。

外出先から自宅まで案内させる

1 **お帰り**にタッチする

自宅までのルートが探索され、案内開始画面が表示されます。

メモ

- ・案内開始画面については、「案内開始画面の見かた」(→P50)をご覧ください。
- ・自宅が登録されていない場合は、Liteメニューを表示する前の地図画面上の位置を自宅として登録するかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は**はい**、位置を調整する場合は**いいえ**にタッチしてください。
- ・自宅の登録は、お出かけメニューから行うこともできます。「自宅を登録する」(→P66)

売価の安いガソリンスタンドや空いている駐車場を探して案内させる

メモ

- ・本機が通信可能な状態でない場合は、選ぶことができません。あらかじめ通信接続設定(→P173)を行ってください。
- ・「周辺施設で探す」(→P35)でも同様の検索が可能です。

1 **ガスタ価格**または**駐車場満空**にタッチする

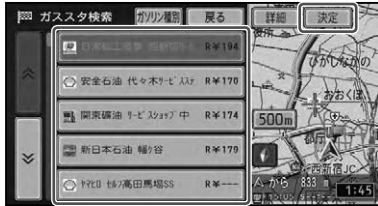
該当する施設がリスト表示されます。

つづく→

2 目的の施設を選んで**決定**にタッチする

サイドマップには、選んだ施設の地図が表示されます。

(例：ガススタ価格)



ガソリン種別	リストに表示されているガソリン種別を R (レギュラー) ⇄ H (ハイオク) に切り換えます。
詳細	選んだガソリンスタンドの詳細情報画面を表示します。

3 **ここへ行く**にタッチする



選んだ施設までのルートが探索され、案内開始画面が表示されます。

メモ

- 情報の受信が完了しても通信はしばらく接続されたままになりますが、実際のデータ送受信は行っておりません。
- 「ガススタ価格」は、データが取得できていないときは、情報表示されません。また、個人からの口コミによる情報のため、情報内容に関する保証は行いません。
- 専用サーバーへ情報が保持されてからの経過時間に応じて価格情報を色で区別しています。
 - 橙色：24時間以内。青色：7日以内。黒色：8日以上。
- 案内開始画面については、「案内開始画面の見かた」(→P50)をご覧ください。

ルートに関する操作

目的地までのルートを探させる ...	48
ルートを確認する	51
ルートを詳細に設定する	54
ルート誘導・案内	58
ルート案内中の操作と機能	61
ルートを消去する	63

目的地までのルートを探索させる

検索した場所や自宅を目的地（行き先）として設定すると、現在地から目的地までのルートが探索され、ルート案内開始画面が表示されます。

目的地（行き先）までルート探索させる

1 場所を探して（→P32）目的地（行き先）を決める

2 **ここへ行く** にタッチする



目的地までのルートが探索され、ルート案内開始画面が表示されます。

メモ

- 地図をスクロールして場所を探した場合は、**ここへ行く** と操作してください。（→P15）
- 目的地の近くに有料道路があるときは、[一般道路] か [有料道路] を確認する画面が表示される場合があります。その場合はどちらかを選んでください。
- 渋滞考慮ルート探索（→P49）が「ON」の場合は、取得している渋滞情報を考慮したルート探索を行います。
- すでにルートが設定されている場合は、探した場所を目的地にするか立寄地にするかのポップアップ画面が表示されます。**目的地** にタッチすると、現在の目的地を消去し、新しい目的地を行き先としてルートを探索します。**立寄地** にタッチすると、目的地はそのまま、探した場所に立ち寄るルートを探索します。

3 **案内開始** にタッチするか、**パーキングブレーキ** を解除する



ルート確認

現在選ばれているルートを確認できます。→「**ルートを確認する**」（P51）

詳細ルート設定

立寄地指定、出発地指定、探索条件指定ができます。→「**ルートを詳細に設定する**」（P54）

走行を開始すると状況に応じて画面と音声でルート案内が行われます。目的地に近づくるとルート案内は終了します。

メモ

- ルート案内を中止するには、ルートを消去します。（→P63）

自宅までルート探索させる

現在いる場所から登録してある自宅(→P66)までのルートが探索され、ルート案内開始画面が表示されます。

メモ

- 自宅へのルート探索は、Liteメニュー(→P44)の**お帰り**から行うこともできます。

1 **メニュー** を押し、**お出かけ** - **自宅** にタッチする



自宅までのルートが探索されます。

メモ

- すでに案内中のルートがある場合は、自宅へのルート案内に変更するかどうかのメッセージが表示されます。**はい**または**いいえ**にタッチしてください。

2 **案内開始** にタッチするか、**パーキングブレーキ**を解除する



走行を開始すると状況に応じて画面と音声でルート案内が行われます。自宅に近づくとルート案内は終了します。

ルート探索時の機能

ルート探索に連動して以下の機能がご利用になれます。

渋滞情報を考慮したルート探索(渋滞考慮ルート探索)

渋滞情報をもとに渋滞や交通規制を考慮してルート探索を行います。

メモ

- オンデマンドVICSまたはスマートループによる渋滞情報(→P80)が取得できていないときは、渋滞考慮ルート探索はできません。
- 必ずしも実際の渋滞を避けるルートになるとは限りません。
- 渋滞考慮ルート探索は、ON/OFFできます。
→「機能設定をする」(P166)

案内開始画面の見かた

探索条件

現在選ばれているルートの探索条件が表示されます。



メニュー表示

ルート表示

現在選ばれているルートが概略表示されます。

距離

選ばれているルートの総距離が表示されます。

所要時間

機能設定(→P166)で設定した到着予想時刻速度を元に計算した所要時間が表示されます。

料金

利用する有料道路の料金が表示されます。

メモ

- 案内開始画面は、ノースアップ(→P18)となります。
- 料金表示は、「車両情報設定をする」(→P170)により設定された「有料道路料金区分」の料金で表示されます。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「〇〇円以上」と表示されたり、「不明」と表示されることがあります。
- サービスエリアなどの有料道路施設を行き先とした場合、料金が表示されないことがあります。

ルートを確認する

探索されたルートを用いたさまざまな方法で事前に確認することができます。本書では、案内開始画面からの確認方法を例に説明します。

メモ

- ・メインメニュー（→P13）から**設定・編集**→**ナビデータ編集**→**編集**→**ルート編集**→**ルート確認**の操作やショートカットメニュー（→P15）の**ルート編集**→**ルート確認**からも操作することができます。
- ・デモ走行（→P52）によるルート確認は、案内開始画面からは操作できません。

ルートプロフィールで確認する

出発地から行き先までの間に通る道路名や区間距離、有料道路の料金（有料道路を使用する場合）や通過予想時刻などの情報を確認できます。

1 案内開始画面で、**ルート確認**→**ルートプロフィール**にタッチする



ルートプロフィール画面が表示されます。



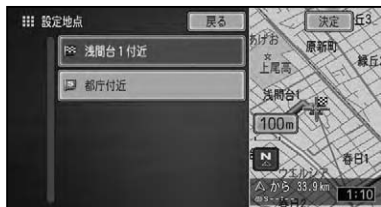
設定地点リストで確認する

案内中のルートの目的地、立寄地、出発地をリスト表示させて、地図で確認することができます。

1 案内開始画面で、**ルート確認**→**設定地点リスト**にタッチする



設定地点リストが表示されます。



ルートスクロールで確認する






出発地から目的地までのルートをなぞるように地図を動かして、ルートを確認できます。

1 案内開始画面で、**ルート確認** - **ルートスクロール**にタッチする



ルートスクロール画面が表示されます。



-  1つ先の立寄地(目的地)を表示します。長くタッチすると立寄地を連続で送ります。
-  目的地へ向かって自動スクロールします。
-  自動スクロールを停止します。
-  出発地へ向かって自動スクロールします。
-  1つ前の立寄地(目的地)を表示します。長くタッチすると立寄地を連続で送ります。

メモ

- 自動スクロール中に走行を開始すると、一定区間自動スクロールを行ったあとに自動スクロールを停止します。

デモ走行で確認する

出発地から行き先までのルートを擬似走行させて、ルートを確認できます。

1 ショートカットメニュー (→ P15)で、**ルート編集**にタッチする



2 **ルート確認** - **デモ走行**にタッチする



デモ走行が開始されます。



メモ

- デモ走行は終了させるまで繰り返し行います。
- デモ走行中は、手順 2 で **ルート確認** - **デモ走行終了** にタッチすると、デモ走行を終了することができます。
- デモ走行中は、画面上側に **デモ中** が表示され、タッチすると、デモ走行の速度を変えたり、デモ走行を終了することができます。(→P53)

デモ走行中画面での操作

デモ走行中の画面は、速度の変更やデモ走行の終了が行えます。

1 デモ中にタッチする



2 操作したい項目にタッチする



デモ走行終了	デモ走行を終了します。
速度を上げる	デモ走行の速度を上げます。
速度を下げる	デモ走行の速度を下げます。
初期速度にする	デモ走行の速度を出荷時の状態に戻します。

ルートを詳細に設定する

立寄地、出発地の指定を行い、ルートを詳細に設定することができます。また、探索条件を指定することもできます。本書では、案内開始画面からの設定方法を例に説明します。

メモ

- メインメニュー (→P13) から **設定・編集** → **ナビデータ編集** → **編集** → **ルート編集** → **詳細ルート設定** の操作やショートカットメニュー (→P15) の **ルート編集** → **詳細ルート設定** から操作することができます。
- 立寄地の先送り (→P57) は、案内開始画面からは操作できません。

立寄地を指定(追加)する

ルート上に立寄地を指定して、立寄地を経由するルートを案内させることができます。

メモ

- 立寄地の指定を行うと、その時点で通過済みの立寄地はすべて自動的に削除されます。

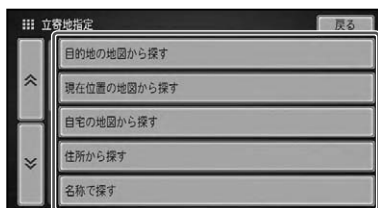
1 案内開始画面で、**詳細ルート設定** → **立寄地指定** にタッチする



2 **追加** にタッチする



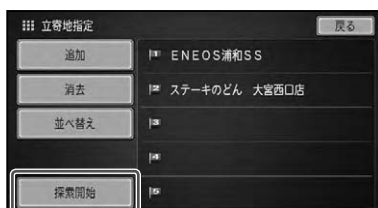
3 場所を探す方法を選んで場所を探し (→P32)、**決定** にタッチする



メモ

- 立ち寄る順番に指定します。
- あとから順番を並べ替えることもできます。

4 **探索開始** にタッチする



追加	さらに立寄地を追加します。
消去	立寄地を消去します。
並べ替え	前の立寄地から近い順に並べ替えます。
自動	
並べ替え	立ち寄る順番を指定して並べ替えます。(→P55)
手動	

メモ

- さらに立寄地を追加するときは、手順 **2** ~ **3** の操作を繰り返します。
- 立寄地は、最大5カ所まで指定することができます。

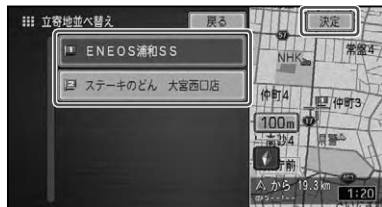
指定した立寄地に立ち寄るルートが探索され、案内開始画面(→P50)が表示されますので、**案内開始**にタッチします。

立寄地を並べ替える(手動)

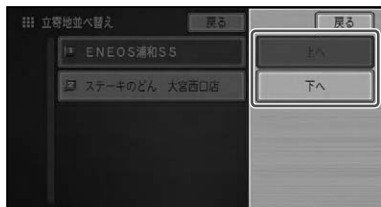
1 P54の手順 **4** で **並べ替え** - **手動** にタッチする



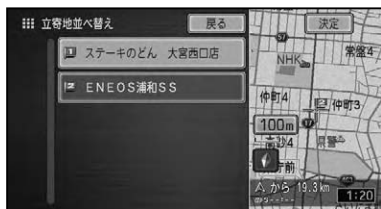
2 順番を変更したい立寄地を選んで **決定** にタッチする



3 **上へ** または **下へ** にタッチする



リスト項目が選んだ方向へ移動し、順番が並べ替わります。



4 **戻る** - **戻る** にタッチする

探索開始 にタッチすると、並べ替えた立寄地の順番でルートが再探索されます。

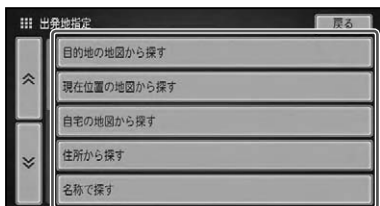
出発地を指定する

指定した出発地からルートを探索することができます。

1 案内開始画面で、詳細ルート設定 — 出発地指定 にタッチする



2 場所を探す方法を選んで場所を探し(→P32)、決定 にタッチする



指定した場所を出発地としたルートが探索されます。

探索条件を指定する

探索条件を指定してルートを再探索することができます。

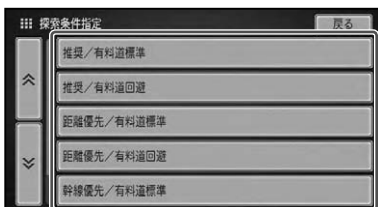
メモ

• 本操作による探索条件の指定は一時的なもので、機能設定(→P166)の「ルート探索基準」や「有料道路使用条件」には反映されません。

1 案内開始画面で、詳細ルート設定 — 探索条件指定 にタッチする



2 項目を選んでタッチする



選んだ探索条件でルートが再探索されます。

立寄地を先送りする

指定した立寄地に立ち寄る必要が無くなった場合などは、立寄地を通過済みとして、ルートを探索し直すことができます。

メモ

・メインメニュー（→P13）から **設定・編集** - **ナビデータ編集** - **編集** - **ルート編集** と操作することもできます。

1 ショートカットメニュー（→P15）で、**ルート編集** にタッチする



2 **立寄地送り** にタッチする



▼
立寄地を通過済みとしてルートが再探索されます。

ルート誘導・案内

ルート案内中の表示や音声案内について説明します。

ルート案内中の現在地画面



メモ

- 案内中のルートは、一般道が緑色で有料道路は青色で道塗り表示されます。また、出発地付近、立寄り地付近、行き先付近は細街路まで探索され、細街路はピンク色で表示されます。場所によっては道塗りされない場合もあります。
- 到着予想時刻には、「機能設定」(→P166)で設定した到着予想時刻速度と走行中の平均速度が反映されます。表示される時刻はあくまでも推測時刻で実際の到着時刻とは異なります。また、GPSが受信できない状況、あるいは自車位置がルート上に無い場合は、到着予想時刻は「--:--」になります。
- ルートインフォメーションには、次の案内地までの距離と曲がる方向および交差点名が表示されます。交差点によっては、交差点名が“案内地”と表示される場合があります。また、ルートインフォメーションの表示内容の色は、交差点までの距離に応じて以下のように変化します。



一般道	有料道
－ 交差点の手前300 m以上：白	－ 交差点の手前1Km以上：白
－ 交差点の手前300 m以内：緑	－ 交差点の手前1Km以内：青
－ 交差点の手前100 m以内：黄	－ 交差点の手前250 m以内：黄
- レーン情報表示は、誘導中のレーンが緑色で表示されます。通行が推奨される誘導レーンは明るい緑色で表示されます。
- ルート案内中の自車位置情報は、タッチすると以下のように切り換わります。
「市区町村名」→「走行道路名」→「OFF」→「市区町村名」に戻る

案内地に近づくと

案内地の手前約300mに近づくと、交差点案内表示の画面に切り換わり、曲がる方向や目印となる施設が表示されます。



メモ

- 交差点案内図表示中は、が表示され、タッチすると交差点案内図を消すことができます。非表示中ににタッチすると、交差点案内図を再表示することができます。
- 進行方向に立体交差になる側道がある場合、交差点案内図の代わりに立体的に描画されたイラストが表示される場合があります。

都市高速道路の入口に近づくと

ルート上の都市高速道路入口の手前約500mに近づくと、イラストが表示されます。



メモ

- 一部の都市高速入口において、イラストが表示されないことがあります。
- 都市高速入口の直前に案内地点がある場合には、イラストが表示されないことがあります。

有料道路の分岐に近づくと

ルート上の有料道路分岐の手前約2kmに近づくと、ルートの進行方向の方面名称を表示します。また都市高速・都市間高速では、分岐の手前約1kmに近づくと、イラストが表示されます。



メモ

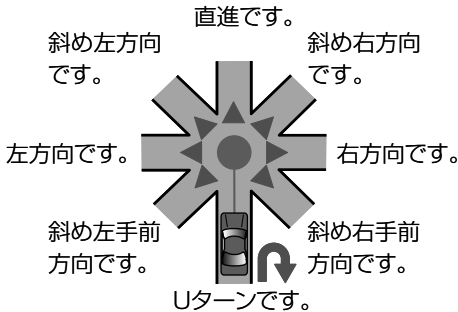
- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

音声による誘導・案内

ルート走行中は、運転の状況や車の速度に応じて、きめ細かく音声案内が行われます。

進行方向案内

進行方向(8方向)は、音声で以下のように案内されます。



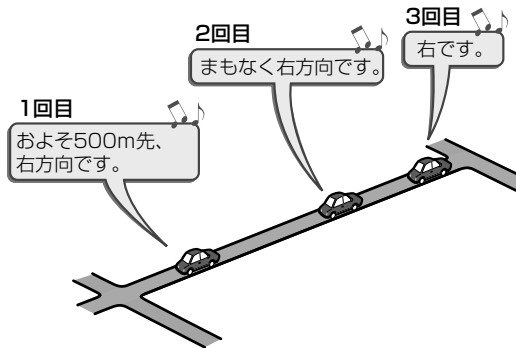
種類	案内例
側道案内	およそ〇〇m先、側道を左方向です。
レーン案内	およそ〇〇m先、右方向です。右折レーンがあります。
方面案内	およそ〇〇m先、左方向、〇〇方面です。

メモ

- 右方向や左方向などの案内だけではうまく案内できない地点においては、走行すべきレーンなども案内します。
- 誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。

一般道路走行時の案内

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大3回、音声案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内が表示されます。



立寄地が近づいたら

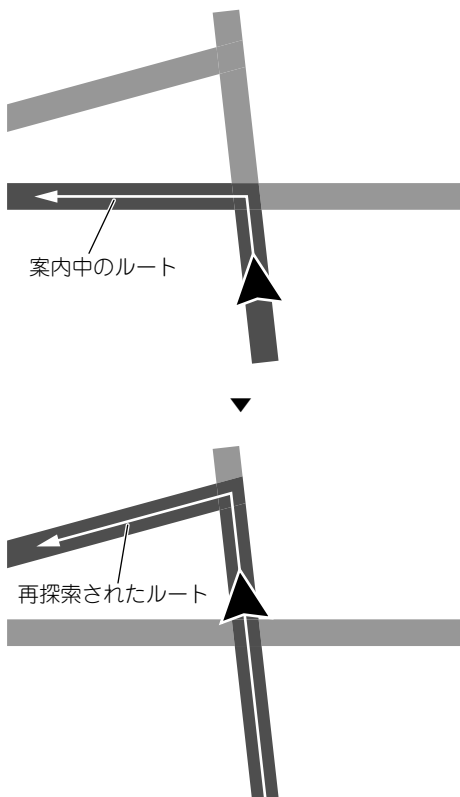
立寄地の約500m手前に近づくと、「およそ500m先、立寄地点です。」と音声案内が流れます。

ルート案内中の操作と機能

ルート案内中にできる操作と、いろいろな機能を説明します。

ルートから外れたときに自動的にルートを再探索させる

案内中のルートから外れた場合、自動的にルートを再探索します(オートリルート)。



メモ

- AVソース画面を表示している場合、本機能は動作しません。

状況に応じて新しいルートを提案させる

新しいルートが見つかると、“新しい候補ルートが見つかりました”と音声案内が流れ、新しいルートを表示します(渋滞考慮オートリルート)。

1 新ルートまたは元ルートにタッチする



選択されたルートで案内を開始します。

メモ

- 画面右には、分岐までの距離(「○Km先分岐」)や、新ルートを選んだ場合の時間や距離、料金の増減を「↑増」「↓減」で表示します。
- ルート上に渋滞情報や規制情報が見つかった場合に提案されます。(渋滞考慮)
- 「渋滞考慮オートリルート」はON/OFFできます。→「機能設定をする」(P166)
- 案内地付近や案内地が連続している場合は、働かないことがあります。
- 新しい候補ルートは、元のルートより所要時間、または距離が増加するルートが提示されることがあります。

ルート上に通行止めが発生した場合

ルート上に通行止めが発生した場合は、“ルート上に通行止めが発生したため、新ルートで案内します”と音声案内と画面表示され、新ルートのみのご案内となります。**確認**にタッチしてください。

設定されたルートや通行止めの発生したタイミング、情報取得のタイミングによっては、新ルートを案内しない場合があります。機能設定(→P166)の「渋滞情報取得開始設定」を「自動」に設定し、「渋滞情報連続取得設定」を「ON」に設定している場合、ルート案内中は一定間隔で渋滞情報を取得します。(→P81)

ルートを消去する

案内中のルートが不要になったときは、ルートを消去することで、ルート案内を中止します。

メモ

・メインメニュー(→P13)から**設定・編集**→**ナビデータ編集**→**編集**→**ルート編集**→**ルート消去**の操作や、ショートカットメニュー(→P15)の**ルート編集**→**ルート消去**からも操作することができます。

1 **メニュー** を押し、**お出かけ** → **ルート消去** にタッチする



2 **はい** にタッチする



▼
ルートが消去されます。

メモ

・消去したルートを元に戻すことはできません。

場所の登録や各種編集を行う

地点の登録	66
登録データの編集	69
その他のデータ編集	72

地点の登録

自宅や友人宅などの覚えておきたい場所を登録しておく、ルート設定などの操作がかんたんになります。

メモ

- 自宅(1件)、よく行く場所(5件)を含め506地点まで登録できます。
- 登録した場所の名称やマークは変更することができます。→「登録データの編集」(P69)

自宅を登録する


自宅を登録しておく、自宅へのルート探索をかんたんに行うことができます。

1 自宅に車を停め、**メニュー**を押し、**お出かけ** - **自宅** - **はい** にタッチする



自宅が登録されます。

メモ

- 自宅を新規に登録すると、「自宅」という名前と「ジタク」というヨミ、自宅マーク  が自動的に設定されます。
- 自宅以外の場所に停車しているときは、「場所を探す」(→P32)を参照して自宅の場所を探してください。
- 場所を探して登録するときに、自宅として登録することもできます。→「場所を登録する」(P66)
- Liteメニューの**お帰**りの操作で自宅を登録することもできます。(→P45)
- 自宅登録後にお出かけメニューの**自宅**またはLiteメニューの**お帰**りにタッチすると、自宅までのルート探索が始まります。
- 自宅の位置は変更できます。→「登録した場所の登録内容を変更する」(P69)
- 自宅を登録し直す場合は、登録済みの自宅を消去してから行ってください。→「登録した場所・よく行く場所を消去する」(P71)


場所を登録する

探した場所やドライブで訪れた場所を登録しておく、次回そこへ行くとときにかんたんにルートを探索することができます。また、登録した場所へ電話をかけたり近くと自動的に音を鳴らすこともできます。

1 場所を探す(→P32)

探した場所の地図上にショートカットメニューが表示されます。

メモ

- 現在地を登録したいときや、地図をスクロールして場所を探したときは、それぞれの画面で  にタッチします。

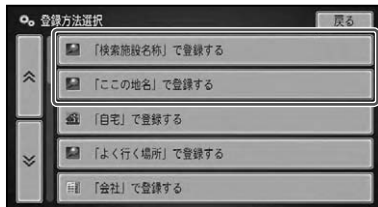
2 ここを登録する にタッチする



メモ

- 走行中は、手順 2 の操作後に地点が登録されます。

3 「この地名」で登録するまたは「検索施設名称」で登録するにタッチする



メモ

- あらかじめ用意されている名称で登録することもできます。(→P67)

4 入力完了にタッチする



メモ

- ジャンルリスト検索などで呼び出した施設などを登録する場合、その施設に電話番号のデータがあれば、自動的にその番号が登録されます。
- お好みで、登録する名称を付け加えたり、変更したりすることもできます。→「文字の入力操作」(P200)

5 終了にタッチする



用意されている名称で登録する

場所を登録する際、その場所の地名ではなく「実家」「おばあちゃんの家」「彼女の家」といった、すでに用意されている名前から選択して登録できます。登録時に選択した名称とそれに応じたマークが付きます。ヨミも自動的に登録されます。

1 P67の手順3で以下の項目を選ぶ

選んだ項目(表左側)に対する登録名称(表右側)で登録されます。

項目	登録名称
「自宅」で登録する	自宅
「よく行く場所」で登録する	よく行く場所
「会社」で登録する	会社
「実家」で登録する	実家
「友達の家」で登録する	友達の家
「おじいちゃんの家」で登録する	おじいちゃんの家
「おばあちゃんの家」で登録する	おばあちゃんの家
「おじさんの家」で登録する	おじさんの家
「おばさんの家」で登録する	おばさんの家
「田舎」で登録する	田舎
「ふるさと」で登録する	ふるさと
「彼女の家」で登録する	彼女の家
「彼氏の家」で登録する	彼氏の家
名前をつけて登録する	お好みの名前を入力することができます。

2 入力完了 - 終了にタッチする

メモ

- 「よく行く場所」で登録するを選ぶと、Liteメニュー(→P44)の「よく行く場所」として登録されます。
- あらかじめ用意されている名称でも、手順2で変更することができます。→「文字の入力操作」(P200)

よく行く場所を登録する

Liteメニューの「よく行く場所」を登録する方法は、「場所を登録する」(→P66)以外に、以下の方法があります。

1 (ロータリーボリューム&セクター)を押す

Liteメニューが表示されます。

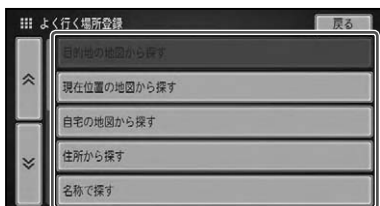
2 よく行く場所にタッチする



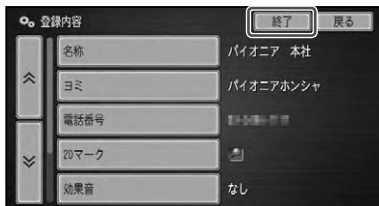
3 リストから**未登録**を選んで**決定**にタッチする



4 場所を探す方法を選んで場所を探し(→P32)、**決定**にタッチする



5 登録内容を確認し、**終了**にタッチする



選んだ場所が「よく行く場所」として登録されます。

メモ

- ・「よく行く場所」は、5件まで登録することができます。
- ・よく行く場所として登録した内容は、あとから編集することができます。(→P70)

登録データの編集

登録した場所に関する情報(名称、ヨミ、電話番号、マーク、効果音、位置、コメント)を編集することができます。また、Liteメニューの「よく行く場所」に登録した地点についても、編集することができます。

メモ

・自宅として登録した場所の「ヨミ」は変更できません。また、他の登録した場所への変更もできません。

登録した場所の登録内容を変更する

登録時に設定された内容を変更することができます。

メモ

・登録した場所の詳細情報(→P39)の**データ編集**から操作することもできます。

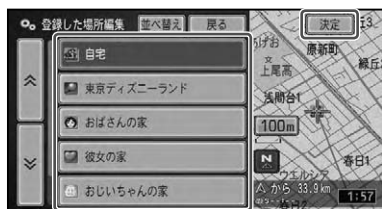
1 **メニュー** を押し、**設定・編集 - ナビデータ編集 - 編集** にタッチする



2 **登録した場所編集** にタッチする

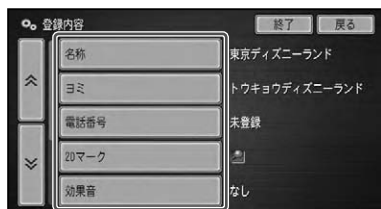


3 **登録内容を変更したい地点を選んで決定** にタッチする



並べ替え	登録した場所をヨミ順で並べ替えます。
ヨミ順	
並べ替え	登録した場所を登録した日時順で並べ替えます。
登録日時順	

4 変更したい項目にタッチする



名称	変更したい名称を全角で20文字(半角で40文字)まで入力できます。
ヨミ	ヨミ順でリストを並べ替えるときの「ヨミ」を入力します。ヨミは全角で20文字まで入力できます。
電話番号	電話番号を入力します。電話番号を設定しておく、電話番号からその場所を検索できるようになります。また、本機に携帯電話が接続(→P173)されている場合はその場所に電話をかけることもできます。
2Dマーク	登録した場所として地図上に表示される2Dマークを変更します。
効果音	登録した場所に近づいたときに鳴らす効果音を設定できます。
位置修正	登録した場所の位置を修正します。
コメント	登録した場所にお好きなコメントを入力します。コメントは全角で2048文字まで入力できます。

登録した場所の名称を地図上に表示させる

2D マークリスト上の **□** マークを選ぶと、マークに加え登録した場所の名称も地図上に表示されます（プライベートマップング）。



メモ

- マークは3ページ目にあります。>>> でページを送ってください。

効果音の鳴りかた

- 効果音の設定された登録地が自転車から500m以内に近づくと、効果音が鳴ります。
- 自転車から500m以内に登録した場所が複数ある場合は、近いものから効果音が鳴ります。
- 登録した場所の効果音よりも、ルートの音声案内などが優先されます。
- いったん効果音が鳴ると、30分経過するか、本機の電源を入れ直さないと（エンジンをかけ直さないと）同じ場所の効果音は鳴りません。
- あいさつ** にタッチすると、時刻によって効果音が変わります。

よく行く場所の登録内容を変更する

よく行く場所として登録した内容を変更することができます。

メモ

- 登録した場所の詳細情報（→P39）の **データ編集** から操作することもできます。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **ナビデータ編集** - **編集** にタッチする



2 **よく行く場所編集** にタッチする



以降の操作は、「登録した場所の登録内容を変更する」(→P69)手順**3**以降と同様です。

登録した場所・よく行く場所を消去する

登録した場所やよく行く場所が不要になった場合は、消去することができます。

 メモ

・登録した場所の詳細情報(→P39)の**データ編集**から操作することもできます。

1 を押し、**設定・編集** - **ナビデータ編集** - **消去** にタッチする

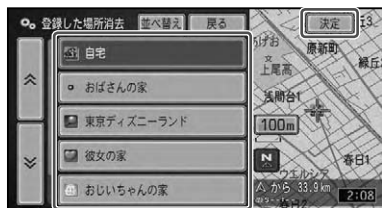


2 **登録した場所消去** または **よく行く場所消去** にタッチする



3 **消去したい地点を選んで決定** にタッチする

サイドマップには、選んだ地点の地図が表示されます。



並べ替え	登録した場所をヨミ順で並べ替えます。
ヨミ順	
並べ替え	登録した場所を登録した日時順で並べ替えます。
登録日時順	



確認メッセージが表示されます。

4 **はい** にタッチする



登録した場所またはよく行く場所が消去されます。

その他のデータ編集

最近探した場所を消去する

最近探した場所を消去することができます。

- 1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **ナビデータ編集** - **消去** にタッチする

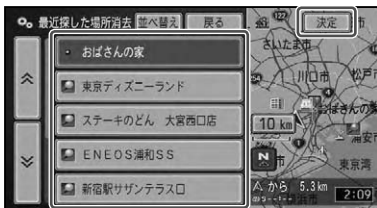


- 2 **最近探した場所消去** にタッチする



- 3 **消去したい地点を選んで決定** にタッチする

サイドマップには、選んだ地点の地図が表示されます。



並べ替え	最近探した場所を呼び出した日
呼出日時順	時順で並べ替えます。
並べ替え	最近探した場所を本機に保存さ
保存日時順	れた日時順で並べ替えます。

確認メッセージが表示されます。

- 4 **はい** にタッチする

最近探した場所が消去されます。

走行軌跡を消去する

地図画面に表示されている走行軌跡を消去することができます。



- 走行軌跡について、詳しくは『スタートブック』をご覧ください。
- 走行軌跡を自動的に消去したり、表示しないように設定することもできます。→「機能設定をする」(P166)

- 1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **ナビデータ編集** - **消去** にタッチする



- 2 **走行軌跡消去** にタッチする



確認メッセージが表示されます。

- 3 **はい** にタッチする



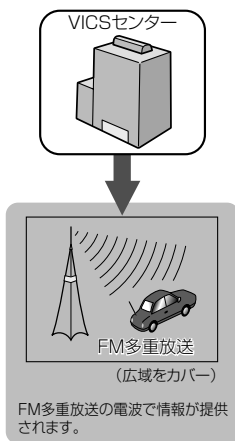
走行軌跡が消去されます。

渋滞情報を取得して利用する

渋滞情報

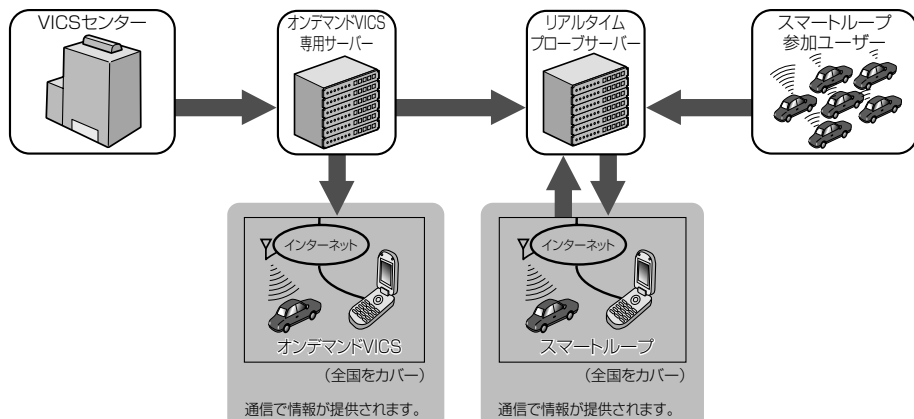
本機で取得できる渋滞情報には、車載のアンテナで受信するVICS情報（VICSセンターから提供）と、携帯電話を利用して通信で取得するオンデマンドVICS情報（オンデマンドVICS専用サーバーより提供）、スマートループ渋滞情報（リアルタイムプローブサーバーより提供）があります。

VICS情報



本機に内蔵のVICS/FM多重チューナーで、FM多重放送によるVICS情報を受信できます。

オンデマンドVICS情報／スマートループ渋滞情報



専用サーバー経由で全国のVICS情報をオンラインで取得できます。

専用サーバー経由で全国のスマートループ参加ユーザーからの渋滞情報をオンラインで取得できます。

VICS 情報を利用する

VICS (Vehicle Information & Communication System: 道路交通情報通信システム) とは、最新の交通情報をドライバーに伝えるための通信システムです。

VICS 情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、かんたんな地図イラストや文字で見することもできます。

VICS 情報の表示形態

VICS 情報には、レベル1からレベル3までの3種類の表示形態があります。ドライバーはVICSセンターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

- 渋滞情報 (順調情報も含む)
- 交通障害情報
- 交通規制情報
- 駐車場情報

レベル 3：地図

ナビゲーションの地図上に道路交通情報が直接表示されます。



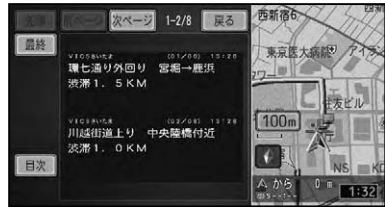
レベル 2：簡易図形

かんたんな地図イラストなどで道路交通情報が表示されます。



レベル 1：文字

文字で道路交通情報が表示されます。



メモ

- ・ 情報提供側の問題により、文字が正しく表示されなかったり、ネットワーク障害などのエラーメッセージが表示されることがあります。

地図上でVICS情報を見る

レベル3（地図）の表示形態では、VICSセンターから受信した道路交通情報が、渋滞の道塗りやVICS情報マークで地図上に表示されます。

一般道路への表示

渋滞	赤色に白い縁取り
混雑	橙色に白い縁取り
順調	明るい青に白い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
通行止め	黒

有料道路への表示

渋滞	赤色に青い縁取り
混雑	橙色に青い縁取り
順調	明るい青に青い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
入口閉鎖・通行止め	黒



VICSレベル3情報提供時刻表示

F	FM 多重放送による VICS 情報提供時刻
橙色	情報を受信してから5分未満の状態
青	情報を受信してから5分以上30分未満経過した状態
--:--	情報を受信していない、または受信後30分以上経過した状態（受信開始時、または情報が受信できなくなって30分以上経過した場合、VICS情報は消去される）。

メモ

- 本機の電源をON（エンジンをON）にしてから、受信したVICS情報が表示されるまで時間がかかることがあります。
- 希望するエリアの放送が受信できないときは、放送局を切り換えてください。→「放送局を選ぶ」(P79)
- VICS情報提供時刻表示は、最新のデータが提供された時刻です。
- 本機が専用サーバーに接続可能な状態にあるときは、**渋滞**に長くタッチするか**渋滞**—**情報取得**にタッチすると、オンデマンドVICS情報またはスマートループ渋滞情報を取得します(→P81)。

VICSマークの種類

VICS情報により、次のようなマークも地図上に表示されます。メニューの操作でVICS情報マークの詳細を見ることも可能です。

	大型通行止め		故障車
	作業		路上障害
	チェーン規制		凍結
	進入禁止		入口制限
	通行止め・閉鎖		事故
	工事中		入口閉鎖
	片側交互通行		対面通行
	車線規制		徐行
	速度規制(数字は制限速度)		
	気象		行事
	災害		火災
	駐車場閉		原因なし
	駐車場(空き:青、混雑:橙色、満車:赤、不明:黒)		

一度に受信・表示できる情報について

FM多重放送によるVICS情報、通信機器によるオンデマンドVICS情報またはスマートループ渋滞情報は同時に表示されます。同じ道の情報がFM多重放送とオンデマンドVICS情報またはスマートループ渋滞情報から提供されたときは、新しい情報が表示されます。

提供時刻の表示に時間がかかるときは

受信中の放送局の受信感度を確認してください。→「放送局を選ぶ」(P79)

2つの放送エリアが重なる地域を走行しているときは

本機は、現在地周辺のVICS情報(道塗り情報)と別のエリア(隣接する都道府県など)のVICS情報を同時に表示することができます。したがって、県境などの放送エリアが重なる地域を走行しても、必要な情報を見ることができます。

VICS情報マークの詳細を見る

地図上に表示されているVICS情報マークの詳細な情報を見ることができます。

1 VICSマークにカーソルを合わせ、 - 詳細情報を見るにタッチする(→P39)



2 表示したい情報を選んで**決定**にタッチする



メモ

- カーソル付近に情報が1件しかない場合は、この画面は表示されません。



緊急情報の自動表示

緊急情報を受信した場合、自動的にその内容が表示されます。

VICSの文字・図形情報を見る

文字や図形のVICS情報を表示させることができます。

1 現在地画面で渋滞にタッチする

渋滞情報画面が表示されます。

2 表示させたい情報にタッチする



FM多重 VICS

図形情報	レベル2(簡易図形)の広域情報を表示します。
文字情報	レベル1(文字)の広域情報を表示します。
センター情報	VICS センターからの情報を表示します。

3 見たい情報の番号にタッチする

メニューに表示されている情報番号と同じ番号を選びます。渋滞や交通規制などに関する情報が表示されます。



メモ

- ・全情報画面が複数のページにおよぶときは、**前ページ**、**次ページ**にタッチすると、ページを送ります。**先頭** / **最終**にタッチすると、先頭ページ / 最終ページが表示されます。
- ・すべての情報が取得されていないときは、現在取得している情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- ・**目次**にタッチすると、VICSメニューに戻ります。
- ・**選局**にタッチすると、FM多重放送の放送局を選ぶことができます。→「放送局を選ぶ」(P79)

放送局を選ぶ

VICS 情報を FM 多重放送から受信するとき、最も受信感度のよい放送局を選びます。

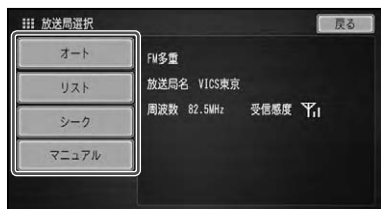
1 現在地画面で**渋滞**にタッチする

▼
渋滞情報画面が表示されます。

2 **放送局選択**にタッチする



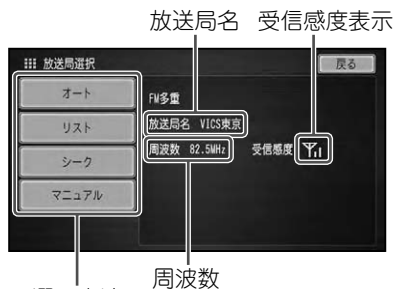
3 **放送局を探す方法**にタッチする



オート	自車位置に応じて VICS 放送局が自動的に選択されます。
リスト	放送局リストから選びます。
シーク	+ 、 - にタッチして、周波数の自動チューニングを行います。受信可能な放送局を受信したところで止まります。
マニュアル	+ 、 - にタッチして、周波数を変化させます。

放送局の受信感度の確認について

放送局選択画面では、受信中の放送局名、周波数、受信感度などが表示されます。



受信感度表示は、バーの数が多くほど受信感度が良好であることを示します。バーが2本以下のときは、受信に時間がかかったり受信できないことがあります。

渋滞情報を取得して利用する

通信で渋滞情報を取得する

通信で取得できる渋滞情報には、オンデマンドVICS情報とスマートループの渋滞情報があり、それぞれ専用サーバー（オンデマンドVICS専用サーバー、リアルタイムプローブサーバー）から提供されます。

オンデマンドVICSについて

オンデマンドVICSとは、本機に接続された通信機器からオンデマンドVICS専用サーバーに接続し、VICSセンターからの自転車位置付近またはスクロール先のVICS情報（事象・規制情報、渋滞旅行時間リンク情報、SA・PA情報、駐車場情報）を取得する機能です。取得した情報は、地図に表示したり、ルート探索、到着予想時間などに反映することができます。

メモ

- オンデマンドVICSをお使いになるときは、本機と通信機器との接続が必要となります。詳しくは「通信接続設定」(→P173)を参照してください。
- 本機に保存できる取得情報は、3回分までです。4回目の取得操作を行うと、1回目の取得情報が消去されます。
- オンデマンドVICSの情報は、インクリメントP株式会社から提供されます。
- 道路交通情報データは、財団法人 日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には、財団法人 道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。

スマートループとスマートループ渋滞情報について

スマートループとは、ご利用登録いただいた各お客様から提供される情報（走行履歴）を、リアルタイムプローブサーバーで蓄積管理し、走行履歴データを考慮して作成された最新のプローブ渋滞情報を、VICS情報とあわせてお客様にご提供するシステムです。「スマートループ渋滞情報」として取得できる情報は、VICSの情報（渋滞、規制、駐車場、SA/PA情報）と、リアルタイムプローブサーバーからのプローブ渋滞情報（現況渋滞情報・過去3カ月の走行履歴から生成した渋滞情報）で、ルート探索、到着予想時間などに反映することができます。

メモ

- スマートループをお使いになるときは、あらかじめインターネットによるお客様登録と、通信機器の接続設定、機能設定、初期登録が必要となります。スマートループを利用するために必要な操作は、『スタートブック』をご覧ください。

手動で取得する

現在地付近以外の情報を取得したい場合は、情報を取得したい場所の地図を表示させてから、以下の操作を行います。

1 渋滞に2秒以上タッチする

専用サーバーに接続し、オンデマンドVICS情報またはスマートループ渋滞情報を受信します。



メモ

- 情報の受信が完了すると、自動的に通信の接続は切れます。
- 渋滞 - 情報取得** にタッチしても、通信によるオンデマンドVICS情報またはスマートループ渋滞情報の取得を行うことができます。
- オンデマンドVICS情報またはスマートループの渋滞情報とFM多重放送によるVICS情報を両方取得した場合は、提供時刻が新しい情報を優先して画面に表示します。

自動で取得する

機能設定 (→P166) で、「渋滞情報取得開始設定」を「オート」に設定しておくこと、本機が携帯電話の接続を確認した時点で、自動的に情報を取得し、ルート案内に反映することができます。

また機能設定 (→P166) で、「渋滞情報連続取得設定」を「ON」に設定しておくこと、通信可能な状態のときは10分間隔 (ルートあり) または20分間隔 (ルートなし) で情報を受信します。

		渋滞情報取得開始設定	
		オート	マニュアル
渋滞情報連続取得設定	ON	携帯電話の接続を確認した時点で自動取得し、以降一定間隔で連続取得します。	手動取得操作 (→P81) を行った時点で取得し、以降一定間隔で連続取得します。
	OFF	携帯電話の接続を確認した時点で自動取得し、以降は手動取得操作 (→P81) を行った時点で取得します。	手動取得操作 (→P81) を行った時点のみ取得します。

メモ

- スマートループに登録しておくこと、プローブ情報も受信できます。
- スマートループに登録しておくこと、情報受信の際に、走行履歴等のお客様の情報が、リアルタイムプローブサーバーに送信されます。
- 渋滞情報連続取得設定のON/OFFは、渋滞情報画面 (→P78) の **連続取得** にタッチして切り換えることもできますが、OFFからONに切り換えた場合の最初の情報受信は、手動で行ってください。

渋滞情報を取得して利用する

通信で取得した渋滞情報の地図表示について

スマートループ渋滞情報の地図表示は、VICS情報の地図表示と区別され表示されます。

一般道路への表示

渋滞	赤色の点線に白い縁取り
混雑	橙色の点線に白い縁取り
順調	空色の点線に白い縁取り

有料道路への表示

渋滞	赤色の点線に青い縁取り
混雑	橙色の点線に青い縁取り
順調	空色の点線に青い縁取り



情報提供時刻表示

O	オンデマンド VICS による渋滞情報提供時刻
S	スマートループによる渋滞情報提供時刻
橙色	情報を受信してから 5 分未満の状態
青	情報を受信してから 5 分以上 30 分未満の状態
--:--	情報を受信していない、または受信後 30 分以上経過した状態（受信開始時、または情報が受信できなくなって 30 分以上経過した場合、通信で取得した渋滞情報は消去される）。

メモ

- スマートループ(S)とオンデマンド VICS (O) の情報提供時刻表示は、現在取得しているどちらかの情報のみが表示されます。

通信で取得した渋滞情報の提供時刻を確認する

渋滞情報画面では、通信で取得した情報の提供時刻の確認と、連続取得の状態を確認できます。

1 渋滞にタッチする

スマートループが利用可能な場合



「渋滞情報連続取得設定」(→P169)がONの場合は、取得状態(動作中または停止中)が表示されます。

スマートループが利用不可能な場合



ラジオ・交通情報を聞く

ラジオを聞く	86
交通情報を聞く	89

ラジオを聞く

ラジオの操作のしかたを説明します。

基本操作

1 を押し、**AV - FM** / **AM** にタッチする

(例：FM)



エリアプリセット	プリセットの種類(→P86)を切り換えます。
ユーザープリセット	
< 周波数 / 周波数 >	周波数を順に送ります。長くタッチすると、受信できる放送局を自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK) タッチし続けると、周波数を連続で送ります。(NON STOP SEEK)
バンド	バンドを切り換えます。(→P87)

(ロータリーボリューム&セレクター) で操作する場合：

左右に倒す	周波数を順に送ります。
左右に長く倒す	受信できる放送局を自動的に探します。(SEEK)
左右に倒し続ける	周波数を連続で送ります。(NON STOP SEEK)
上下に倒す	プリセットチャンネルを順に送ります。

メモ

- 周波数がリスト表示されていても、現在地の環境や電波状況によっては、受信できない場合があります。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。

プリセットを切り換える

ユーザーが登録した放送局(ユーザープリセット)を呼び出すか、あらかじめ本機に記憶されている自車位置付近の放送局(エリアプリセット)を呼び出すかを選びます。

1 **ユーザープリセット** または **エリアプリセット** にタッチする



メモ

- エリアプリセットでは、放送局の周波数変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

バンドを切り換える

本機ではFM/AMそれぞれに2つのバンドがあり、バンドごとにプリセットメモリー(P1～P6)を使い分けることができます。

1 バンドにタッチする



タッチするごとに、以下のように切り換わります。

FM1 ↔ FM2
AM1 ↔ AM2

メモ

- ふだんはFM1やAM1を使い、旅行先ではFM2やAM2を使うなど、用途によって使い分けると便利です。

放送局を手動で登録する

ユーザープリセットに、FM1とFM2、AM1とAM2に各6局まで、手動で放送局を登録することができます(マニュアルプリセット)。

メモ

- リストが表示されていない場合は、**リスト**にタッチしてリスト画面を表示してください。

1 ユーザープリセットに切り換える

2 <周波数/周波数>にタッチして登録したい放送局の周波数を選ぶ



3 登録したいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする

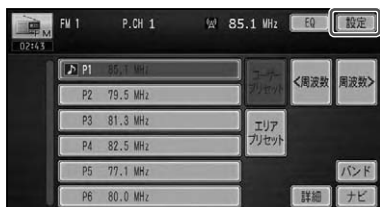


現在受信中の放送局が、選んだプリセットに登録されます。

放送局を自動で登録する

受信状態の良い放送局をユーザープリセットメモリーに自動的に登録することができます。

1 設定 にタッチする



2 BSM にタッチする



3 開始 にタッチする



停止 にタッチすると、自動登録を中止します。

自動登録が完了すると、ユーザープリセットに放送局が登録されます。

メモ

- 受信状態の良い放送局が登録可能数より少ない場合は、前の登録が残る場合があります。

交通情報を聞く

幹線道路などで放送されている交通情報の操作のしかたを説明します。

1 を押し、**AV** - **交通情報** にタッチする



1620kHz	1620kHzに切り換えます。
1629kHz	1629kHzに切り換えます。
交通情報 OFF	交通情報の受信をやめて直前のAVソース画面に戻ります。

(ロータリーボリューム&セレクター)で操作する場合：

左右に倒す	周波数を切り換えます。
-------	-------------

メモ

- 交通情報を受信しているときに、音量を調整すると、交通情報用の音量として設定することができます。他のAVソースに切り換えて音量を調整しても、次に交通情報を受信するときは、前回設定した音量で聞くことができます。

ワンセグ、地デジを見る

ワンセグを見る	92
地デジを見る	95

ワンセグを見る

本機では、地上デジタル放送のサービスの1つである「ワンセグ」を視聴することができます。

！ 注意

- ワンセグ放送は、停車中でパーキングブレーキがかかっているときに見ることができます。走行中は安全のため、ワンセグ放送は表示されません。
- 本機をご購入後はじめてワンセグをご覧になる場合やバッテリーを外したとき、別のエリアに移動したときは、受信可能なチャンネルを自動的に登録する操作「チャンネルスキャン」(→P93)が必要です。チャンネルスキャンが完了するまでは、**スキャン**以外のタッチキーを操作することはできません。

メモ

- ワンセグ放送は、受信感度の影響を受けやすく、画像がすぐに表示されないことがあります。また、画像が乱れる、遅れる、突然受信できなくなるといった現象が起こることがありますが、故障ではありません。

基本操作

1 **メニュー** を押し、**AV** - **ワンセグ** にタッチする

2 画面にタッチして操作タッチキーを表示し、操作する



番組情報	番組情報を表示します。(→P93)
スキャン	2秒以上タッチすると、受信状態の良い放送局を自動的に記憶します。(→P93)
<チャンネル チャンネル>	受信したい放送局(3桁チャンネル)を順に送ります。
SEEK > <SEEK	物理チャンネルを自動的に探します。
メニュー	ファンクションメニューを表示します。(→P94)

○ (ロータリーボリューム&セレクター)で操作する場合：

左右に倒す	3桁チャンネルを順に送る
左右に長く倒す	受信できる物理チャンネルを自動的に探す (SEEK)

メモ

- 何も操作をしないと、操作タッチキーは約10秒で消えます。もう一度操作タッチキーを表示したいときは、画面にタッチします。
- ファンクションメニュー、番組情報表示中は、ロータリーボリューム&セレクターでの操作はできません。
- ワンセグを視聴中に、ロータリーボリューム&セレクターで音量調整を行うと、ナビゲーションの案内音声と操作音も同時に変化しますが、これは本機の仕様で、故障ではありません。
- ワンセグの音声は放送局側の出力レベルにより低い場合があります。そのため他のAVソースからワンセグに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。(→P189)
- ワンセグ視聴中に、AVソース画面からナビゲーション画面やバックカメラ映像に切り換えると、映像と音声は一時停止状態となります。地図画面またはバックカメラ映像を表示しながらワンセグの音声だけを楽しむということはできませんが、これは本機の仕様であり、故障ではありません。

放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)

受信可能な放送局をチャンネルリストに自動的に登録することができます。

1 スキャンに長くタッチする

画面に“スキャン中 ○○%”と表示されるまでタッチし続けます。



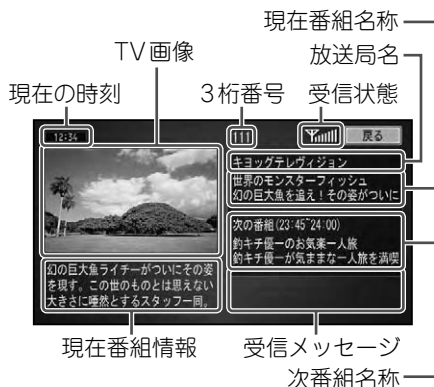
番組情報を表示する

現在視聴している番組の情報と次の番組の情報を表示します。取得しているメッセージがある場合は、メッセージも表示します。

1 番組情報 にタッチする



番組情報が表示されます。



チャンネルリストを表示して放送局を選ぶ

チャンネルリストを表示して、見たい放送局を選ぶことができます。

1 メニュー－チャンネルリストにタッチする



2 受信したい放送局名にタッチする



TV表示設定を行う

ワンセグの表示設定を行います。

1 メニュー－TV表示設定にタッチする



2 項目にタッチしてそれぞれを設定する



音声切換	第1音声 / 第2音声を切り換えます。
2ヶ国語放送切換	主音声 / 副音声 / 主 + 副音声を切り換えます。
字幕切換	字幕の非表示 / 第1言語 / 第2言語を切り換えます。
時計設定	時計の表示 / 非表示を切り換えます。

地デジを見る

別売の地上デジタルテレビチューナー「GEX-P90DTV」または「GEX-P70DTV」を接続すると、地上デジタルテレビジョン放送を視聴することができます。

メモ

- ・本機では、リスト画面に放送局名は表示されません。また、一部の機能のみ本機から操作できません。その他の機能は「GEX-P90DTV/P70DTV」に別売のリモコン受光部「CD-SE10」を接続し、「GEX-P90DTV/P70DTV」に付属のリモコンで操作してください。→『GEX-P90DTV/P70DTVに付属の取扱説明書』
- ・地上デジタルTVチューナーを初めて使用するときやバッテリーを外したとき、別のエリアに移動したときは、チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P96)

注意

- ・地上デジタル放送は、停車中でパーキングブレーキがかかっているときに視聴することができます。走行中は安全のため、地上デジタル放送は表示されません。

基本操作

1 **メニュー** を押し、**AV - 地上デジタルTV** にタッチする

2 画面にタッチして操作タッチキーを表示し、操作する



スキャン	2秒以上タッチすると、受信状態の良い放送局を自動的に登録します。(→P96)
<チャンネル / チャンネル>	3桁チャンネルを順に送ります。長くタッチすると物理チャンネルを自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)
バンド	バンドを切り換えます。(→P97)

音声切換/字幕切換	音声を切り換えます。(→P97) 長くタッチすると字幕を切り換えます。(→P98)
サービス切換	サービスを切り換えます。(→P98)
映像切換	映像を切り換えます。(→P99)
リスト	放送局リストの表示/非表示を切り換えます。

◎ (ロータリーボリューム&セレクター) で操作する場合：

左右に倒す	3桁チャンネルを順に送ります。
左右に長く倒す	受信できる物理チャンネルを自動的に探します。(SEEK)
上下に倒す	プリセットチャンネルを送ります。

メモ

- ・何も操作をしないと、操作タッチキーは約10秒で消えます。もう一度操作タッチキーを表示したいときは、画面にタッチします。
- ・**ビュー** にタッチして、操作タッチキーを消すこともできます。

放送局を手動で登録する

12局まで手動で登録することができます
(マニュアルプリセット)。

- 1 **<チャンネル、チャンネル>** に
タッチして登録したい放送局を
選び**リスト**にタッチする



- 2 登録したいリストのプリセット
の枠に2秒以上タッチする



現在受信中の放送局が、選んだリストに
登録されます。

放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)

受信状態の良い放送局をチャンネルリスト
に自動的に登録することができます。

- 1 **スキャン**に2秒以上タッチする



もう一度**スキャン**にタッチすると、チャ
ンネルスキャンを中止します。

バンドを切り換える

本機では2つのバンド(地デジ1/地デジ2)があり、それぞれのバンドごとにプリセットメモリー(P1～P12)を使い分けることができます。

1 バンドにタッチする



▼
タッチするごとに **地デジ1 ↔ 地デジ2** が切り換わります。

メモ

- ふだんは地デジ1を使用し、旅行先では地デジ2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

音声を切り換える

番組に複数の音声があるときに、音声を切り換えます。

1 音声切換/字幕切換にタッチする



▼
タッチするごとに次のように切り換わります。

複数の音声がある場合：

第1音声 → 第2音声 → 第3音声 →
第1音声 に戻る

2 カ国語放送(2重音声)の場合：

主音声 → 副音声 → 主音声+副音声 →
主音声 に戻る

字幕を切り換える

番組に字幕があるときに、字幕の言語と表示のON/OFFを切り換えます。

1 音声切換／字幕切換に2秒以上タッチする



タッチするごとに次のように切り換わります。

字幕1 → 字幕2 → 字幕OFF → 字幕1
に戻る

サービスを切り換える

現在受信中のチャンネルで複数のサービスが提供されている場合、サービスを切り換えることができます。

1 サービス切換にタッチする



別のサービスが表示されます。

映像を切り換える

マルチビューなど、複数の映像がある番組のときに、映像を切り換えます。

1 映像切換 にタッチする



▼
タッチするごとに次のように切り換わります。

映像1 → 映像2 → 映像3 →
映像1 に戻る

CD、ROM (WMA/MP3/AAC)を聴く

CDを聴く	102
ROM (WMA/MP3/AAC) を聴く	105

CD を聴く

CDの操作のしかたを説明します。

基本操作

1 CDを挿入する(→『スタートブック』)



メモ

- すでに再生したいCDが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P26)
- CDの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生できるCDについては「再生できるディスクの種類」(→P208)を参照してください。
- タイトル名やトラック名、アーティスト名などは、CD-TEXTから情報が取得できた場合のみ表示されます。それ以外では“——”で表示されます。

	トラックのダウン／アップを行います。
 (長くタッチする)	早戻し／早送りをを行います。
	再生中は一時停止します。 一時停止中は再生を再開します。
ランダム	ランダム設定(→P104)にかかわらず、ディスク全体をランダムに再生します。
メディア	異なるデータ形式が混在したディスクを挿入した場合にのみ表示され、再生するデータ形式を切り換えます。(→P103)

◎ (ロータリーボリューム&セレクター)で操作する場合：

左右に倒す	トラックのダウン／アップを行います。
左右に長く倒す	早戻し／早送りをを行います。

再生メディアの切り換え

音楽データ(CD)とWMA/MP3/AACデータ(ROM)とDivXのデータ、またはいずれかのデータの組み合わせで混在しているディスクの場合に再生するデータ形式を切り換えることができます。

1 メディアにタッチする



再生するデータ形式が切り換わります。
切り換わる優先順序は、**CD → ROM → DivX**の順になります。

メモ

- 音楽データ側に記録された文字情報は表示されません。

リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生できます。

1 設定 - リピートにタッチする



タッチするごとに、リピートの範囲が以下のように切り換わります。

DISC ↔ TRACK

DISC	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
TRACK	再生中のトラック(曲)を繰り返します。

メモ

- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作(TRACKリピート中の選曲操作など)を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。

ランダム再生

曲順を変えて再生することができます。

1 設定 — ランダム にタッチする



▼

タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- リピートの範囲をTRACKに指定している場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲は自動的にDISCに切り換わります。
- ランダム再生中にリピート再生やスキヤン再生を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

スキヤン再生

ディスク内の各曲の演奏開始部分を、約10秒間ずつ聴くことができます。聴きたい曲を探すときに使います。

1 設定 — スキヤン にタッチする



▼

タッチすることにより、スキヤン再生のON/OFFが切り換わります。

2 聴きたい曲が再生されたら、もう一度 スキヤン にタッチする

▼

スキヤン再生がOFFになり、選んだ曲が再生されます。

メモ

- スキヤン再生を始めた曲まで戻ると、スキヤン再生は解除されます。
- リピートの範囲をTRACKに指定している場合、スキヤン再生をONにすると、リピートの範囲は自動的にDISCに切り換わります。
- スキヤン再生中にリピート再生やランダム再生を行うと、スキヤン再生が中止される場合があります。

ROM(WMA/MP3/AAC)を聴く

ROM(WMA/MP3/AAC)の操作のしかたを説明します。

基本操作

1 ROMを挿入する(→『スタートブック』)



	トラックのダウン／アップを行います。
 (長くタッチする)	早戻し／早送りをを行います。
	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
ランダム	ランダム設定(→P107)にかかわらず、ROM全体をランダムに再生します。
メディア	異なるデータ形式が混在したディスクを挿入した場合にのみ表示され、再生するデータ形式を切り換えます。(→P106)
	1つ上のフォルダーの内容を表示します。
	フォルダーのアップ／ダウンを行います。
	再生中の曲の詳細情報を表示します。(→P106)

○(ロータリーボリューム&セレクター)で操作する場合：

左右に倒す	トラックのダウン／アップを行います。
左右に長く倒す	早戻し／早送りをを行います。
上下に倒す	フォルダーのアップ／ダウンを行います。

メモ

- すでに再生したいROMが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P26)
- ROMの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生できるROMについては「再生できるディスクの種類」(→P208)を参照してください。
- はリスト画面(→P28)のときだけ表示されます。また、ルートフォルダー表示中は、操作できません。
- WMAタグ/ID3タグ/AACタグ(→P211)からタイトル情報を取得できた場合は、タイトルやアーティスト名が表示されます。
- 情報画面(→P28)表示中は、トラックタイトル、アーティスト名、アルバムタイトルが表示できます。
- タイトル情報を取得できなかった場合、ファイル名がトラックタイトルとして表示されます。アーティスト名は表示されません。
- WMAのときにタグのAuthor情報があつた場合、アーティスト名として表示します。
- フォルダーの項目にタッチすると、選んだフォルダー内の情報を表示します。
- DRMには対応していません。
- 本機で再生可能なファイル形式については「本機で再生可能なメディアとファイルの種類」(→P30)をご覧ください。

詳細情報を表示する

現在再生中の曲の詳細情報を見ることができます。

1 詳細にタッチする



メモ

- WMAタグ、ID3タグ、AACタグから情報を取得できた場合に、それぞれ現在再生中の曲の詳細情報(トラック名、フォルダー名、ファイル名、アーティスト名)が表示されます。

再生メディアの切り換え

音楽データ(CD)とWMA/MP3/AACデータ(ROM)とDivXのデータ、またはいずれかのデータの組み合わせで混在しているディスクの場合に再生するデータ形式を切り換えることができます。

1 メディアにタッチする



再生するデータ形式が切り換わります。切り換わる優先順序は、**CD → ROM → DivX**の順になります。

メモ

- 音楽データ側に記録された文字情報は表示されません。

リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生できます。

1 設定 - リピート にタッチする



タッチすることにより、リピートの範囲が以下のように切り換わります。

DISC → TRACK → FOLDER → DISC に戻る

DISC	通常の再生状態です。再生中のROMを繰り返します。
TRACK	再生中のトラック（曲）を繰り返します。
FOLDER	再生中のフォルダーを繰り返します。

メモ

- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作（TRACKリピート中の選曲操作など）を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。

ランダム再生

選んだりリピートの範囲内で、曲順を変えて再生することができます。

1 設定 - ランダム にタッチする



タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- リピートの範囲をTRACKに指定している場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲は自動的にFOLDERに切り換わります。
- ランダム再生中に、リピート再生やスキャン再生、リピートの範囲を超える操作（フォルダーの切り換えなど）を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

スキャン再生

指定したリピートの範囲内で、ディスク内の各曲の演奏開始部分や、各フォルダー内の1曲目の演奏開始部分を、約10秒間ずつ聴くことができます。聴きたい曲やフォルダーを探すときに使います。

あらかじめ、リピートの範囲を以下のように指定します。

聴きたい曲を探すとき

リピートの範囲をFOLDERに指定します。

聴きたいフォルダーを探すとき

リピートの範囲をDISCに指定します。

1 設定 - スキャン にタッチする



▼
タッチすることにより、スキャン再生のON/OFFが切り換わります。

2 聴きたい曲またはフォルダーが再生されたら、もう一度スキャンにタッチする

▼
スキャン再生がOFFになり、選んだ曲またはフォルダーが再生されます。

メモ

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- リピートの範囲をTRACKに指定している場合、スキャン再生をONにすると、リピートの範囲は自動的にFOLDERに切り換わります。
- スキャン再生中にリピート再生やランダム再生、リピートの範囲を超える操作（フォルダーの切り換えなど）を行うと、スキャン再生が中止される場合があります。

DVDビデオ、DVD-VR、DivXを見る

DVDビデオを見る	110
DVD-VRを見る	119
DivXを見る	125
DVD機能設定のしかた	131
言語コード表	137

DVD ビデオを見る

DVDビデオの操作のしかたを説明します。

！ 注意

- ・パーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができません。
安全のため、走行中はモニターに映像が表示されません。

基本操作

- 1 DVDを挿入する(→『スタートブック』)
- 2 画面にタッチして操作タッチキーを表示し、操作する

DVDビデオ操作タッチキー 1



トップメニュー / メニュー	ディスクに記録されたメニューがある場合、メニュー画面を表示します。(→P112)
ブックマーク	再生中のディスクにブックマークを登録することができます。(→P112)
◀◀ / ▶▶	チャプターのダウン/アップを行います。
▶ 	再生中は一時停止します。一時停止中または停止中は再生を再開します。
⊠	ディスクメニュー操作タッチキーを表示して、ディスクメニューの操作を行うことができます。(→P112)
■	再生を停止します。
情報表示	AVソースプレートに表示される情報を切り換えます。(→P113)
次ページ	DVDビデオ操作タッチキー2に切り換えます。


DVDビデオ操作タッチキー 2



<タイトル / タイトル>	タイトルのアップ/ダウンを行います。
 ▶	コマ送り再生/スロー再生を行います。(→P114)
◀ 	スロー再生時の再生速度を切り換えます。(→P114)
◀◀ / ▶▶	早戻し/早送りをを行います。約5秒以上タッチし続けると、指を離しても早戻し/早送りのままになります。もう一度タッチすると、通常の再生に戻ります。
10キーサーチ	タイトル番号、チャプター番号、再生経過時間を数字で指定して探し、再生します。(→P115)
リターン	戻る再生位置の指定が収録されているディスクの場合、指定された位置まで戻って再生します。(→P115)
情報表示	AVソースプレートに表示される情報を切り換えます。(→P113)
次ページ	DVDビデオ操作タッチキー3に切り換えます。

DVD ビデオ操作タッチキー 3





音声切換	再生中に音声を切り換えます (マルチ音声)。 (→P116)
字幕切換	再生中に字幕を切り換えます (マルチ字幕)。 (→P116)
アングル	再生中にカメラアングルを切り換えます (マルチアングル)。 (→P117)
	ディスクメニュー操作タッチキーを表示して、ディスクメニューの操作を行うことができます。 (→P112)
0-9	10 キー入力画面が表示され、見たい場面を数字で指定して探し、再生します。 (→P117)
情報表示	AV ソースプレートに表示される情報を切り換えます。 (→P113)
次ページ	DVD ビデオ操作タッチキー 1 に切り換えます。

◎ (ロータリーボリューム & セレクター) で操作する場合：

左右に倒す	チャプターのダウン/アップを行います。
左右に長く倒す	早戻し/早送りを行います。
約5秒以上左右に倒し続ける	◎ (ロータリーボリューム & セレクター) から指を離しても、早戻し/早送りのままになります。もう一度左右どちらかに倒すと、通常の再生に戻ります。
上下に倒す	タイトルのアップ/ダウンを行います。

 メモ

- ・何も操作をしないと、操作タッチキーは約30秒で消えます。もう一度操作タッチキーを表示したいときは、画面にタッチします。
- ・**ビュ** にタッチして、操作タッチキーを消すこともできます。
- ・再生できるDVDについては「再生できるディスクの種類」(→P208)を参照してください。
- ・すでに再生したいDVDが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P26)
- ・DVDによっては、あらかじめディスクに記録されているディスクメニューが表示され、自動的に再生が開始されない場合があります。その場合は、メニュー項目に直接タッチするか、ディスクメニュー操作タッチキーで操作してください。→「ディスクメニューの操作」(P112)
- ・オートプレイの設定をONにすると、タイトル順に自動的に再生することができます。→「オートプレイ」(P135)
- ・DVDの録音レベルは他のAVソースより低いため、他のAVソースからDVDに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでは、AVソースごとの音量の違いをそろえることができます。(→P189)
- ・ で再生を停止すると、停止した場所を記憶し、次回同じディスクを再生したときは前回の続きから再生されます (ディスクによっては続きから再生されない場合があります)。
- ・再生したDVDや再生位置によって、 (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

ディスクメニューの操作

ディスクメニューとは、ディスクにあらかじめ記録されているメニューのことで、表示される内容や操作方法は、再生するディスクによって異なります。

1 トップメニューまたはメニューにタッチする



2 表示されたメニューに直接タッチする(ダイレクトタッチ)



メモ

- トップメニュー画面またはメニュー画面を表示すると、自動的にディスクメニュー操作タッチキーが表示されます。ディスクメニューの文字列がタッチしづらい場合などは、**▲**/**▼**/**◀**/**▶**でメニューを選んで**決定**にタッチしてください。
- **ビュー**にタッチすると、ディスクメニュー操作タッチキーを消すことができます。もう一度ディスクメニュー操作タッチキーを表示させたい場合は、画面にタッチして操作タッチキーを表示し、**決定**にタッチしてください。
- ディスクメニュー操作タッチキーを消した状態では、ダイレクトタッチはできません。

ブックマークの登録

ブックマークとは、ディスク再生中に場面を選んで登録する機能です。次にディスクを挿入したときに、登録した場面から再生されます。本機では、以下の2つの登録方法があります。

タッチキーで登録する

1 ブックマークにタッチする



選んだ場面がブックマークとして登録され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。消去する場合は、**ブックマーク**に2秒以上タッチします。

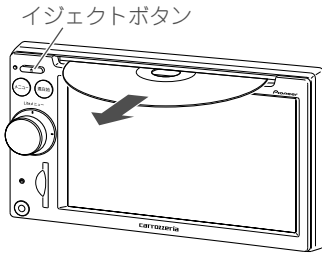
メモ

- 5枚を超えて新しいディスクにブックマークを登録すると、一番使用時期の古いディスクのブックマーク情報に上書きされます。

イジェクトボタンで登録する

タッチキーでの登録よりも、イジェクトボタンで登録したブックマークが優先されます。

1 再生中にイジェクトボタンを2秒以上押してからディスクを取り出す



ボタンが押されたときに再生中だった場面がブックマークとして登録され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。

消去する場合は、イジェクトボタンを短く押してディスクを取り出します。

メモ

- ディスク取り出し時のブックマークの登録は、ディスク1枚分のブックマークを登録します。

AVソースプレートに表示される情報の切り換え

AVソースプレート(→P27)に表示される情報を切り換えることができます。

1 情報表示にタッチする



タッチするごとに、AVソースプレートに表示される情報が以下のように切り換わります。

ディスク情報 → **再生範囲** → **ディスク情報**に戻る

コマ送り／スロー再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら進めて見たり(コマ送り再生)、再生スピードを遅くして見る(スロー再生)ことができます。

コマ送り再生する

1 にタッチする




▼
タッチすることにより、映像が1コマずつ送られます。


スロー再生する

1 に長くタッチする





▼
送り方向にスロー再生されます。
スロー再生中に  にタッチすると、タッチすることによりスロー再生の速度を以下の順に切り換えます。

1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2

スロー再生中に  にタッチすることにより、切り換えた再生速度を元に戻すことができます。

1/2 → 1/4 → 1/8 → 1/16

メモ

- 通常再生に戻すには、 にタッチします。
- 戻り方向へのコマ送り再生／スロー再生はできません。
- コマ送り再生／スロー再生時は、ディスクによって映像が乱れる場合があります。
- ディスクや再生位置によって、 (禁止マーク)が表示され、操作できない場合があります。

見たい場面を探す (ダイレクトサーチ)

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 10キーサーチにタッチする



2 指定する方法(サーチの種類)にタッチする



TITLE	タイトル番号を入力します。
CHAPTER	チャプター番号を入力します。
TIME	時間を分→秒の順に続けて入力します。

3 10キーを使って数字を入力し、**決定**にタッチする



指定した場面から再生を始めます。

メモ

- ・入力を間違えた場合は**削除**にタッチし、はじめから入力し直してください。

リターン再生

戻る位置の指定が収録されているディスクの場合、指定された位置まで戻って再生することができます。

1 リターンにタッチする



ディスクの指定された位置まで戻り、再生を始めます。

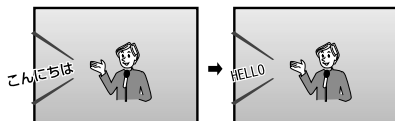
音声言語の切り換え

音声複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます(マルチ音声)。

1 音声切換 にタッチする



タッチするごとに、音声言語が以下のよう
に切り換わります。



メモ

- DVDのパッケージについている②のマークの数字が、音声の収録数です。
- ディスクによっては、収録されているディスクメニュー(→P112)でしか切り換えることができない場合があります。
- DTS 音声は再生できません。
- [Dolby D]や[5.1ch]などの表示は、DVDに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

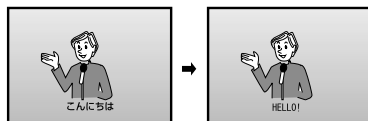
字幕言語の切り換え

字幕複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます(マルチ字幕)。

1 字幕切換 にタッチする



タッチするごとに、字幕言語が以下のよう
に切り換わります。



メモ

- DVDのパッケージについている②のマークの数字が、字幕の収録数です。
- ディスクによっては、収録されているディスクメニュー(→P112)でしか切り換えることができない場合があります。

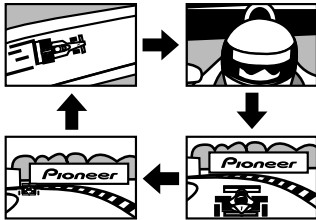
アングルの切り換え

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にアングル選択マークが表示され、マークが表示されている間はカメラアングルを切り換えることができます(マルチアングル)。

1 アングルにタッチする



タッチすることにより、アングルが切り換わります。



メモ

- マルチアングルが収録されている場で操作します。マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。
- パッケージについている マークの数字が、アングルの収録数です。
- アングル選択マークの表示/非表示は、DVD機能設定メニューの「マルチアングル」で行います。→「マルチアングル」(P133)

タイトルサーチ

DVDに記録されたコマンドを数字で指定して再生することができます。

1 0-9 にタッチする



2 10キーを使って数字を入力し、決定にタッチする



指定した場面から再生を始めます。

メモ

- 入力を間違えた場合は **削除** にタッチし、はじめから入力し直してください。

リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生します。

1 設定 - リピート にタッチする



タッチするごとに、リピートの範囲が次のように切り換わります。

DISC → CHAPTER → TITLE → DISC
に戻る

DISC	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
CHAPTER	再生中のチャプターを繰り返します。
TITLE	再生中のタイトルを繰り返します。

メモ

- ディスクまたは再生位置によっては、⊘(禁止マーク)が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作(CHAPTERリピート中のチャプターの切り換えなど)を行うと、リピート再生が中止される場合があります。
- オートプレイ(→P135)の設定がONのときは機能しません。

音声出力の切り換え

音声が一ニアPCMのディスクの場合、収録された左右のチャンネルのうち、どちらをスピーカーから出力するかを切り換えます。

1 設定 - L/R切換 にタッチする



タッチするごとに、音声出力のチャンネルが以下のように切り換わります。

L + R → L → R → Mix → L + Rに戻る

L + R	左右両方の音声を出力します。
L	左の音声を出力します。
R	右の音声を出力します。
Mix	左右の音声をミックスして出力します。

選んだ側の音声を出力します。

DVD-VR を見る

DVD-VRの操作のしかたを説明します。

！ 注意

- パーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため、走行中はモニターに映像が表示されません。

基本操作

- 1 DVDを挿入する(→『スタートブック』)
- 2 画面にタッチして操作タッチキーを表示し、操作する

DVD-VR 操作タッチキー 1



CM スキップ / CM バック	一定の秒数だけ早送り／早戻しします。(→ P120)
モード切替	プレイリストとオリジナルリストを切り換えます。(→ P121)
◀▶	チャプターのダウン／アップを行います。
▶ 	再生中は一時停止します。一時停止中または停止中は再生を再開します。
リスト	プレイリストまたはオリジナルリストを表示します。(→ P121)
■	再生を停止します。
情報表示	AV ソースプレートに表示される情報を切り換えます。(→ P121)
次ページ	DVD-VR 操作タッチキー 2 に切り換えます。

DVD-VR 操作タッチキー 2



音声切替	再生中に音声を切り換えます(マルチ音声)。(→ P122)
字幕切替	再生中に字幕を切り換えます(マルチ字幕)。(→ P122)
<タイトル> / >タイトル<	タイトルのアップ／ダウンを行います。
 ▶	コマ送り再生／スロー再生を行います。(→ P123) 静止画を再生した場合は、タッチすることによって静止画が順に送られます。
◀▶	早送り／早戻しを行います。約5秒以上タッチし続けると、指を離しても早戻し／早送りのままになります。もう一度タッチすると、通常の再生に戻ります。
10キーサーチ	タイトル番号、チャプター番号、再生経過時間を数字で指定して探し、再生します。(→ P123)
情報表示	AV ソースプレートに表示される情報を切り換えます。(→ P121)
次ページ	DVD-VR 操作タッチキー 1 に切り換えます。

つづく→

◎（ロータリーボリューム&セレクター）で操作する場合：

左右に倒す	チャプターのダウン/アップを行います。
左右に長く倒す	早戻し/早送りをを行います。
約5秒以上左右に倒し続ける	◎（ロータリーボリューム&セレクター）から指を離しても、早戻し/早送りのままになります。もう一度左右どちらかに倒すと、通常の再生に戻ります。
上下に倒す	タイトルのアップ/ダウンを行います。

メモ

- 何も操作をしないと、操作タッチキーは約30秒で消えます。もう一度操作タッチキーを表示したいときは、画面にタッチします。
- **ビュー** にタッチして、操作タッチキーを消すこともできます。
- 再生できるDVDについては「再生できるディスクの種類」(→P208)を参照してください。
- すでに再生したいDVDが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P26)
- DVDの録音レベルは他のAVソースより低いため、他のAVソースからDVDに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでは、AVソースごとの音量の違いをそろえることができます。(→P189)
- **■** で再生を停止すると、停止した場所を記憶し、次回同じディスクを再生したときは前回の続きから再生されます(ディスクによっては続きから再生されない場合があります)。
- 再生したDVDや再生位置によって、◎（禁止マーク）が表示され、操作できない場合があります。

CMスキップ/バック

再生中の映像を、一定の秒数だけ早戻し/早送りします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。

1 CMスキップまたはCMバックにタッチする



タッチするごとに、以下のような秒数で早戻し/早送りされます。

CM スキップ (早送り)	「30秒」→「1分」→「1分30秒」 →「2分」→「3分」→「5分」 →「10分」→「0秒」→「30秒」に戻る
CM バック (早戻し)	「5秒」→「15秒」→「30秒」 →「1分」→「2分」→「3分」 →「0秒」→「5秒」に戻る

プレイリスト/オリジナルリストから再生する

DVD-VRでは、ディスクに記録されたプレイリストまたはオリジナルリストからタイトルを選んで再生することができます。

1 リストにタッチする



2 モード切換にタッチしてプレイリスト/オリジナルリストを切り換える



3 見たいタイトルにタッチする



選んだタイトルが再生されます。

メモ

- プレイリストが無い場合は、操作できません。
- DVD-VRのリスト画面と操作タッチキーは約30秒で消えます。

AVソースプレートに表示される情報の切り換え

AVソースプレート(→P27)に表示される情報を切り換えることができます。

1 情報表示にタッチする



タッチするごとに、AVソースプレートに表示される情報が以下のように切り換わります。

ディスク情報 → 再生範囲 → ディスク情報に戻る

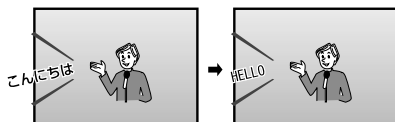
音声言語の切り換え

音声が複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます(マルチ音声)。

1 音声切換 にタッチする



タッチすることにより、音声言語が以下のように切り換わります。



メモ

- DTS 音声は再生できません。
- [Dolby D]や[5.1ch]などの表示は、DVDに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

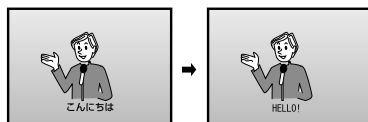
字幕言語の切り換え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます(マルチ字幕)。

1 字幕切換 にタッチする



タッチすることにより、字幕言語が以下のように切り換わります。



コマ送り／スロー再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら進めて見たり(コマ送り再生)、再生スピードを遅くして見る(スロー再生)ことができます。

コマ送り再生する

1 10キーにタッチする



タッチすることにより、映像が1コマずつ送られます。

スロー再生する

1 10キーに長くタッチする



送り方向にスロー再生されます。
スロー再生中に10キーにタッチすると、タッチすることによりスロー再生の速度を以下の順に切り換えます。

1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2

メモ

- 通常再生に戻すには、10キーにタッチします。
- 戻り方向へのコマ送り再生／スロー再生はできません。
- コマ送り再生／スロー再生時は、ディスクによって映像が乱れる場合があります。
- ディスクや再生位置によって、禁止マークが表示され、操作できない場合があります。

見たい場面を探す (ダイレクトサーチ)

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 10キーサーチにタッチする



2 指定する方法(サーチの種類)にタッチする



TITLE	タイトル番号を入力します。
CHAPTER	チャプター番号を入力します。
TIME	時間を分→秒の順に続けて入力します。

3 10キーを使って数字を入力し、決定にタッチする



指定した場面から再生を始めます。

メモ

- 入力を間違えた場合は、削除にタッチし、はじめから入力し直してください。

リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生します。

1 設定 - リピート にタッチする



タッチするごとに、リピートの範囲が次のように切り換わります。

DISC → **CHAPTER** → **TITLE** → **DISC** に戻る

DISC	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
CHAPTER	再生中のチャプターを繰り返します。
TITLE	再生中のタイトルを繰り返します。

メモ

- ディスクまたは再生位置によっては、⊘(禁止マーク)が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作(CHAPTERリピート中のチャプターの切り換えなど)を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

音声出力の切り換え

音声ガリニアPCMのディスクの場合、収録された左右のチャンネルのうち、どちらをスピーカーから出力するかを切り換えます。

1 設定 - L/R切換 にタッチする



タッチするごとに、音声出力のチャンネルが以下のように切り換わります。

L + R → **L** → **R** → **Mix** → **L + R** に戻る

L + R	左右両方の音声を出力します。
L	左の音声を出力します。
R	右の音声を出力します。
Mix	左右の音声をミックスして出力します。

選んだ側の音声を出力します。

DivX を見る

DivXの操作のしかたを説明します。

！ 注意

- パーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため、走行中はモニターに映像が表示されません。

基本操作

- 1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)
- 2 画面にタッチして操作タッチキーを表示し、操作する

▼ DivX操作タッチキー 1



	フォルダーのアップ/ダウンを行います。
	ファイルのダウン/アップを行います。
	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
メディア	異なるデータ形式が混在したディスクを挿入した場合にのみ表示され、再生するデータ形式を切り換えます。(→P129)
	再生を停止します。
情報表示	AVソースプレートに表示される情報を切り換えます。(→P127)
次ページ	DivX操作タッチキー2に切り換えます。

DivX操作タッチキー 2



音声切換	再生中に音声を切り換えます(マルチ音声)。(→P128)
字幕切換	再生中に字幕を切り換えます(マルチ字幕)。(→P128)
	フォルダーのアップ/ダウンを行います。
	コマ送り再生/スロー再生を行います。(→P127)
	早戻し/早送りを行います。約5秒以上タッチし続けると、指を離しても早戻し/早送りのままになります。もう一度タッチすると、通常の再生に戻ります。
10キーサーチ	フォルダー番号、ファイル番号、再生経過時間を数字で指定して探し、再生します。(→P126)
情報表示	AVソースプレートに表示される情報を切り換えます。(→P127)
次ページ	DivX操作タッチキー1に切り換えます。

つづく→

◎（ロータリーボリューム&セレクター）で操作する場合：

左右に倒す	ファイルのダウン/アップを行います。
左右に長く倒す	早戻し/早送りをを行います。
約5秒以上左右に倒し続ける	◎（ロータリーボリューム&セレクター）から指を離しても、早戻し/早送りのままになります。もう一度左右どちらかに倒すと、通常の再生に戻ります。
上下に倒す	フォルダーのアップ/ダウンを行います。

メモ

- 何も操作をしないと、操作タッチキーは約30秒で消えます。もう一度操作タッチキーを表示したいときは、画面にタッチします。
- **ビュー** にタッチして、操作タッチキーを消すこともできます。
- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P208)を参照してください。
- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P26)
- DVDの録音レベルは他のAVソースより低いため、他のAVソースからDVDに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでは、AVソースごとの音量の違いをそろえることができます。(→P189)
- 再生したディスクや再生位置によって、⓪（禁止マーク）が表示され、操作できない場合があります。

見たい場面を探す (ダイレクトサーチ)

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 10キーサーチにタッチする



2 指定する方法(サーチの種類)にタッチする



FOLDER	フォルダー番号を入力します。
TIME	時間を分→秒の順に続けて入力します。
FILE	ファイル番号を入力します。

3 10キーを使って数字を入力し、**決定**にタッチする



指定した場面から再生を始めます。

メモ

- 入力を間違えた場合は**削除**にタッチし、はじめから入力し直してください。

AVソースプレートに表示される情報の切り換え

AVソースプレート(→P27)に表示される情報を切り換えることができます。

1 情報表示 にタッチする



タッチするごとに、AVソースプレートに表示される情報が以下のように切り換わります。

音声、字幕、再生範囲 → フォルダー名 → ファイル名 → 音声、字幕、再生範囲に戻る

コマ送り／スロー再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら進めて見たり(コマ送り再生)、再生スピードを遅くして見る(スロー再生)ことができます。

コマ送り再生する

1 1コマ送り再生にタッチする



タッチするごとに、映像が1コマずつ送られます。

スロー再生する

1 1コマ送り再生に長くタッチする



送り方向にスロー再生されます。

メモ

- 通常再生に戻すには、1コマ送り再生にタッチします。
- 戻り方向へのコマ送り再生／スロー再生はできません。
- コマ送り再生／スロー再生時は、ディスクによって映像が乱れる場合があります。
- ディスクや再生位置によって、禁止マークが表示され、操作できない場合があります。

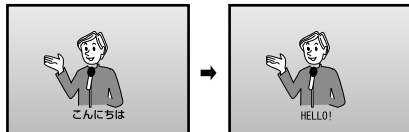
字幕言語の切り換え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます(マルチ字幕)。

1 字幕切換 にタッチする



タッチすることにより、字幕言語が以下のように切り換わります。



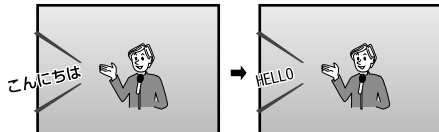
音声言語の切り換え

音声が多言語収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます(マルチ音声)。

1 音声切換 にタッチする



タッチすることにより、音声言語が以下のように切り換わります。



メモ

- DTS 音声は再生できません。
- [Dolby D] や [5.1ch] などの表示は、DVD に収録されている音声の内容を表示していません。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

レンタルコンテンツのファイルを再生した場合

レンタルコンテンツのファイルを再生する場合は、以下の画面が表示されます。



再生	再生します。
停止	ディスクを停止します。
前へ	前のファイルを表示します。
次へ	次のファイルを表示します。

再生メディアの切り換え

音楽データ(CD)とWMA/MP3/AACデータ(ROM)とDivXのデータ、またはいずれかのデータの組み合わせで混在しているディスクの場合に再生するデータ形式を切り換えることができます。

1 メディアにタッチする



再生するデータ形式が切り換わります。切り換わる優先順序は、CD → ROM → DivX の順になります。

リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生します。

1 設定 - リピートにタッチする



▼
タッチすることにより、リピートの範囲が次のように切り換わります。

DISC → FILE → FOLDER → DISC に戻る

DISC	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
FILE	再生中のファイルを繰り返します。
FOLDER	再生中のフォルダーを繰り返します。

メモ

- ディスクまたは再生位置によっては、⊘(禁止マーク)が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作 (FILE リピート中のファイルの切り換えなど) を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

DVD機能設定のしかた

DVDの再生条件を、あらかじめ使用する環境に合わせて設定しておきます。

基本操作

1 設定にタッチする



2 DVD設定にタッチする

(例：DVDビデオ)



DVD機能設定メニューが表示されます。



DVD機能設定は、DVDビデオ、DVD-VR、DivXでそれぞれ設定できる項目が異なります。

DVDビデオで設定可能な項目

言語設定	字幕、音声、メニューの基本言語を設定することができます。(→P132)
アシスト字幕	アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。(→P132)
マルチアングル	マルチアングルの場面を再生しているときに表示される、アングル選択マークの表示 / 非表示を設定することができます。(→P133)
テレビアスペクト	接続したテレビのアスペクト(画面の縦横比)を設定します。(→P133)
視聴制限	視聴制限レベルを設定できます。(→P134)
オートプレイ	DVDを挿入したときに、メニューのタイトル順に自動的に再生を開始するかどうかを設定します。(→P135)

DVD-VRで設定可能な項目

アシスト字幕	アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。(→P132)
テレビアスペクト	接続したテレビのアスペクト(画面の縦横比)を設定します。(→P133)

DivXで設定可能な項目

DivX VODコード	本機の登録コード(Registration Code)を確認できます。(→P135)
字幕切換	字幕の表示 / 非表示を設定することができます。(→P136)

言語設定

DVD-V DVD-VR DivX

工場出荷時はすべて「日本語」です。

1 言語設定 にタッチする



2 それぞれの言語を設定する



基本字幕言語 優先して表示させたい字幕の言語を設定できます。(マルチ言語字幕)

基本音声言語 優先して聞きたい音声の言語を設定できます。(マルチ音声)

メニュー言語 ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語について、優先して表示させたい言語を設定できます。

それぞれ、**日本語**、**英語**、**フランス語**、**ドイツ語**、**イタリア語**、**オランダ語**、**スペイン語**、**スウェーデン語**、**デンマーク語**、**その他言語** から選んでタッチします。

メモ

- **その他言語** にタッチしたときは、「言語コード表」(→P137)より、4桁の言語コードを数字で入力し、**決定** にタッチします。
- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が選ばれます。
- ディスクによっては設定した言語が優先されない場合があります。

アシスト字幕

DVD-V DVD-VR DivX

アシスト字幕は、ディスクに収録されている場合のみ表示することができます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 アシスト字幕 にタッチする



タッチするごとに、アシスト字幕のON/OFFが切り換わります。

ON	アシスト字幕を表示します。
OFF	アシスト字幕を表示しません。

マルチアングル

DVD-V DVD-VR DivX

工場出荷時は「ON」です。

1 マルチアングルにタッチする



タッチすることにより、マルチアングルの ON/OFF が切り換わります。

ON	アングルマークを表示します。
OFF	アングルマークを表示しません。

メモ

- この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像（マルチアングル）が収録されているディスクに対して有効です。

テレビアスペクト

DVD-V DVD-VR DivX

工場出荷時は「16：09」です。

1 テレビアスペクトにタッチする



タッチすることにより、アスペクト比が以下のように切り換わります。

16：09 → LETTER BOX → PANSCAN
→ 16：09に戻る

16：09	ワイドモニター（16：9）使用時に選びます。16：9で収録された画像が16：9で表示されます。
LETTER BOX （レターボックス）	ノーマルモニター（4：3）使用時に選びます。16：9で収録された画像の横幅を4：3モニターの横幅に合わせて16：9の比率で表示します。
PANSCAN （パンスキャン）	ノーマルモニター（4：3）使用時に選びます。16：9で収録された画像の縦幅を4：3モニターの縦幅に合わせて16：9の比率で表示します（左右にはみ出た映像は表示されません）。

メモ

- 通常は16：9に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせた場合のみ設定を変えてください。
- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、パンスキャンに設定してもレターボックスで再生されます。ディスクのパッケージなどで「16:9 PS」マークを確認してください。
- ディスクによっては、アスペクト比の変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

視聴制限

DVD-V DVD-VR DivX

視聴制限レベルが設定されているディスクでは、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面にパスワードを設定して視聴制限をかけることができます(パレンタルロック)。

工場出荷時は「8」です。

1 視聴制限 にタッチする



2 現在の設定値(例: 8)にタッチする



3 10キーを使って希望の暗証番号を入力し、決定 にタッチする



メモ

- 入力を間違った場合は **削除** にタッチし、はじめから入力し直してください。
- 視聴制限されたディスクを再生するときや制限レベルを変更するときは、登録した暗証番号の入力が必要になります。暗証番号は忘れないようご注意ください。
- 暗証番号を忘れたときは、手順 **3** の画面で **削除** に10回連続でタッチすると、暗証番号が解除されます。

4 設定したい視聴制限レベルにタッチする



8	ディスクをすべて再生します。
7 ~ 2	成人向けディスクの再生を禁止します(子供向けや一般向けディスクを再生します)。
1	子供向けのディスクのみ再生します。

DivX VODコード

DVD-V DVD-VR DivX

DivX VODとは、「DivX Video On Demand (ビデオオンデマンド)」の略です。

DivX VOD ファイルを再生する場合、そのDivX VODファイルの配信先に対して、本機の登録コード(Registration Code)が必要な場合があります。

1 DivX VODコードにタッチする



本機の登録コードが表示されます。



メモ

- DivX VOD ファイルは、DRM コピープロテクションがかかっています。DivX VOD ファイルは登録されたプレーヤーでのみ再生ができます。
- 本機の登録コードが承認されていないDivXVODファイルを再生すると、警告メッセージが表示され、再生できません。
- DivX VOD ファイルには、視聴回数が設定されているものがあります。そのようなDivXVODファイルを本機で再生すると残りの視聴可能回数が表示されます。残りの視聴可能回数が0になったファイルを本機に挿入すると警告メッセージが表示され、再生できません。
- 視聴回数の設定されていないDivX VOD ファイルは、何度でも再生できます。

オートプレイ

DVD-V DVD-VR DivX

工場出荷時は「OFF」です。

1 オートプレイにタッチする



タッチすることにより、オートプレイのON/OFFが切り換わります。

ON	自動再生します。
OFF	自動再生しません。

メモ

- オートプレイの設定をONにしても、ご使用されるディスクにより期待通りの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイをOFFにして再生してください。
- オートプレイの設定がONのときはリピート再生は機能しません。

字幕切換

DVD-V DVD-VR DivX

DivX再生時に、DivXファイルに収録された字幕を表示するか、DivXファイルとは別に作成された字幕ファイルの情報を表示するかを設定します。

工場出荷時は「ORIGINAL」です。

1 字幕切換 にタッチする



タッチするごとに字幕 ORIGINAL / CUSTOMIZE が切り換わります。

ORIGINAL	DivX に収録された字幕を表示します。
CUSTOMIZE	DivX ファイルとは別に作成された字幕ファイルの字幕を表示します。

言語コード表

言語名 (言語コード)	入カコード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アブハジア語 (ab)	0102
アフリカーンス語 (af)	0106
アムハラ語 (am)	0113
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アイマラ語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハーリー語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
カタロニア語 (ca)	0301
コルシカ語 (co)	0315
チェコ語 (cs)	0319
ウェルズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
ブータン語 (dz)	0426
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ペルシア語 (fa)	0601
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fj)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガルシア語 (gl)	0712

言語名 (言語コード)	入カコード
グアラニ語 (gn)	0714
グジャラート語 (gu)	0721
ハウサ語 (ha)	0801
ヒンディー語 (hi)	0809
クロアチア語 (hr)	0818
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
国際語 (ia)	0901
interlingue (ie)	0905
イヌピアック語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
アイスランド語 (is)	0919
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ji)	1009
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
カンボジア語 (km)	1113
カンナダ語 (kn)	1114
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
リンガラ語 (ln)	1214
ラオス語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラヤーラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラータ語 (mr)	1318
マライ語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ネパール語 (ne)	1405
ノルウェー語 (no)	1415
プロバンス語 (oc)	1503
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
パンジャブ語 (pa)	1601
ポーランド語 (pl)	1612

言語名 (言語コード)	入カコード
アフガニスタン語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721
レートロマン語 (rm)	1813
キルンディ語 (rn)	1814
ローマ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
シンド語 (sd)	1904
サント語 (sg)	1907
セルボクロアチア語 (sh)	1908
セイロン語 (si)	1909
スロバック語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
サモア語 (sm)	1913
ショナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
セストゥ語 (st)	1920
スンダ語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジル語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
チグリス語 (ti)	2009
ツルキ語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
セツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タター語 (tt)	2020
トウイ語 (tw)	2023
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ベトナム語 (vi)	2209
ボラビュク語 (vo)	2215
ウォルフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
ユルバ語 (yo)	2515
ズールー語 (zu)	2621

iPodを使う

iPodを聴く／見る

本機に接続したiPod（別売）を操作することができます。

！ 注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

メモ

- 本機にiPodを接続したときは、**AV設定** - **その他設定** - **AV1入力** (→P191)を行ってください。
- 本機にiPodを接続するには、別売のiPod用接続ケーブル「CD-IUV30」が必要です。
- ビデオ機能に関しては、ビデオに対応したiPodが必要です。
- ビデオ機能を正しく利用するために、iPod接続後は製品とiPodの間で認証を行います。認証に失敗すると、ビデオ対応iPodでもビデオ機能を利用できなくなります。（このとき、認証失敗を示すメッセージが表示されます。）また、ビデオ機能に対応していないiPodを接続した場合でも認証を行います。
- iPod利用中にiPodがSTOP状態となることがあります（映像再生中にiPodを一度外して再度接続した場合など）。STOP状態になってもiPodの機能を再び利用することは可能ですが、動作の一部に制限があります。
- 絞り込み操作(→P142)中、リストに表示される内容と再生される曲は異なることがあります。
- 絞り込み操作(→P142)中、動作が不安定となることがあります。
- ご使用前に、お持ちのiPodソフトを最新バージョンにしてください。
- 対応iPodについては、カロッツェリアホームページ(<http://carrozzeria.jp>)をご覧ください。

基本操作

1 を押し、**AV - iPod**にタッチする



iPodミュージックの操作タッチキー



カテゴリ	iPod ミュージックの、それぞれのカテゴリの絞り込みリストを表示します。
プレイリスト / ジャンル / アーティスト / アルバム / ポッドキャスト	
←ビデオ	iPod ビデオの操作タッチキーに切り換えます。
MENU	iPod ミュージックのトップメニューを表示します。(→P142)
◀▶	トラックまたはチャプターのダウン／アップを行います。
◀▶ (長くタッチする)	早戻し／早送りを行います。
▶ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
⊞	iPod ミュージックの曲の再生順をランダムにして再生します。

iPodビデオの操作タッチキー



MENU	現在再生中のファイルと同じカテゴリのリストを表示します。
◀▶	トラックまたはチャプターのダウン／アップを行います。
⏮ / ⏭ (長くタッチする)	早戻し／早送りを行います。
⏮ / ⏭ (約5秒以上タッチし続ける)	iPodビデオ再生時は、タッチキーから指を離しても早戻し／早送りのままになります。もう一度タッチすると、通常の再生に戻ります。
⏸	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
→ミュージック	iPodミュージックの操作タッチキーに切り換えます。
ビデオトップ	iPodビデオのトップメニューを表示します。

メモ

- iPodビデオの操作タッチキーは、画面にタッチすると表示されます。表示後は、**ビュー**にタッチすると消すことができます。
- iPodビデオの操作タッチキーは、何も操作しないと約30秒で消えます。もう一度操作タッチキーを表示したいときは、画面にタッチします。

○(ロータリーボリューム&セレクター)で操作する場合：

左右に倒す	トラックまたはチャプターのダウン／アップを行います。
左右に長く倒す	早戻し／早送りを行います。
約5秒以上左右に倒し続ける (ビデオ再生時)	○(ロータリーボリューム&セレクター)から指を離しても、早戻し／早送りのままになります。もう一度左右どちらかに倒すと、通常の再生に戻ります。

カバーアートについて

iPodミュージックでは、カバーアートがある曲を再生した場合、カバーアートにタッチするごとに、表示方法を切り換えることができます。

カバーアート



iPod ミュージックのリストから聴きたい曲を探す

1 カテゴリ(アルバム など)にタッチする



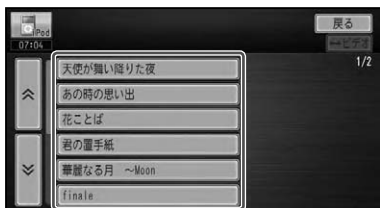
2 曲を絞り込む



メモ

- リスト項目に2秒以上タッチすると、選んだリスト項目の1曲目から再生します。

3 聴きたい曲にタッチする



メモ

- **MENU** にタッチすると、iPod ミュージックのトップメニューを表示します。トップメニューからカテゴリを選んで聴きたい曲を絞り込んでいくこともできます。この操作の場合、カテゴリとして **オーディオブック**、**作曲者**、**曲** も選択することができます。

iPod ビデオのリストから見たい映像を探す

1 ビデオトップにタッチする



2 映像を絞り込む



メモ

- それぞれのカテゴリで絞り込むことができます。

3 見たい映像にタッチする



メモ

- 映像の表示方法をワイドスクリーンで行うことができます。(→P144)
- **MENU** にタッチすると、現在再生中のファイルと同じカテゴリのファイルリストを表示して、見たい映像を選ぶことができます。

リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 設定 - リピート にタッチする



タッチするごとに、リピートの範囲が以下のように切り換わります。

ALL ↔ ONE

ALL	通常の再生状態です。iPod 内のすべての曲を繰り返します。
ONE	再生中の (トラック) 曲を繰り返します。

シャッフル再生

再生順を変えて再生することができます。

1 設定 - シャッフル にタッチする



タッチするごとに、シャッフルの範囲が以下のように切り換わります。

OFF → SONGS → ALBUMS → OFF
に戻る

メモ

- シャッフル設定を有効にしていると、ビデオ機能が正しく動作しないことがあります。

オーディオブック

朗読や講演、録音図書などの音声データの再生速度を変更することができます。

1 設定 - オーディオブックにタッチする



タッチすることにより、再生速度が以下のように切り換わります。

NORMAL → FASTER → SLOWER → NORMAL に戻る

ワイドスクリーン

iPodビデオ再生時に、ワイドスクリーンで表示するかどうかを設定します。

1 設定 - ワイドスクリーンにタッチする



タッチすることにより、OFF / ON が切り換わります。

SD・USBを使う

SDメモリーカード/USBメモリー内のデータを聴く/見る

SDメモリーカードやUSBメモリーに保存された音楽データまたは映像データを再生します。本書では、SDメモリーカードを例に説明していますが、操作方はUSBメモリーも同様となります。

！ 注意

・SDメモリーカード/USBメモリーを本機から取り外す場合は、必ずAVソースをOFF(→P26)にしてから行ってください。AVソースをOFFにせず取り外すと、SDメモリーカード/USBメモリー内のデータが破損する場合があります。

基本操作

1 を押し、**AV - SD** または **USB** にタッチする

メモ

- ・本機の電源がONのとき、再生可能なデータを記録したSDメモリーカードを挿入したりUSBメモリーを接続すると、自動的にAVソースが「SD」または「USB」に切り換わり、再生が開始されます。
- ・本機で再生可能なファイル形式については「本機で再生可能なメディアとファイルの種類」(→P30)をご覧ください。

(例：SDミュージック)



	フォルダのアップ/ダウンを行います。
	トラックのダウン/アップを行います。
	早戻し/早送りを行います。
	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
	1つ上のフォルダの内容を表示します。
	再生中の曲の詳細情報を表示します。(→P147)

ビデオ

SDメモリーカード/USBメモリー内に映像データが保存されている場合に、再生データをミュージックからビデオに切り換えます。

メモ

- ・ID 3タグからタイトル情報が表示できた場合は、タイトルやアーティスト名が表示されます。
- ・ はリスト画面(→P28)のときだけ表示されます。また、ルートフォルダ表示中は操作できません。

(例：SDビデオ)



	フォルダのアップ/ダウンを行います。
	トラックのダウン/アップを行います。
	早戻し/早送りを行います。
	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
	再生を停止します。
10キーサーチ	見たい場面を数字で指定して再生することができます。(→P148)
	SDメモリーカード/USBメモリー内に音楽データが保存されている場合に、再生データをビデオからミュージックに切り換えます。

メモ

- SD / USBビデオの操作タッチキーは、画面にタッチすると表示されます。表示後は、**ビュー**にタッチすると消すことができます。
- SD / USBビデオの操作タッチキーは、何も操作しないと約30秒で消えます。もう一度操作タッチキーを表示したいときは、画面にタッチします。
- SDメモリーカード / USBメモリー内の映像ファイル再生中に、AVソース画面からナビゲーション画面に切り換えると、映像と音声は一時停止状態となります。地図画面を表示しながらSDメモリーカード / USBメモリー内の映像ファイルの音声だけを楽しむということはできませんが、これは本機の仕様であり、故障ではありません。

○ (ロータリーボリューム&セレクター)で操作する場合：


左右に倒す	トラックのダウン / アップを行います。
左右に長く倒す	早戻し / 早送りを行います。
上下に倒す	フォルダーのアップ / ダウンを行います。

メモ

- SDメモリーカード、USBメモリーを再生中に、ロータリーボリューム&セレクターで音量調整を行うと、ナビゲーションの案内音声と操作音も同時に変化しますが、これは本機の仕様で、故障ではありません。

詳細情報を表示する

SD / USB ミュージックでは、現在再生中の曲の詳細情報を見ることができます。

1  にタッチする

メモ

- WMA タグ、ID3 タグ、AAC タグから情報を取得できた場合に、それぞれ現在再生中の曲の詳細情報 (トラック名、フォルダー名、ファイル名、アーティスト名) が表示されます。

見たい場面を探す (ダイレクトサーチ)

SD / USBビデオでは、見たいファイル番号やフォルダー番号、再生経過時間を入力して指定することができます。

1 10キーサーチにタッチする



2 指定する方法(サーチの種類)にタッチする



FOLDER	フォルダー番号を入力します。
FILE	ファイル番号を入力します。
TIME	時間を分・秒5桁で入力します。

3 見たい場面の番号を入力し、**決定**にタッチする



指定した場面から再生を開始します。

メモ

- 入力を間違えた場合は**削除**にタッチし、はじめから入力し直してください。

リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 設定 - リピートにタッチする



タッチすることにより、リピートの範囲が以下のように切り換わります。

SD / USB ミュージックの場合：

MEDIA → TRACK → FOLDER →
MEDIAに戻る

SD / USB ビデオの場合：

MEDIA → FILE → FOLDER → MEDIA
に戻る

MEDIA	通常の再生状態です。再生中のSDまたはUSBを繰り返します。
TRACK	再生中のトラック(曲)を繰り返します。
FILE	再生中のファイル(映像)を繰り返します。
FOLDER	再生中のフォルダーを繰り返します。

メモ

- リピート再生中に、リピート範囲を超える操作(TRACKリピート中の選曲操作など)を行うと、リピート範囲が変更される場合があります。

ランダム再生

SD / USBミュージックでは、選んだリピートの範囲で、曲順を変えて再生することができます。

1 設定 - ランダムにタッチする



▼
タッチするごとに、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- リピートの範囲をTRACKに指定している場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲は自動的にFOLDERに切り換わります。
- ランダム再生中に、リピート再生やスキャン再生、リピートの範囲を超える操作（フォルダーの切り換えなど）を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

スキャン再生

SD / USBミュージックでは、選んだリピートの範囲で、SDメモリーカード/USBメモリー内の各曲の演奏開始部分を約10秒間ずつ聞くことができます。

1 設定 - スキャンにタッチする



2 聴きたい曲が再生されたら、もう一度スキャンにタッチする

メモ

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- リピートの範囲をTRACKに指定している場合、スキャン再生をONにすると、リピートの範囲は自動的にFOLDERに切り換わります。
- スキャン再生中にリピート再生やランダム再生、リピートの範囲を超える操作（フォルダーの切り換えなど）を行うと、スキャン再生が中止される場合があります。

推奨コーデック

	ファイル形式	AVI	MP4
映像	コーデック	MPEG4	MPEG4
	ビットレート	240 kbps	240 kbps
	フレームレート	24 fps	24 fps
音声	コーデック	MP3	AAC
	サンプリング	44.1 kHz	44.1 kHz
	ビットレート	128 kbps	128 kbps

※上記レート以上のものも再生することはできますが、コマ落ち等が発生することがあります。

AVIおよびMP4ファイルを画面フルに映す場合の映像サイズ

元画像	映像サイズ	AVIC-MRZ80/MRZ088の設定(→P192)
4:3の場合	640*480	ワイドモード設定: FULL
ワイドの場合	800*480	ワイドモード設定: NORMAL

その他のオーディオ機器を使う

エクスターナルユニットの 操作のしかた	152
ビデオなどを見る	153

エクスターナルユニットの操作のしかた

本機では、地上デジタルTVチューナー以外のIPバス機器は、エクスターナルユニットとして扱われます。本書では、別売のマルチMDプレーヤー「MD-P100II」を接続した場合を例に説明します。

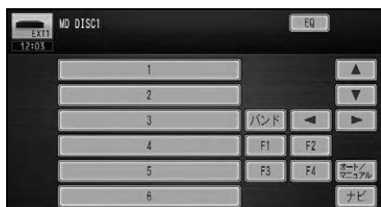
！ 注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため走行中は、モニターに映像が表示されません。

メモ



- エクスターナルユニットは、最大2台まで接続することができます。
- マルチCDプレーヤーはご使用になれません。(→「取付説明書」)
- 本機に映像ソースのエクスターナルユニット(マルチDVDプレーヤー「XDV-P70」など)を接続したときは、**AV設定** - **その他設定** - **AV1入力**(→P191)を行ってください。

1 を押し、**EXT1** または **EXT2** にタッチする



メモ

- 接続した製品によって、操作内容が異なります。詳しくは、接続した製品の取扱説明書をご覧ください。
- 本機に映像ソースのエクスターナルユニットを接続した場合は、映像画面に切り換わりません。操作タッチキーを表示させたい場合は画面にタッチしてください。

	ディスク操作を行います。
	トラック操作を行います。
バンド	ディスクアップします。
F1	表示切り換え / タイトルスクロールを行います。
F2	ランダム再生を行います。
F3	スキャン再生を行います。
F4	リピート再生を行います。
オート/マニュアル	選曲モードを切り換えます。

○ (ロータリーボリューム&セレクター)で操作する場合：

左右に倒す	トラック操作を行います。
上下に倒す	ディスク操作を行います。

ビデオなどを見る

本機に接続したビデオなどの映像を表示したい場合は、次のような操作をしてください。

！ 注意

- ・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため走行中は、モニターに映像が表示されません。

メモ

- ・あらかじめ **AV設定** - **その他設定** - **AV1入力**、**AV2入力** (→P191)を行ってください。
- ・本機前面のAV入力端子(→『スタートブック』)を使って外部映像機器を接続する場合は、別売のAV入力用変換ケーブル「CD-VRM200」が必要です。詳しくは、弊社ホームページやカタログをご覧ください。
- ・本機前面のAV入力端子には、市販の3.5mmステレオミニプラグを使って、外部オーディオ機器を接続することもできます。その場合、本機には黒い画面が表示され、音声のみが出力されます。
- ・ビデオ機器からの入力信号が大きいと、音が歪む場合があります。この場合、接続した機器側で音量を調整してください。
- ・接続した機器により、映像が正常に表示されない場合があります。

1 を押し、**AV1** または **AV2** にタッチする



携帯電話を使う

携帯電話を使う

本機と携帯電話をBluetooth接続すると、本機の電話機能を使うことができます。携帯電話をお使いになるときは、必ず「通信機器使用上のご注意」(→P173)をよくお読みいただき、あらかじめ通信接続設定(→P173)を行ってください。

！ 注意

- 安全運転のため、運転中のハンズフリー通話はできるだけ避けてください。やむを得ず走行中に通話をする場合は、周りの安全を十分に確認して通話を手短かに終了するようにしてください。

メモ

- 本機は、割込通話および三者通話サービスには対応していませんので、携帯電話側で操作してください。なお、割込通話や三者通話サービスのご利用中に本機を操作すると、通話が切れることがあります。

ハンズフリー通話でエコー（残響音）が気になるときは

エコーは相手の声スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。スピーカーからの声マイクに入らないようにすることでエコーを軽減できます。また、電話回線状況、使用する携帯電話、通話相手の環境によりエコーが発生する場合があります。

以下のような方法でエコーを軽減できる場合があります。

- 受話音量を小さくする
- お互いに一呼吸おいて話す

ただし、ナビ本体内部のエコーキャンセラーのしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で話すとさらに聞き取りにくくなります。

ハンズフリー通話をする

本機に接続された携帯電話で、ハンズフリー通話を行うことができます。

メモ

- ハンズフリー通話時は、本機のマイク(→「取付説明書」)に向かってお話しください。

携帯電話の着信時やハンズフリー通話を行う場合は、専用画面が表示され、地図画面やAVソース画面は表示されません。

着信中画面



	電話を受けます。
	着信を拒否します。
	着信音量を調整します。

通話中画面



	電話を切ります。
	通話音量を調整します。
(ミュート)	通話音を一時的に消します。
キー入力	留守番電話再生時に案内される番号の選択を行う場合に使用します。
ハンズフリーOFF / ハンズフリーON	ハンズフリー機能を ON/OFF します。携帯電話機で通話したときは、OFF にします。

発信中画面



	発信音量を調整します。
	発信を中止します。

メモ

- 電話を着信すると本機の固定の着信音が鳴り、着信を知らせます。(接続された携帯電話によっては、携帯電話に設定された着信音が鳴る場合があります。)
- ハンズフリー通話中は、通話時間も表示されます。
- メモリダイヤル(→P158)に登録されている電話番号と一致すると、メモリダイヤルで登録された名称が表示されます。該当するデータが本機に登録されていない場合は、かけてきた相手の電話番号が表示されます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によっては、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されません。
- データ通信とハンズフリー通話が同時に使用できる機種に関して、データ通信中に携帯電話がかかってきた場合には携帯電話側で着信音が鳴り、本機では操作できませんのでご注意ください。
- 携帯電話のボタンを押して電話に出たり切ったりすることもできません。
- ハンズフリー機能を OFF にすると、本機と携帯電話とのリンクが切断される場合があります。

電話のかけかた

電話をハンズフリーでかけるときは、携帯電話メニューを表示して操作します。

メモ

- 携帯電話メニューを使わずに、直接携帯電話本体を操作して電話をかけ、ハンズフリー通話を行うこともできます。直接携帯電話を操作される場合は、安全な場所に停車してから行ってください。
- 携帯電話の機種によっては待受け状態以外での発信が出来ない機種があります。携帯電話の取扱説明書をご確認ください。

1 を押し、**携帯電話** にタッチする

携帯電話メニューが表示されます。



メモリダイヤル呼び出し	メモリダイヤル呼び出しのリストから電話をかけます。(→P158)
発信履歴・着信履歴	発信履歴 または 着信履歴 のタブにタッチして、リストや詳細画面から電話をかけます。(→P159)
ダイヤル発信	本機の専用画面で電話番号を入力して電話をかけます。(→P159)
メモリダイヤル読み込み	携帯電話に登録されているメモリダイヤルを本機に読み込みます。(→P160)

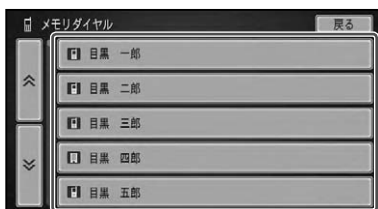
電話をかけると、専用画面が表示され、地図画面やAVソース画面は表示されません。

メモリダイヤルを呼び出して電話をかける

携帯電話から本機に読み込んだメモリダイヤルを呼び出し、電話をかけます。あらかじめメモリダイヤルの読み込み(→P160)を行ってください。

1 **メモリダイヤル呼び出し** にタッチする

2 項目にタッチする



3 **発信** にタッチする



1件消去	選んだ項目をリストから消去します。(→P162)
全件消去	読み込んだメモリダイヤル全件を消去します。(→P162)


相手先に電話が発信されます。

メモ

- メモリダイヤルは、登録された携帯電話ごとに保存されます。携帯電話の接続を切り換える(→P176)と、表示されるメモリダイヤルの内容も切り換わります。

電話番号を入力して電話をかける

相手先の電話番号を入力して電話をかけます。

- 1 **ダイヤル発信**にタッチする
- 2 電話番号を入力し、にタッチする



▼
相手先に電話が発信されます。

メモ

- ・文字入力の方法は、「文字の入力操作」(→P200)をご覧ください。

発着信の履歴から相手を選んで電話をかける


発信履歴、着信履歴から相手を選んで電話をかけます。

- 1 **発信履歴・着信履歴**にタッチする
- 2 **発信履歴**または**着信履歴**のタブにタッチする



- 3 項目にタッチし、**発信**にタッチする



詳細情報	選んだ項目の詳細情報を表示します。発信履歴・着信履歴の詳細情報画面には、発着信日時、電話番号、名称（メモリダイヤルに登録されている場合）が表示され、  にタッチして電話をかけることができます。
1件消去	選んだ項目をリストから消去します。(→P162)
全件消去	発信履歴または着信履歴の全件を消去します。(→P162)

▼
相手先に電話が発信されます。

つづく→

メモ

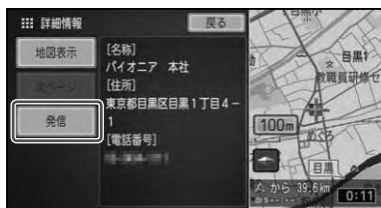
- 発信信の履歴はそれぞれ30件まで自動的に保存され、30件を超えると、日付の古い履歴から順に消去されます。
- 携帯電話側での操作による発信履歴は保存されません。
- 発信履歴・着信履歴は、登録された携帯電話ごとに保存されます。携帯電話の接続を切り換える(→P176)と、表示される発信履歴・着信履歴の内容も切り換わります。
- 非通知の相手は、着信履歴として保存されません。また、相手が番号を通知している場合でも、携帯電話と本機とのデータのやり取りの中で相手の電話番号を認識できず非通知となる場合があります。
- 履歴は任意に消去することができます。→「データを消去する」(P162)

地図に登録された電話番号に電話をかける場合

検索した施設情報に収録されている電話番号や登録した場所に登録されている電話番号に電話をかけることができます。

1 詳細情報(→P39)を表示する

2 発信 にタッチする



相手先に電話が発信されます。

メモリアルダイヤルを読み込む

携帯電話から最大1 000 件のデータを本機に読み込むことができます。

携帯電話のメモリアルダイヤルを本機に読み込むことで、メモリアルダイヤル呼び出し(→P158)を行うことができます。

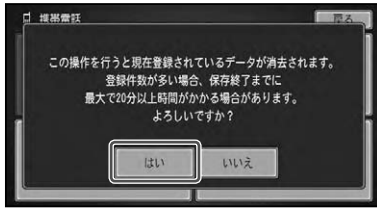
メモ

- メモリアルダイヤルは、本機に登録された携帯電話ごとに保存されます。接続する携帯電話を切り換える(→P176)と、表示されるメモリアルダイヤルの内容も切り換わります。
- 一度本機に読み込んだ電話帳データは、本機のメモリアルリストから消去(→P162)しても本機に記憶されています。例えば、使わなくなった電話帳データを本機と携帯電話それぞれから消去しても、再度同じ携帯電話からメモリアルダイヤル読み込みを行うと、消去した電話帳データが本機のメモリアルリストに再表示されます。メモリアルリストを最新の状態にするには、登録・接続済みの携帯電話をいったん消去(→P176)し、もう一度携帯電話の登録操作(→P174)を行ったうえでメモリアルダイヤルの読み込みを行ってください。
- お使いの携帯電話によっては、メモリアルダイヤルデータ転送に対応していない場合があります。
- 名前、ヨミ、TELのデータを読み込むことができます。(ヨミは並べ替えに使用されるだけで、表示されません。)
- 本機に読み込んだメモリアルダイヤルは、編集できません。
- 1人あたり複数の電話番号を登録できる携帯電話では、電話番号の登録状態や機種によって、全データを読み出せない場合があります。

1 **メニュー** を押し、**携帯電話** - **メモリアルダイヤル読み込み** にタッチする



2 はいにタッチする



- 読み込まれたメモリダイヤルは、「家」「会社」「携帯電話」で自動的に分類され、それぞれのアイコンが表示されます。

家： 会社： 携帯電話：

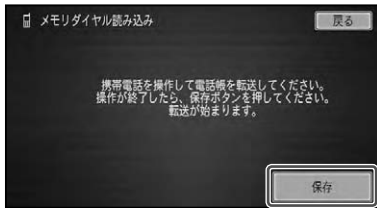
- 機種によっては携帯電話を操作しなくても、自動的にメモリダイヤルが読み込まれる場合があります。

3 携帯電話を操作して、メモリダイヤルデータを転送する

メモ

- 携帯電話のメモリダイヤル転送方法は、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

4 転送が完了したら、保存にタッチする



携帯電話のメモリダイヤルが本機に読み込まれます。

5 確認にタッチする

メモ

- 読み込み中に**中止**にタッチすると読み込みは中止しますが、中止した時点で読み込み済みのデータは保存されます。
- 保存される情報の種類や文字数、メモリ件数は、携帯電話によって異なります。
- お使いの携帯電話によっては、携帯電話のシークレット機能により登録されたメモリダイヤルも読み込まれます。
- 携帯電話の自局番号もメモリダイヤルと同時に読み込まれる場合があります。

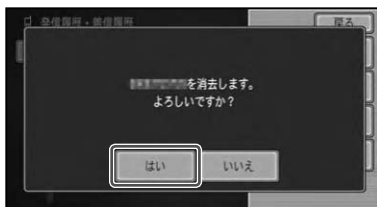
データを消去する

メモリダイヤルや発信履歴のリストから、不要なデータを消去することができます。

メモ

- メモリダイヤルや発信履歴は、本機に登録された携帯電話ごとに保存されます。接続する携帯電話を切り換えると、表示されるメモリダイヤルや発信履歴の内容も切り換わります。あらかじめ、消去したいデータに応じた携帯電話に接続してください。(→P176)
- 一度本機に読み込んだ電話帳データは、本操作によってメモリダイヤルリスト画面上から消去しても本機に記憶されています。メモリダイヤルデータを本機から完全に消去するには、登録・接続済みの携帯電話をいったん消去(→P176)し、もう一度携帯電話の登録操作(→P174)を行ってください。

4 はいにタッチする



選んだデータが消去されます。

メモ

- 全件消去** にタッチした場合は、タッチする前に表示されていたリストの項目が全件消去されます。メモリダイヤルのリストの場合は、メモリダイヤルの全データが消去され、発信履歴や着信履歴のリストの場合は、それぞれの全履歴が消去されます。

1 **メニュー** を押し、**携帯電話** - **メモリダイヤル呼び出し** または **発信履歴**・**着信履歴** にタッチする

2 消去したいデータにタッチする

(例：発信履歴・着信履歴)



3 **1件消去** または **全件消去** にタッチする



バックカメラを使う

バックカメラを使う

本機に別売のバックカメラユニット「ND-BC4」や映像処理対応バックカメラユニット「ND-BC30Ⅱ」などを接続して、車の後方の映像を画面に表示させることができます。

メモ

- あらかじめシステム設定(→P179)でバックカメラの設定を行ってください。
- 本機は、フロントカメラの機能には対応していません。
- 本機に接続可能なバックカメラについて、詳しくは弊社ホームページやカタログをご覧ください。
- ワンセグ視聴中に、AV ソース画面からバックカメラ映像に切り換えると、映像と音声は一時停止状態となります。バックカメラ映像を表示しながらワンセグの音声だけを楽しむということができますが、これは本機の仕様であり、故障ではありません。

！ 注意

- バックカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。バックカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。

バックカメラの切り換えかた

1 シフトレバーをR(リバース)の位置にする

▼
バックカメラの映像が表示されます。



シフトレバーを他の位置に切り換えると、画面表示は元の映像に切り換わります。

メモ

- バックカメラ映像表示中に(Ⓜ)を押すと、バックカメラ映像を解除します。

設定や調整をする

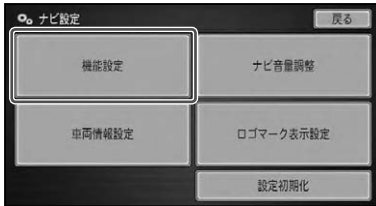
ナビ設定	166
通信接続設定	173
システム設定	179
AV設定	183
設定初期化	193

ナビ設定

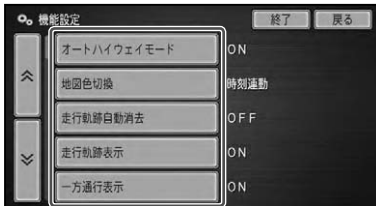
機能設定をする

用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。

- 1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **ナビ設定** - **機能設定** にタッチする



- 2 設定を変更したい項目にタッチする



- 3 設定内容にタッチする



▼
設定内容が変更されます。引き続き設定項目を選んで変更することができます。

- 4 設定を終了する場合は、**終了** にタッチする

機能設定項目一覧

斜体は工場出荷時の設定です。

オートハイウェイモード

- 「ON」 有料道路を走行すると、自動的にハイウェイモードにします。
 「OFF」 有料道路を走行しても、現状の地図表示モードを維持します。

地図色切換

- 「時刻連動」 日没/日出時刻に連動して画面の配色が切り換わります。
 「昼色固定」 常に昼画面のままです。
 「夜色固定」 常に夜画面のままです。

走行軌跡自動消去

- 「自宅付近」 自宅として登録した場所から100m以内の地点で本機の電源を切ると、走行軌跡が自動的に消去されます。
 「電源オフ時」 本機の電源を切ると走行軌跡が自動的に消去されます。
 「OFF」 走行軌跡の自動消去はしません。

走行軌跡表示

- 「ON」 走行軌跡が表示されます。
 「OFF」 走行軌跡は表示されません。

一方通行表示

- 「ON」 50mスケールするとき、一方通行を表示します。
 「OFF」 スケールに関係なく、一方通行を表示しません。

ルート探索基準

- 「推奨」 信号機の数少なく、右左折の量も適度などおりやすいルートが探索されます。
 「距離優先」 距離を優先してルートが探索されます。
 「幹線優先」 幹線道路を優先してルートが探索されます。

有料道路使用条件

- 「標準」 有料道路が標準的な基準でルート探索されます。
 「回避」 有料道路を回避したルートが探索されます。

渋滞考慮ルート探索

- 「ON」 渋滞情報を考慮して探索されます。
 「OFF」 渋滞情報は考慮されません。

渋滞考慮オートリルート

- 「ON」 渋滞情報を考慮してオートリルートします。
 「OFF」 渋滞情報を考慮してのオートリルートはしません。

渋滞考慮オートリルート自動選択^{*1}

- 「元ルート」 元ルートを選択します。
 「新ルート」 新ルートを選択します。

到着予想時刻速度(一般道)

「20km/h」	一般道の平均速度を20km/hとして到着予想時刻が計算されます。
「30km/h」	一般道の平均速度を30km/hとして到着予想時刻が計算されます。
「40km/h」	一般道の平均速度を40km/hとして到着予想時刻が計算されます。
「50km/h」	一般道の平均速度を50km/hとして到着予想時刻が計算されます。
「60km/h」	一般道の平均速度を60km/hとして到着予想時刻が計算されます。

到着予想時刻速度(有料道)

「60km/h」	有料道の平均速度を60km/hとして到着予想時刻が計算されます。
「80km/h」	有料道の平均速度を80km/hとして到着予想時刻が計算されます。
「100km/h」	有料道の平均速度を100km/hとして到着予想時刻が計算されます。

交差点案内表示

「ON」	交差点案内図を表示します。
「OFF」	交差点案内図は表示されません。

ETCレーン案内表示

「ON」	有料道路の料金所付近でETCレーン案内が表示されます。
「OFF」	ETCレーン案内は表示されません。

方面案内表示

「ON」	交差点で方面案内が表示されます。
「OFF」	方面案内は表示されません。

VICS情報表示対象道路

「有料道・一般道」	有料道・一般道の渋滞情報が表示されます。
「有料道のみ」	有料道路の渋滞情報のみが表示されます。
「一般道のみ」	一般道路の渋滞情報のみが表示されます。
「表示しない」	渋滞情報は表示されません。

渋滞情報表示^{※3}

「ON」	道塗り表示されます。
「OFF」	道塗り表示されません。

渋滞情報点滅表示^{※3}

「ON」	渋滞・混雑・順調の表示が点滅します。
「OFF」	渋滞・混雑・順調の表示は点滅しません。

順調表示^{※2}

「ON」	渋滞情報をもとに、交通が順調な道路が道塗り表示されます。
「OFF」	順調表示はされません。

規制表示^{※3}

「ON」	交通規制のVICS情報マークと規制区間が表示されます。
「OFF」	交通規制のVICS情報マークと規制区間は表示されません。

駐車場情報マーク表示^{※3}

「ON」	駐車場のVICS情報マークが表示されます。
「OFF」	駐車場のVICS情報マークは表示されません。

踏切案内

「ON」	案内されます。
「OFF」	案内されません。

右左折専用レーン案内

「ON」	案内されます。
「OFF」	案内されません。

リフレッシュ案内

「ON」	案内されます。
「OFF」	案内されません。

ライト点灯案内

「ON」	案内されます。
「OFF」	案内されません。

プローブ情報送信設定

「ON」	渋滞情報受信時に、本機の走行履歴などのプローブ情報をサーバーへ送信します。
「OFF」	送信されません。

渋滞情報取得開始設定

「オート」	本機が携帯電話との接続を確認した時点で、渋滞情報を自動的に取得します。
「マニュアル」	地図画面上の 渋滞 に長くタッチした場合、または 渋滞 — 情報取得 にタッチした場合のみ、渋滞情報を取得します。

渋滞情報連続取得設定

「ON」	渋滞情報を一定間隔で連続取得します。
「OFF」	渋滞情報の連続取得は行いません。

※1 「渋滞考慮オートリルート」が「ON」のときに設定できる機能です。

※2 「VICS情報表示対象道路」が「表示しない」以外のとき、かつ「渋滞情報表示」が「ON」のときに設定できる機能です。

※3 「VICS情報表示対象道路」が「表示しない」以外のときに設定できる機能です。

ロゴマーク表示設定をする

さまざまなジャンルのロゴマークを地図上に表示させることができます。

1 を押し、設定・編集 - ナビ設定 - ロゴマーク表示設定 にタッチする



2 ロゴマークを表示させたいジャンルにタッチする



選ばれたジャンルのインジケータが点灯し、引き続き選ぶことができます。最大4種類のジャンルを選ぶことができます。

メモ

- 再度ジャンルにタッチすると、インジケータが消灯し、選択が解除されます。

3 設定を終了する場合は、**終了** にタッチする

車両情報設定をする

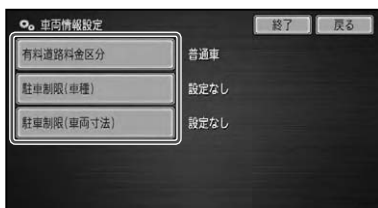
車両の有料道路料金区分や駐車制限、長さ、幅、高さを設定します。

ここで設定された内容が駐車場および有料道路の料金案内に反映されます。

1 を押し、設定・編集 - ナビ設定 - 車両情報設定 にタッチする



2 各項目を選んで内容を設定する



メモ

- ルート案内中やハイウェイモードの場合は、有料道路料金区分の設定はできません。

3 設定を終了する場合は、**終了** にタッチする

有料道路料金区分の設定

- 1 **有料道路料金区分** にタッチする
- 2 該当する区分を選んでタッチする



駐車制限(車種)の設定

- 1 **駐車制限(車種)** にタッチする
- 2 該当する車種を選んでタッチする



選ばれた車種のインジケータが点灯し、引き続き選ぶことができます。

メモ

- ・該当する車種が無い場合は、何も設定しないでください。

- 3 **戻る** にタッチする

駐車制限(車両寸法)の設定

- 1 **駐車制限(車両寸法)** にタッチする
- 2 入力する項目を選んでタッチする



- 3 車検証等を参考に寸法を入力し、**入力完了** にタッチする

(例：長さ(L)を選んだ場合)



引き続き他の項目を入力することができます。入力を終了する場合は**戻る**にタッチしてください。

ナビゲーションの音量調整をする

ルートの音声案内、操作音の音量を調整することができます。

- 1  を押し、設定・編集 - ナビ設定 - ナビ音量調整 にタッチする



- 2 **+** または **-** にタッチして、音量を調整する



- 3 **終了** にタッチする

メモ

- ワンセグ視聴中およびSDメモリーカード、USBメモリーを再生中に、ロータリーボリューム&セレクターで音量調整を行うと、ここでの設定に関わらずナビゲーションの案内音声と操作音も同時に変化します。これは本機の仕様で、故障ではありません。

通信接続設定

携帯電話を使った通信機能や電話機能を使用する場合、Bluetoothに対応した携帯電話のご準備と、あらかじめ通信接続設定を行う必要があります。

通信機器使用上のご注意

- 本機と携帯電話との接続は、Bluetooth接続のみとなります。

携帯電話接続ケーブルなどを使っての接続はできません。Bluetooth対応の携帯電話をご用意ください。

ただし、Bluetoothに対応した携帯電話でも、機種によっては本機との接続に制限がある場合があります。携帯電話の対応可否については、以下のサイトでご確認ください。

■ 携帯電話から

<http://pioneer.jp/carnavi-keitai/>



※機種によって読み込みできない場合があります。

※QRコードの読み取りは、本機と接続予定の携帯電話で行ってください。

■ パソコンから

<http://pioneer.jp/car/keitai-check/>

- 本機のBluetoothバージョンは1.2です。また、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。

プロファイル名	用途
HFP (HandsFreeProfile)	ハンズフリー通話
OPP (ObjectPushProfile)	電話帳転送
DUN (DialupNetworkingProfile)	データ通信

- 回線接続中の通信料およびプロバイダ接続料はお客様負担となります。
- 通信終了後は必ず通信が切れたことを確認してください。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」などのロック機能を解除してから接続してください。
- お使いの携帯電話によっては、専用サーバー接続中に電話を着信した場合、専用サーバーとの接続が切断される場合があります。その場合は、通話終了後に専用サーバーに再接続してください。

通信接続設定をする

電話機能（ハンズフリー通話等）のみをお使いになる場合は、携帯電話の登録だけ行ってください。電話機能とデータ通信機能の両方をお使いになる場合は、接続先の設定も行ってください。

1 を押し、設定・編集 - 通信接続設定にタッチする



携帯電話登録 本機とBluetooth接続する携帯電話を登録します。(→ P174)

携帯電話接続 本機に登録した携帯電話との接続・切断・消去ができます。また、2台以上登録している場合は接続する携帯電話の変更もできます。(→ P176)

詳細設定 本機のデバイス名やパスキーの変更、Bluetoothの接続状態の確認やソフトウェアの更新などを行うことができます。(→ P175)

接続先設定 携帯電話を使ったデータ通信を行う場合のプロバイダを設定できます。(→ P176)

携帯電話を登録する

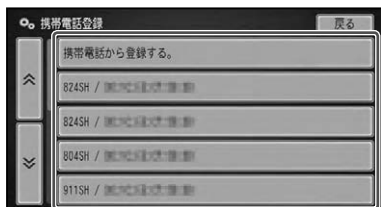
最大5台の携帯電話を本機に登録できます。

1 携帯電話登録にタッチする



周辺のBluetooth機器を自動的に探し、Bluetooth機器が見つかったらリスト表示されます。

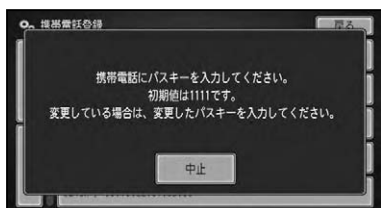
2 登録する携帯電話名にタッチする



メモ

- お使いの携帯電話によっては、本機からの検索で見つからない場合があります。その場合は、リストの一番上に表示される**携帯電話から登録する**にタッチして、携帯電話の登録メニューから登録してください。
- 本機のデバイス名の初期値は、「RAKU NAVI Lite」です。

3 携帯電話を操作してパスキーを入力する



メモ

- パスキーの初期値は「1111」です。
- 携帯電話に本機を登録（機器登録・機器認証）する方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

4 入力完了にタッチする



メモ

- デバイス名（表示される携帯電話の名前）を変更したい場合は、変更したい名前を入力してから**入力完了**にタッチしてください。
- 同じ機種を複数登録する場合、すべて同じデバイス名になりご自分の登録が判りにくなります。この場合、所有者名などを付加するなど、デバイス名変更をすると便利です。

詳細設定を行う

1 詳細設定にタッチする



2 項目にタッチしてそれぞれを設定する



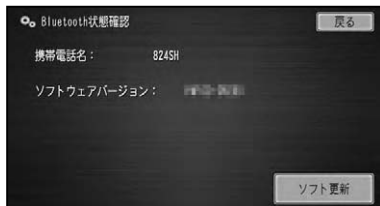
デバイス名	本機のデバイス名を変更できます。
パスキー	本機のパスキーを変更できます。
Bluetooth	Bluetooth機能のON/OFFを設定できます。
他のデバイスからの検索	他のBluetooth機器からの検索において、本機を表示させるかさせないか設定できます。
Bluetooth状態確認	接続機器名と本機のBluetoothソフトウェアのバージョンを確認できます。(→P175)

メモ

- 本機の出荷時のデバイス名(機器名称)は、「RAKU NAVI Lite」、パスキーは「1111」です。

接続状態を確認する

状態確認画面では、接続機器名とBluetoothソフトウェアのバージョン確認や更新ができます。



ソフト更新

Bluetoothソフトウェアの更新ができます。あらかじめ、弊社指定のBluetooth更新プログラムをダウンロードし、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存してご使用ください。ソフトウェアの更新が完了すると、自動的に再起動が行われます。

携帯電話の接続状態を設定する

1 携帯電話接続 にタッチする



2 接続状態を設定したい携帯電話 にタッチする

現在接続中の機器には、アイコン(📶)が表示されます。



3 実行したい機能を選んでタッチする

接続中の携帯電話の場合



切断	本機との接続を切断します。
再接続	一時的に本機との接続が切断されている場合に、再接続します。
デバイス名	携帯電話のデバイス名を変更します。

接続されていない携帯電話の場合



接続	接続中の携帯電話との接続を切断し、選んだ携帯電話と本機との接続を行います。
消去	選んだ携帯電話の登録情報を消去します。
デバイス名	携帯電話のデバイス名を変更します。

メモ

- データ通信を行う場合、接続する携帯電話の変更に合わせてプロバイダの変更(→P178)も行ってください。接続中の携帯電話とプロバイダの設定が異なっていると、データ通信を行うことができません。

接続先(プロバイダ)を設定する

データ通信を行うためのプロバイダを最大2件まで設定できます。設定の方法は、プロバイダリストから選ぶ方法と手動で設定する方法があります。

プロバイダリストから設定する

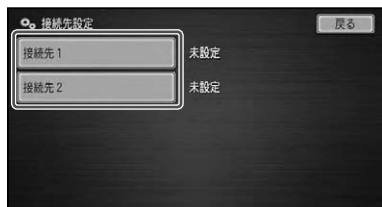
1 接続先設定 にタッチする



2 設定にタッチする



3 接続先1または接続先2にタッチする



4 プロバイダリストにタッチする



5 接続する携帯電話のタイプに合わせたプロバイダにタッチする



手動で設定する

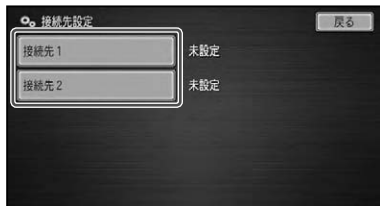
1 接続先設定にタッチする



2 設定にタッチする



3 接続先1または接続先2にタッチする



4 マニュアルにタッチする



5 設定項目を順に選び、設定内容を入力または選択する



設定できる項目と内容は以下のとおりです。

項目	設定内容
「接続先名称」	プロバイダの名称
「接続先電話番号」	アクセスポイントの電話番号
「ID」	プロバイダ入会時に発行された接続ID
「パスワード」	プロバイダ入会時に発行された接続パスワード
「プライマリ DNS」	プライマリ DNS の IP アドレス
「セカンダリ DNS」	セカンダリ DNS の IP アドレス
「Proxy サーバー」	「使う」、「使わない」
「Proxy サーバー名」	Proxy サーバーの名称
「ポート番号」	Proxy サーバーのポート番号

メモ

- パスワードを入力すると、他人に読み取られないように「*」で表示されます。
- プライマリDNSとセカンダリDNSのIPアドレスは、3桁ずつ入力し、3桁未満の数字には、数字の前に「0」を付けて3桁にしてください。
例：192.168.2.255の場合には、
「192.168.002.255」と入力する。
- セカンダリDNSは、プロバイダから指示されているときのみ入力してください。
- Proxy（プロキシ）サーバーを使用する場合は、**使う**を選択してください。
- 「Proxy サーバー名」「ポート番号」の設定は、「Proxy サーバー」を「使う」に設定した場合にできるようになります。Proxy サーバー名とポート番号は、加入したプロバイダへお問い合わせください。

- Proxy サーバー名にIPアドレスを直接入力するときに、「2」などを入力する場合は、数字の前に「00」を入れずに直接「2」を入力してください。
例：192.168.2.255の場合には、
「192.168.2.255」と入力する。

接続先（プロバイダ）を変更する

1 接続先設定にタッチする



2 接続先にタッチする



3 変更するプロバイダを選んでタッチする



4 終了にタッチする

メモ

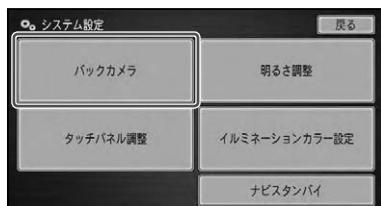
- データ通信を行う場合、プロバイダの変更に合わせて接続する携帯電話の変更（→P176）も行ってください。接続中の携帯電話とプロバイダの設定が異なっていると、データ通信を行うことができません。

システム設定

バックカメラを設定する

本機に接続したバックカメラを使うには、あらかじめバックカメラの設定を行う必要があります。

1 **メニュー**を押して、**設定・編集**—**システム設定**—**バックカメラ**にタッチする



2 それぞれの設定を行う



「バックカメラ」

ON	本機にバックカメラを接続した場合は、ONに設定します。
OFF	本機にバックカメラが接続されていない場合またはバックカメラを使用しない場合は、OFFに設定します。

「バックカメラ極性」



HIGH	バックギアに入れたときに、バック信号の電圧がHIGHとなる車両の場合に選択します。
LOW	バックギアに入れたときに、バック信号の電圧がLOWとなる車両の場合に選択します。

メモ

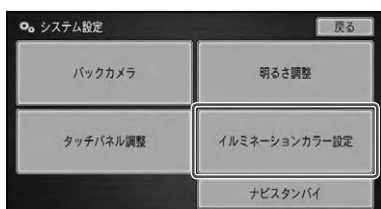
- 必ずバック信号線(紫/白)を接続してください。
- 車両のバック信号の極性は、接続状態表示画面(→P197)で確認することができます。

3 **戻る**にタッチする

イルミネーションカラー設定をする

本機のハードボタン( や )などのイルミネーション色を設定します。設定できる色は、既存の8色、レインボー、3つのカスタム色から選択できます。

1 を押して、設定・編集 - システム設定 - イルミネーションカラー設定にタッチする



2 お好みの色にタッチする



レインボー	標準色を順次点灯させます。
カスタム1 ~ カスタム3	カスタム設定で登録したカスタム色に設定します。
カスタム設定	RGB値を指定してお好みの色を作り、 カスタム1 ~ カスタム3 に登録します。

▼
選んだ色に設定されます。

カスタム色を登録する

色のRGB値(赤、緑、青の光の3原色)を指定し、カスタム色として登録します。

1 **カスタム設定**にタッチする



- **カスタム設定** を選ぶ直前に選択されていた色をベースとして、カスタム設定を行います。

2 赤、緑、青それぞれの **+** または **-** にタッチする



各色それぞれ 0 ~ +31 の範囲で指定できます。

3 登録するタッチキー (**カスタム1** ~ **カスタム3**) にタッチする



▼
指定した色が選択したタッチキーに登録され、適用されます。

4 **戻る** にタッチする



- カスタム色として、R : 0、G : 0、B : 0を設定することはできません。


タッチパネル調整をする

画面のタッチキーと実際に反応するタッチ位置にずれを感じたときなどに、調整することができます。(タッチパネルキャリブレーション)

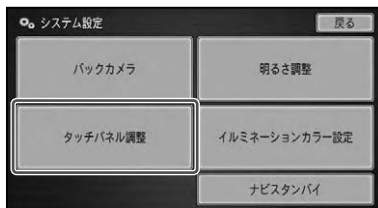
！ 注意

- 必ず綿棒などの先のとがっていない物を使用して画面に軽く触れてください。

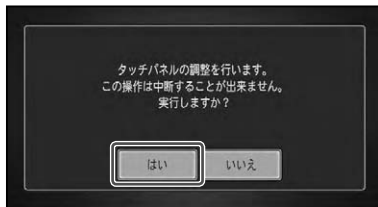
メモ

- メインメニュー (→P13) 表示中に、を長く押し、タッチパネル調整を開始することもできます。
- 本機は、画面位置を調整してから出荷されていますので、正しくタッチできないときのみ、画面位置の調整を行ってください。

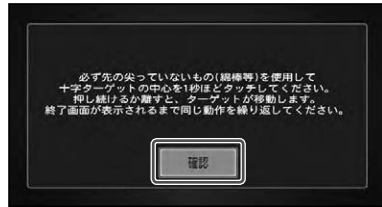
1 を押して、設定・編集—システム設定—タッチパネル調整にタッチする



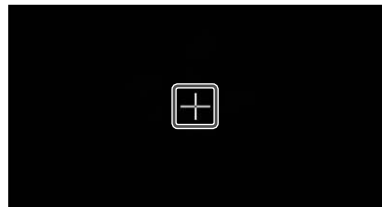
2 はいにタッチする



3 確認にタッチする



4 画面に表示される+マークの中心にタッチする



5カ所を正しくタッチすると、調整結果が保存され、メッセージが表示されます。

5 画面にタッチする

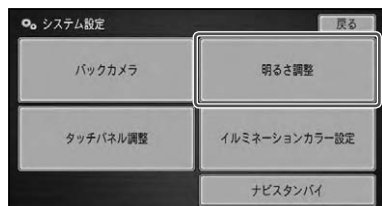
メモ

- 保存中はエンジンを切らないでください。
- タッチパネル調整が正しく実施できない場合は、カスタマーサポートセンターにご相談ください。

明るさ調整をする

周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて画面の明るさを調整することができます。

- 1 **メモ** を押して、**設定・編集** - **システム設定** - **明るさ調整** にタッチする



- 2 **+** または **-** にタッチして、明るさを調整する

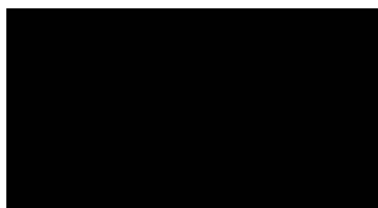
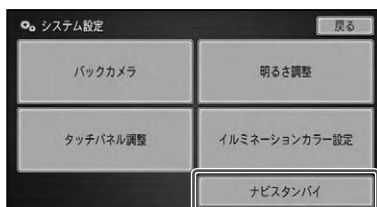


- 3 **戻る** にタッチする

一時的に画面を消す

夜間、画面がまぶしいときなど、一時的に画面を消すことができます (ナビスタンバイ)。

- 1 **メモ** を押して、**設定・編集** - **システム設定** - **ナビスタンバイ** にタッチする



メモ

- ナビスタンバイ中は、画面にタッチするか、**メモ** を押すともとの画面に戻ります。

AV 設定

お好みに合わせてオーディオの音などを設定することができます。

1 を押して、設定・編集 - AV 設定 にタッチする



2 項目を選んで設定する



フェーダー/バランス設定 前後左右の音量バランスを調整することができます。(→ P184)

イコライザー設定 イコライザーカーブの切り換えやカスタマイズができます。(→ P184)

ラウドネス設定 小さな音量で聞いているときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。(→ P187)

サブウーファー設定 サブウーファーのON/OFFや、サブウーファーから出力される音の設定を行うことができます。(→ P188)

ハイパスフィルター設定 選んだ周波数より低い周波数の音がサブウーファー以外の各スピーカーから出力されないように設定できます。(→ P189)

ソースレベルアジャスター設定 AVソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各AVソースの音量の差をそろえることができます。(→ P189)

バスブースター設定 低音部を0～6の範囲で補正して重厚感のある音にすることができます。(→ P190)

その他設定 本機に接続された外部機器の設定や、オートアンテナ、映像系AVソースの表示方法、ガイド音声出力時のオーディオ音量の設定をすることができます。(→ P190)

メモ

- AV設定画面を操作中に、音声案内、ハンズフリー通話などがあった場合は、各種設定はできません。
- 走行中は操作できない設定項目があります。
- AVソースOFF時は、設定することができません。
- 交通情報受信中は、「その他設定」-「AV1/2入力」、「アンテナコントロール連動」以外の項目は設定できません。

フェーダー / バランス設定

工場出荷時はすべて「0」です。

- 1 **メニュー** を押して、**設定・編集 - AV 設定 - フェーダー / バランス設定** にタッチする



- 2 **▲**、**▼**、**◀**、**▶** にタッチして前後左右のバランスを調整する



カーソルの位置で前後左右の音のバランスを確認できます。

- 3 **戻る** にタッチする

イコライザー設定

イコライザーカーブを切り換える

あらかじめ用意された5つの設定（ファクトリーカーブ）とお好みで調整した設定（→P185）からイコライザーカーブを選ぶことができます。

工場出荷時は「FLAT」です。

- 1 **メニュー** を押して、**設定・編集 - AV 設定 - イコライザー設定** にタッチする



- 2 お好みの設定にタッチする



S.BASS	低音が厚みを持ち、迫力のある重低音が響きます。
POWERFUL	低音と高音が厚みを持ち、アップテンポな曲がメリハリよく聞こえます。
NATURAL	自然なバランスで、聞き疲れしない心地よい音を再生します。
VOCAL	中高域が厚みを持ち、伸びやかなボーカルを際立たせます。
FLAT	音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、イコライザーの効果を確認するときに使用してください。

CUSTOM1	各 AV ソースごとに、ファクトリーカーブをお好みに合わせて調整したイコライザーカーブです。
CUSTOM2	各 AV ソース共通として調整したイコライザーカーブです。
詳細設定	選択中のイコライザーカーブをお好みに調整する詳細設定画面 (→P185) を表示します。

メモ

- AVソース画面で**EQ**にタッチして、イコライザーカーブを切り換えることもできます。(→P28)

3 戻る にタッチする

AVソースごとにオリジナルのイコライザーカーブを登録する

5つの設定(ファクトリーカーブ)を元にして、各AVソースごとにお好みに調整したイコライザーカーブを登録することができます。

あらかじめ、オリジナルのイコライザーカーブを登録したいAVソースに切り換えておいてください。(→P26)

1 メニューを押して、設定・編集 - AV 設定 - イコライザー設定 にタッチする



2 ファクトリーカーブの中から、調整の元にした設定にタッチする



3 詳細設定 にタッチする



4 バンドの◀または▶にタッチして、調整するバンド(音域)を選ぶ



低音域	40Hz, 80Hz, 100Hz, 160Hz
中音域	200Hz, 500Hz, 1kHz, 2kHz
高音域	3.15kHz, 8kHz, 10kHz, 12.5kHz

つづく→

5 周波数、レベル、Q調整値の◀ または ▶ にタッチして、それぞれを調整する



周波数	1ステップずつ切り換わります。
レベル	-6 ~ +6 の間で調整できます。
Q調整	NARROW2, NARROW1, WIDE1, WIDE2 から選択できます。

6 戻る にタッチする

調整した設定が **CUSTOM1** として登録されます。

メモ

- **CUSTOM1** として登録される値は、各 AV ソースごとに調整できますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - AM, FM
 - EXT1, EXT2
 - AV1, AV2
 - DVD-V, DVD-VR, DivX, CD, ROM

AVソース共通のオリジナルイコライザーカーブを登録する

各 AV ソース共通として、お好みに調整したイコライザーカーブを登録することができます。

1 (メモ) を押して、設定・編集 - AV 設定 - イコライザー設定 にタッチする



2 CUSTOM2 にタッチする



3 詳細設定 にタッチする



4 バンドの ◀ または ▶ にタッチして、調整するバンド(音域)を選ぶ



低音域	40Hz、80Hz、100Hz、160Hz
中音域	200Hz、500Hz、1kHz、2kHz
高音域	3.15kHz、8kHz、10kHz、12.5kHz

5 周波数、レベル、Q調整値の ◀ または ▶ にタッチして、それぞれを調整する



周波数	1ステップずつ切り換わります。
レベル	-6 ~ +6 の間で調整できます。
Q調整	NARROW2、NARROW1、WIDE1、WIDE2 から選択できます。

6 戻る にタッチする

調整した設定が **CUSTOM2** として登録されます。

ラウドネス設定

工場出荷時は「OFF」です。

1 (メニュー) を押して、設定・編集 - AV 設定 - ラウドネス設定 にタッチする



タッチすることにより、ラウドネス設定が以下のように切り換わります。

OFF → LOW → MID → HIGH → OFF
に戻る

サブウーファー設定

工場出荷時は以下のとおりです。

サブウーファー設定	「ON」
位相	「ノーマル」
レベル	「±0」
周波数	「80Hz」

1 を押して、設定・編集 - AV 設定 - サブウーファー設定 にタッチする



2 **ON** にタッチする



サブウーファーが接続されていない、またはサブウーファーを使用しない場合は、**OFF** にタッチします。

3 **ノーマル** または **リバース** にタッチして、位相を設定する

ノーマル	フロント/リアスピーカーと同じ位相で出力するとき
リバース	フロント/リアスピーカーと逆の位相で出力するとき

メモ

- サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どうしが反転（干渉）すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。サブウーファーを固定したあとに、**ノーマル** または **リバース** どちらかを選んで、低音の音量が大きく感じられる方に設定してください。

4 **+** または **-** にタッチして、レベルを設定する



-24 ~ 6の範囲で設定できます。

5 **+** または **-** にタッチして、周波数を設定する



50Hz、63Hz、80Hz、100Hz、125Hzから周波数を選べます。

メモ

- 周波数やレベルは、フロント/リアスピーカーとのバランスやお好みに応じて設定してください。

6 **戻る** にタッチする

ハイパスフィルター設定

工場出荷時は「OFF」です。

- 1 **メニュー** を押して、**設定・編集 - AV 設定 - ハイパスフィルター設定** にタッチする



タッチするごとに、ハイパスフィルターの設定が以下のように切り換わります。

OFF → 50Hz → 63Hz → 80Hz → 100Hz → 125Hz → OFF に戻る

ソースレベルアジャスター設定

工場出荷時は「0dB」です。

- 1 **メニュー** を押して、**設定・編集 - AV 設定 - ソースレベルアジャスター設定** にタッチする



- 2 **+** または **-** にタッチする



メモ

- -4dB ~ +4dB の範囲で1dBごとに調整できます。
- FMの音量を基準に他のAVソースとの音量を調整するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- AVソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - CD、ROM、DivX
 - AM、交通情報
 - AV1、AV2
 - EXT1、EXT2

- 3 **戻る** にタッチする

バスブースター設定

工場出荷時は「0」です。

- 1 **メニュー** を押して、**設定・編集 - AV 設定 - バスブースター設定** にタッチする



- 2 **+** または **-** にタッチして、レベルを設定する



メモ

・ 0～6dBの範囲で1dBごとに調整できます。

- 3 **戻る** にタッチする

その他設定

- 1 **メニュー** を押して、**設定・編集 - AV 設定 - その他設定** にタッチする



- 2 項目を選んで設定する



AV1入力	本機背面のRCA入出力ケーブルに接続した外部機器に合わせて設定します。(→ P191)
AV2入力	本機前面のAV入力端子に接続した外部機器に合わせて設定します。(→ P191)
アンテナコントロール運動	本機では、ACC運動に設定してご使用ください。(→ P191)
ワイドモード設定	映像系AVソース(地デジやDVDなど)の画面表示のモードを設定します。(→ P192)
消音設定	ナビゲーションの音声案内時に、オーディオの音を消すか一時的に小さくするかどうかを設定します。(→ P192)

AV1 / AV2入力

AV1 入力は、本機背面の RCA 入出力ケーブルに iPod やポータブルビデオ、映像ソースのエクスターナル機器などを接続した場合に設定します。

AV2 入力は、本機前面の AV 入力端子にポータブルビデオなどの外部機器を接続した場合に設定します。

工場出荷時はどちらも「OFF」です。

メモ

- 本機前面の AV 入力端子を使って外部映像機器を接続する場合は、別売の AV 入力用変換ケーブル「CD-VRM200」が必要です。
- 本機背面の RCA 入出力ケーブルを使って iPod を接続する場合は、別売の iPod 用接続ケーブル「CD-IUV30」が必要です。

1 機器を接続した端子に応じて、AV1入力、AV2入りにタッチする



タッチするごとに、AV 入力が以下のように切り換わります。

AV1

OFF → iPod → VTR → EXT → OFF に戻る

AV2

OFF → VTR → OFF に戻る

iPod	本機に iPod を接続した場合
VTR	本機にポータブルビデオなどの外部機器を接続した場合
EXT	本機に映像ソースのエクスターナルユニットを接続した場合
OFF	本機に何も接続していない場合


アンテナコントロール連動

工場出荷時は「ACC 連動」です。

注意

- 本機をオートアンテナ車に取り付けた場合、工場出荷状態のまま電源を ON（エンジンスイッチを ON）にすると、アンテナが上がります。屋内駐車場などではご注意ください。

メモ

- 本機では、ACC 連動に設定したままご使用ください。
- オートアンテナ車で立体駐車場などでアンテナを強制的に下げるには、 を長く押します。もう一度長く押すとアンテナが上がります。
- アンテナを下げた状態のままでは、ラジオ、VICS/FM 多重放送が受信できない場合があります。

ワイドモード設定

工場出荷時は「FULL」です。

1 ワイドモード設定にタッチする



タッチするごとに、FULL/NOMAL が切り換わります。

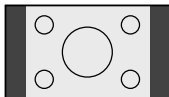
FULL

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



NOMAL

4：3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。



メモ

- 映像系AVソース（地デジやDVDなど）以外のAVソース再生中は、設定できません。
- 映像系AVソースでも、一部設定できないAVソースもあります（ワンセグなど）。

消音設定

工場出荷時は「MUTE」です。

1 消音設定にタッチする



タッチするごとに、以下のように切り換わります。

MUTE → ATT → MUTE に戻る

MUTE	音量が一時的に0となります。
ATT	音量を一時的に小さくします。

メモ

- ハンズフリー通話の着信時には、この設定にかかわらずオーディオの音量が0となります。
- AVソース再生中は、設定することができません。

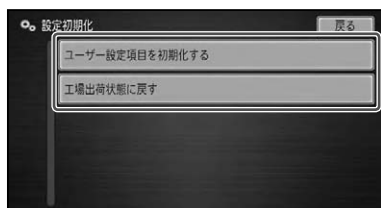
設定初期化

お好みに合わせて設定した機能を工場出荷時の状態に戻したり、ユーザー設定を初期化することができます。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **ナビ設定** - **設定初期化** にタッチする



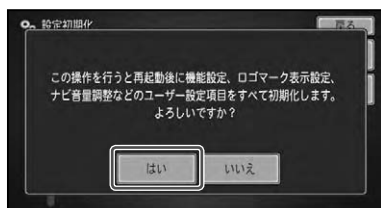
2 項目を選んでタッチする



ユーザー設定項目を初期化する	機能設定、ロゴマーク表示設定、ナビ音量設定など、お客様がお好みに合わせて設定された項目（ユーザー設定）を初期化します。
-----------------------	---

工場出荷状態に戻す	ユーザー設定に加え、本機に読み込んだメモリデータや登録した場所など、すべてのデータを消去し、工場出荷時の状態に戻します。
------------------	--

3 **はい** にタッチする



初期化を中止する場合は**いいえ** にタッチしてください。

各種情報を表示する

各種情報の表示

GPS受信状態、接続状態、バージョン情報など、本機の情報を表示して確認することができます。

GPS受信状態を表示する

GPS衛星からの受信状態を確認することができます。

1 を押し、設定・編集 - 各種情報 - GPS情報 にタッチする



GPS衛星からの受信状態が表示されます。



衛星位置表示

現在本機が認識できているGPS衛星の位置がイラスト表示されます。測位に使われている衛星は橙色、受信中の衛星は黄色、電波を受信できていない衛星は灰色で表示されます。3つ以上の衛星の電波を受信すると現在地の測位が可能になります。

緯度・経度

現在地の緯度と経度が表示されます。測位できないときは最後に測位したときの緯度と経度が表示されます。本機は日本測地系に対応しています。

メモ

- 以下の場合、GPSの測位に時間がかかる場合があります。
 - － はじめてお使いになるとき
 - － 長期間使っていなかったとき
 - － 本機をリセットしたとき

注意

- 本機がGPS衛星からの電波を受信できていない状態で走行を開始すると、自車位置がずれるなどの症状が発生する場合があります。GPS衛星の電波が受信できているかどうかは、GPS情報画面のほかに地図画面の方位マーク(→P2)の色で確認することができます。
 - 赤：3次元測位
 - 黄：2次元測位
 - 灰：未測位

接続状態を表示する

車速パルスやバック信号入力線などの接続状態を確認できます。正しく表示されない場合は、販売店にご相談ください。

1 を押し、設定・編集 - 各種情報 - 接続状態表示 にタッチする



▼
接続状態が表示されます。



車速パルス

現在本機が認識している車速パルスの数が表示されます。停車中の場合は「0」が表示されます。車を走行させると、速度に応じて“ピッ”という発信音が生じ、数字とともにバー表示が変化します。

車速パルスの確認は、安全な場所で、低速(時速5km程度)で行ってください。

パーキングブレーキ

パーキングブレーキの状態が表示されます。パーキングブレーキがかかっているときは「ON」、解除されているときは「OFF」と表示されます。ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキを操作し、正しく表示されることを確認してください。

バック信号

バック信号入力の接続状態が表示されます。シフトレバーを「R」(リバース)の位置にすると「HIGH」と「LOW」の表示が入れ替わります。ブレーキペダルを踏んだままシフトレバーを操作し、正しく表示されることを確認してください。この接続は、車の前進/後退を判断するためのものです。

※接続しないと前進後退を正しく検知できないことがあるため、自車位置がずれる場合があります。また、バックカメラを接続している場合は、シフトレバーの位置を検知することができないためバックカメラの映像を表示することができません。

Bluetoothリンク

Bluetoothによる携帯電話との接続状態が表示されます。正しく接続されていれば「接続」、接続されていない場合は「未接続」と表示されます。

バージョン情報を表示する

地図、ソフトウェアのバージョン情報と、デバイスナンバーを確認することができます。

1 を押し、設定・編集 - 各種情報 - バージョン情報 にタッチする



▼
情報が表示されます。



地図バージョン

全国地図データのバージョンが確認できます。

ソフトバージョン

ナビゲーションシステムのバージョンが確認できます。

デバイスナンバー

地図データ更新時に必要となります。

文字を入力する

文字の入力操作

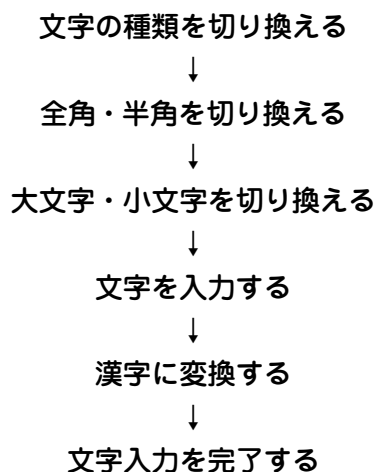
場所の名前や電話番号などを登録するときは、文字や数字を入力します。本書では、メニュー操作中に表示される、文字や数字の入力操作のしかたについて説明します。

メモ

- 英字、数字、カタカナ、ひらがな、記号の入力と漢字変換ができます。
- 項目によっては、使用できる文字の種類が制限されることがあります。例えば、登録した場所の「ヨミ」の場合、カタカナ入力以外は選べません。

文字の入力操作の流れ

一般的な文字の入力操作の流れは、次のようになります。



文字の種類を切り換える

1 文字切換 にタッチする



▼

タッチするごとに文字の種類が以下のように切り換わります。

ひらがな → カタカナ → 英字 → 数字
→ ひらがなに戻る

メモ

- 漢字変換をするには、ひらがなで入力します。

全角・半角を切り換える

カタカナ、英字での入力時は、全角・半角を切り換えることができます。

1 半角／全角にタッチする



大文字・小文字を切り換える

数字以外の入力時は、大文字・小文字を切り換えることができます。

1 大文字／小文字にタッチする



メモ

・「ひらがな」、「カタカナ」では、大文字・小文字の切り換え可能な文字が決まっているため、本操作を行わなくても、該当する文字にタッチすることにより切り換えることもできます(例：や → ゆ → よ → や → ゆ → よ)。

文字を入力する

基本操作

1 各タッチキーに割り当てられた文字を入力する

同じキーをタッチすることによって以下の文字が切り換わります。

キー	ひらがな	カタカナ	英字	数字
あ ア 1	あ→い→う→え →お→あ→い →う→え→お	ア→イ→ウ→エ →オ→ア→イ →ウ→エ→オ		1
か カ ABC 2	か→き→く→け →こ	カ→キ→ク→ケ →コ	A→B→C	2
さ サ DEF 3	さ→し→す→せ →そ	サ→シ→ス→セ →ソ	D→E→F	3
た タ GHI 4	た→ち→つ→て →と→っ	タ→チ→ツ→テ →ト→ッ	G→H→I	4
な ナ JKL 5	な→に→ぬ→ね →の	ナ→ニ→ヌ→ネ →ノ	J→K→L	5
は ハ MNO 6	は→ひ→ふ→へ →ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ →ホ	M→N→O	6
ま マ PQRS 7	ま→み→む→め →も	マ→ミ→ム→メ →モ	P→Q→R→ S	7
や ヤ TUV 8	や→ゆ→よ→や →ゆ→よ	ヤ→ユ→ヨ→ヤ →ユ→ヨ	T→U→V	8
ら ラ WXYZ 9	ら→り→る→れ →ろ	ラ→リ→ル→レ →ロ	W→X→Y→ Z	9
わ ワ 0	わ→を→ん→わ →-	ワ→ヲ→ン→ワ →-		0

濁点、半濁点、音引きなどを追加する

ひらがなやカタカナの場合は、選んだ文字により濁点・半濁点を追加することができます。また句読点なども入力することができます。

1 記号にタッチする



タッチするごとに、カーソル左側の文字が以下のように切り換わります。

濁点 → 半濁点 → 記号類 → 濁点 に戻る

文字を削除する

1 < / > にタッチして、削除したい文字の右側にカーソルを移動させる

2 削除 にタッチする



タッチするごとに、カーソルの左側の文字が1文字ずつ削除されます。カーソルが左端にある場合は、右端の文字が削除されます。必要な分だけ文字を削除して、入力をやり直します。

メモ

- 削除に長くタッチすると、一度にすべての文字を削除することができます。

スペースを空ける

1 空けたい分だけスペースにタッチする



メモ

- 文字入力中は、入力を確定(→P204)してから▶にタッチします。
- 入力済みの文章の途中にスペースを空けたい場合は、◀・▶にタッチしてカーソルを移動し、スペースにタッチします。

文字を挿入する

1 < / > にタッチして、文字を挿入したい場所の右側にカーソルを移動させる



つづく→

カーソルの位置に文字を挿入することができます。



メモ

- カーソルは、同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。

漢字に変換する

ひらがなを漢字に変換します。

1 ひらがなを入力し、**変換**—**確定**にタッチする



メモ

- **<**または**>**にタッチすると、変換する文字の範囲を変更できます。
- **変換**にタッチすることにより、候補の漢字が切り換わります。
- ひらがなをそのまま入力する場合は、**確定**にタッチしてください。

文字入力を完了する

1 **入力完了** にタッチする



▼
入力した内容で確定し、文字入力を終了します。

かな漢字変換できる記号

学術記号

読み	記号
いこーる	= ≠ ≠
ごうどう	≡
ばつ	×
ふとうごう	≠ ≤ ≥
ぶらすまいなす	±
むげん / むげんたい	∞
なぜならば	∴
ゆえに	∴
かける	×
わる	÷

ギリシア文字

読み	記号
あるふぁ	A α
いーた	H η
いおた	I ι
いぶしろん	E ε
うぶしろん	Y υ
おーむ / おめが	Ω ω
おみくろん	O o
きー	X χ
かっぱ	K κ
がんま	Γ γ
くしー / ぐざい	Ξ ξ
しーた	Θ θ
じーた	Z ζ
しぐま	Σ σ
たう	T τ
でるた	Δ δ
にゅー	N ν
ばい / びー	Π π
ふぁい / ふいー	Φ φ
ぶざい / ぶしー	Ψ ψ
べーた	B β
みゅー	M μ
らむだ	Λ λ
ろー	P ρ

括弧

読み	記号
かっこ	" "" ◊ ◊ [] {} <> <> [] [] [] ""

記号・マーク

読み	記号
くろぼし	★
くろまる	●
しろぼし	☆
しろまる	○
さんかく	△ ▲ ▽ ▼
しかく	◇ ◆ □
ずけい	☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ △ ▲ ▽ ▼
まる	○ ● ◎
ひし	◇ ◆
ほし	☆ ★
おす	♂
めす	♀
ゆうびん	〒

単位

読み	記号
えん	¥
せっし	℃
せんと	¢
たんい	° ' " °C ¥ \$ € £ % ‰ Å アル カリ キロ グラ セン ム トン パー セント ドル トン パー ヘルツ ベー ミリ タラジ ユー ミリ メートル リットル グラム mg kg mm cm km ml cc
ど	° °C
どる	\$
ばーせんと	%
びょう	”
ふん	’
ぼんど	£

点

読み	記号
だくてん	°
てん	、 … … … … … … … … ° .
はんだくてん	°
まる	。 .

矢印

読み	記号
やじるし	→ ← ↑ ↓

その他

読み	記号
おんぷ	♪
から	〜
こめ / ほし	※
しゃーぷ	#
しゃせん	/ \
せくしょん	§
だがー	†
ふらっと	b

付録

再生できるディスクの種類	208
ディスクの構成について	210
WMA/MP3/ AACファイルについて	211
ナビゲーションのしくみ	214
故障かな？と思ったら	218
エラーメッセージと対処方法	223
VICS情報有料放送サービス 契約約款	227
その他の情報	229
索引	233
記号・マーク一覧	239

再生できるディスクの種類

下記マークは、ディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。

本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

DVD ビデオ CD



- DVD オーディオディスクは再生できません。
- DVD ビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- DVD ビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- DVD-R/RW ディスクは、ビデオフォーマット（ビデオモード/VRモード）で記録されファイナライズされたもの、および WMA/MP3/AAC ファイルが収録されたものに限り、再生することができます。
- ビデオフォーマット（ビデオモード/VRモード）で記録したDVD-R/RW ディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- CD-EXTRA は、音楽 CD として再生することができます。
- コピーガード機能付き CD（Copy Control CD など）は正式な CD 規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用 CD レコーダーで録音したもの以外の CD-R/RW ディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RW ディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常の CD や CD-R ディスクより時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていない CD-R/RW および DVD-R/RW（VR を含む）ディスクは、再生できない場合や再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- CD-R/RW および DVD-R/RW（VR を含む）ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCD（Double Density CD）形式で録音された CD-R/RW ディスクは再生できません。
- 音楽用 CD レコーダーで録音した音楽用 CD-R/RW ディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- PC（パソコン）で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。（詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。）
- 本機は、音楽データ（CD）と WMA/MP3/AAC データ（ROM）と DivX のいずれかのデータが混在しているディスクの再生に対応しています。
- 以下のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録された DVD-R/RW ディスクの再生に対応していることを示しています。

RW
COMPATIBLE

ハイビジョン画質(AVCHD 規格)で記録されたディスクについて






- 本機は、AVCHD 規格に非対応のため再生できません。
- ディスクの取り出しができなくなる場合がありますので、AVCHD 規格で記録されたディスクは入れないでください。

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」の DVD の面は再生可能です。
- DVD 面ではないオーディオ面は、一般的な CD の物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷が付く場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合が起こる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

DVD に表示されているマークの意味

DVD ディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数
	字幕の数
	アングルの数
	画面サイズ(アスペクト比:横と縦の比率)の種類
	再生可能な地域番号(リージョン番号) 本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

ディスクの操作について

DVDによっては、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上リピートなど一部の操作ができないことがあります。このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクによっては、表示されないこともあります。

禁止マーク



ディスクの構成について

DVDビデオ

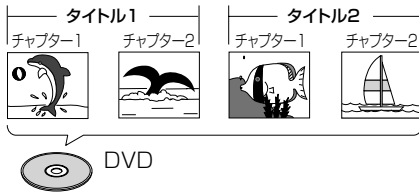
DVDビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。

映画など

1つの作品が1つのタイトルとなっており、場面ごとにチャプターで分けられています。

カラオケディスク

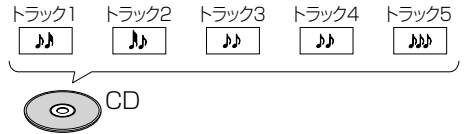
1曲が1タイトルとなっています。



CD

CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。

一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。



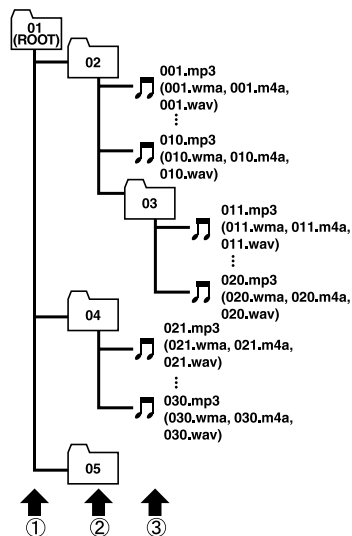
メモ

- 上記のような構成（区切りのしかた）になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。

WMA/MP3/AACファイルについて

フォルダーとWMA/MP3 およびAACファイルについて

- WMA/MP3/AAC ファイルを収録したディスクやSDメモリーカードまたはUSBメモリー内のイメージは下図のようになります。



1階層 2階層 3階層

- 本機はWMA/MP3/AACファイルが記録されたDVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW/CD-ROM (CD-ROMモードはモード1、モード2 (FORM1/FORM2)に対応)の再生に対応しています。ディスクは、ISO9660のレベル1、およびレベル2、および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- 本機はマルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライトには対応していません。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PRO フォーマットには対応していません。

- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.wma, .mp3, .m4a) を含め、全角で16文字、半角で32文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は全角で16文字、半角で32文字までです。
- 拡張フォーマット (Romeo) に準拠して記録されたファイルの場合、全角では先頭から16文字、半角では先頭から32文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。

メモ

- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- WMA/MP3/AACファイルを含まないフォルダーは認識しません (フォルダー番号の表示をせず、スキップします)。
- 多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が255個まで再生可能です。

WMA とは？

WMAとは、「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮方式です。

WMA データは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

メモ

- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

再生できる WMA ディスクについて

メモ

- WMA ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wma)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wma)が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMA ファイル以外には拡張子(.wma)を付けないでください。
- 本機では、Windows Media Player Ver7/7.1/8/9を使用してエンコードしたWMA ファイルを再生することができます。

- 再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は 8kHz ~ 48kHz です。
- 対応ビットレートは 5kbps ~ 320kbps です。VBR に対応しています。
- 下記形式には対応していません。
 - Windows Media Audio 9 Professional (5.1ch)
 - Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - Windows Media Audio 9 Voice

MP3 とは？

MP3とは、「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できる MP3 ディスクについて

メモ

- MP3 ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.mp3)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.mp3)が付いているファイルを MP3 ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3 ファイル以外には拡張子(.mp3)を付けないでください。

- ID3 Tag の Ver1.0 および Ver1.1、Ver2.2、Ver2.3 の album (ディスクタイトルとして表示)、title (トラックタイトルとして表示)、artist (アーティストとして表示)、genre (ジャンルとして表示)、year (発売年として表示) の表示に対応しています。
- 再生可能な MP3 ファイルの対応サンプリング周波数は、8kHz ~ 48kHz です。エンファシスに対応しています。
- 対応ビットレートは 8kbps ~ 320kbps です。VBR に対応しています。

AACとは？

AACとは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるAACディスクについて

メモ

- AACファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.m4a)を付けてください。
 - 本機では、iTunesを使用してエンコードされたAACファイルの再生に対応しています。
 - 本機は、iTunesで作成された拡張子(.m4a)が付いているファイルをAACファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、AACファイル以外には拡張子(.m4a)を付けないでください。
 - 画像データを含むAACファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
 - AACファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
 - 再生可能なAACファイルのサンプリング周波数は8kHz～48kHzです。
 - 対応ステレオビットレートは8kbps～320kbpsです。
 - この製品は、下記のオーディオフォーマットには対応していません。
- * Apple Lossless

DivXとは？

- DivX® は、DivX, Inc. が開発した評価の高いメディア技術です。DivXのメディアファイルは、高画質を維持しながら、高い圧縮率でコンパクトに圧縮できます。DivXで圧縮するファイルには、メニューや、字幕、サブオーディオトラックなども含めることができます。DivX.comでは、DivXメディアファイルを多数掲載しています。これらのメディアをダウンロードして、DivXの専用ツールを使えば、オリジナルのコンテンツを作成できます。
- DivX Certified 製品は、DivXのクリエイターによってテストされ、全てのバージョンのDivX (DivX 6も含む) でも再生できることが正式にテスト、認定された製品です。DivX Certifiedの認定ロゴが付いている製品は、DivX Profiles規格に準拠したポータブルビデオやHDビデオであることを示しています。
- 本機は、DivX® Certified 製品です。
- 標準のDivX® メディアファイル再生機能が付いたDivX® ビデオ (DivX® 6も含む全てのバージョンに対応) を本機で再生することができます。
- DivX、DivX Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc. の商標です。これらの商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。
- 本機では、CD-R/RW/ROM、DVD-R/RWに記録されたDivX® ファイルを再生できます。再生できるDivXコーデックバージョンについては、『スタートブック』の『仕様』のページをご覧ください。
- DivX Ultra には対応していません。
- この取扱説明書では、それぞれのDivX® ファイルをDVDにあわせて「タイトル」と呼びます。DivX® ファイルはタイトルのアルファベット順に再生されますので、ディスクに記録する際はタイトル名の付けかたにご注意ください。

ナビゲーションのしくみ

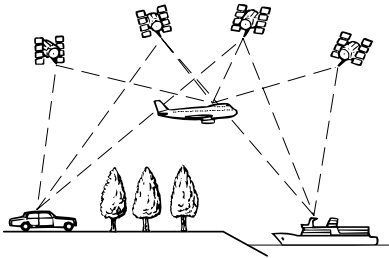
現在地がわかるしくみ

本機では、現在地(自車位置)を測位する方法としてGPSに加え、自立航法による測位が可能です。

GPSによる測位

GPS衛星(人工衛星)から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS(Global Positioning System: グローバルポジショニングシステム)です。

GPS衛星は、地球の周り高度21 000 kmに打ち上げられています。3つ以上のGPS衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。GPSによる測位には、3次元測位と2次元測位の2種類があります。



種類	内容
3次元測位	GPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の3次元で測位できる。
2次元測位	GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の2次元で測位する。高度は測位できないため、3次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなる。

自立航法による測位

内蔵のハイブリッドセンサーは、走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーでそれぞれ検出して、現在地を割り出しています。車速パルスが接続されていない場合は、Gセンサーで走った距離を検出します。

GPSと自立航法を組み合わせた測位の特長

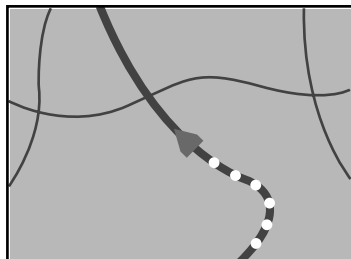
- GPSによる現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせているため、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を続けることができます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPSと自立航法を組み合わせると、GPS測位により自立航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるためのしくみ

マップマッチング

GPS や自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしている場合



本機では、GPS と自立航法で精度の高い測位をしたうえでマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能になります。

誤差について

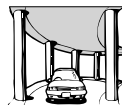
次のような状況のときは、誤差が大きくなることがあります。

GPS測位不可による誤差

- 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。



トンネルの中やビルの駐車場



2層構造の高速道路の下



高層ビルの群集地帯



密集した樹木の間

- 長い時間 GPS による測位ができない場合、自車位置がずれたり止まったりする場合があります。このような場合でも、GPS の電波を受信してしばらく走行すると正しい位置に修正されます。
- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的に GPS 衛星の電波を受信できなくなることがあります。
 - GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。

GPS衛星自体による誤差

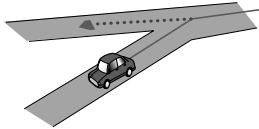
- GPS 衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 捕捉（受信）できている衛星の数が少ないときは、2次元測位となり誤差が大きくなります。

低速時の自車位置精度について

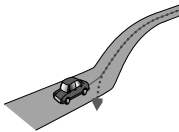
車種によっては時速数km程度の低速時に車速信号が出力されないものがあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場（地下駐車場など）で時速数km程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されないことがあります。

その他の誤差について

- 角度の小さなY字路を走った場合。



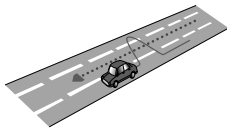
- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐあと。



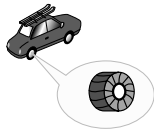
- 砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合。



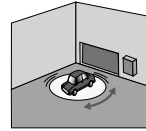
- 蛇行運転をした場合。



- チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換した場合。



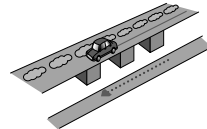
- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。



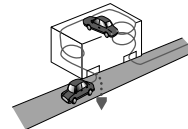
- ヘアピンカーブが続いた場合。



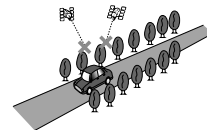
- 道路が近接している場合（有料道路と側道など）。



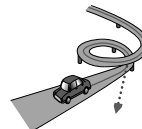
- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



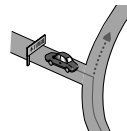
- GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合。



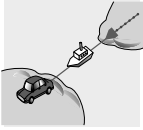
- ループ橋などを通った場合。



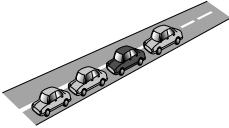
- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



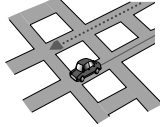
- フェリーや車両運搬車などで移動した場合。



- 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。



- 碁盤の目状の道路を走った場合。



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合。
- 扁平率や径の異なるタイヤに交換してまもない場合。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

ナビゲーション

症状	原因	処置
自車マークがずれる。	GPS 衛星の電波を受信する前に走行を開始している。	GPS 衛星の電波を受信してから走行を開始してください。GPS 衛星の電波が受信できているかどうかは、方位マークの色 (→ P2) や GPS 情報画面 (→ P196) で確認することができます。しばらく待っても GPS 衛星の電波が受信できないときは、GPS アンテナの取り付け状態を確認してください。→『取付説明書』
ハンズフリー通話時に、通話相手側で響きが大きく聞こえる。	通話相手側の声 (スピーカーからの音声) がマイクに入り込んでいる。エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。	受話音量を小さくすることで改善できます (→『ハンズフリー通話をする』(P156))。ただし、本機のしくみ上、完全に響き (エコー) をなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で喋るとさらに聞き取りにくくなりますので、普通の大きさの声で通話してください。
Bluetooth を使って携帯電話と接続できない。	本機が携帯電話と通信できない状態になっている。	携帯電話の電源を入れ直すか、車のエンジンスイッチ (ACC) を OFF/ON してください。あとから携帯電話の電源を入れたときは、1 分ほどお待ちいただくか、『携帯電話の接続状態を設定する』(→ P176) の操作をして、Bluetooth 接続する携帯電話を選択してください。

FM/AM

症状	原因	処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。→『ラジオを聞く』(P86)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が悪くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。→『ラジオを聞く』(P86)

DVD

症状	原因	処置
再生できない。	PAL 方式のディスクを挿入している。	NTSC 方式のディスクに交換してください。
	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。

音声は出るが、映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	▶AV で AV ソース画面に切り換えてください。
ディスクを入れても自動的に再生しない。	ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合があります。	ディスクメニューを操作して、再生を開始するか、オートプレイを ON に設定してください。→「オートプレイ」(P135)
オートプレイが正しく動作しない。	オートプレイが正しく動作できないディスクが入っている。	ご使用されるディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合はオートプレイを OFF にして再生してください。→「オートプレイ」(P135)
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルの変更をしてください。→「視聴制限」(P134)
音声言語、字幕言語が切り換えられない。	複数の言語が収録されていない DVD を再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り換えられません。
	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が収録されていない DVD を再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていない DVD では、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていない DVD を再生している。	複数のアングルが収録されていない DVD では、切り換えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている（ディスクによって入っている場合があります）。	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります（故障ではありません）。
Ⓢ（禁止マーク）が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。 ディスクの構造上対応できない操作をしている。	この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けけない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	□にタッチしてから、もう一度再生してください。

CD、ROM (WMA/MP3/AAC)

症状	原因	処置
CD-R や CD-RW を再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。

WMA/MP3/AAC ファイルを再生できない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録された WMA/MP3/AAC ファイルにしてください。
WMA/MP3/AAC ファイル再生中に大きな雑音が出る。	ファイルの形式と拡張子があていない。	ディスクを交換してください(WMA 形式でないファイルに「.wma」、MP3 形式でないファイルに「.mp3」、AAC 形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けた CD-ROM を再生しないでください)。
聴きたい WMA/MP3/AAC ファイルが見つからない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AAC ファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3/AAC ファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字 (01, 02 など) を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

SD メモリーカード / USB メモリー

症状	原因	処置
WMA/MP3/AAC ファイルを再生できない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」を付けてください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録された WMA/MP3/AAC ファイルにしてください。
聴きたい WMA/MP3/AAC ファイルが見つからない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」を付けてください。
音声は出るが、映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。

映像が見えない。音声が出ない。	ナビゲーションの画面またはメニュー画面になっている。	SDメモリーカード/USBメモリー内の映像ファイルは、ナビゲーション画面、メニュー画面では動作しません。AVソース画面に切り換えてください。
-----------------	----------------------------	--

ワンセグ

症状	原因	処置
音声は出るが、映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
映像が見えない。音声が出ない。	ナビゲーションの画面または、メニュー画面、バックカメラ映像画面になっている。	ワンセグは、ナビゲーション画面、メニュー画面、バックカメラ映像画面では動作しません。AVソース画面に切り換えてください。
映像が出ない。「受信できません」という画面が表示される。	放送局(チャンネル)が増えたり、旅行などに出かけたりして受信状態が変わっている。	受信状態が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。→(P93)
	受信状態が悪くなり、放送が受信できない。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
画面が止まっている。画面がカクカクして映る、コマ落ちしている。画面に正方形のノイズが映る。	受信状態が悪くなった場合などは、左記のようになります。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
音声や字幕、複数の番組が切り換えられない。	音声や字幕、複数の番組が放送されていない。	切り換えできる音声や字幕、複数の番組が放送されているチャンネルを視聴してください。

地上デジタルテレビ

症状	原因	処置
ソースが地上デジタルTVに切り換わらない。	地上デジタルTVチューナーにIP-BUSケーブルが接続されていない。	IP-BUSケーブル、電源コードの接続を確認してください。→『取付説明書』
	地上デジタルTVチューナーの電源コードが接続されていない。	
	地上デジタルTVチューナーのヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。→『取付説明書』
	ノイズなどが原因で地上デジタルTVチューナーのマイコンが誤動作している。	地上デジタルTVチューナーのリセットボタンを押してください。→『地上デジタルTVチューナーの取扱説明書』それでも解決しない場合は、車のバッテリーを一度外してください。
音声は出るが、映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	▶AVでAVソース画面に切り換えてください。

音が出ない。	地上デジタルTVチューナーのIP-BUSケーブルの接続先(IP-BUS INとOUT)が間違っている。	IP-BUSケーブルの接続先を確認してください。IP-BUSケーブルは、同じ色どうしを接続してください。 →『取付説明書』
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが映る。	受信状態が悪くなった場合などは、そのような症状になります。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
メッセージが表示され、視聴ができない。	B-CASカードを挿入していない。	車のエンジンスイッチをOFFにしてからB-CASカードを挿入してください。→『地上デジタルTVチューナーの取扱説明書』
	地上デジタルTVチューナーが対応しない放送を視聴しようとしている。	地上デジタルTVチューナーは、以下の放送には対応していません。 ・番組単位で購入できる有料放送(ペイ・パー・ビュー) ・双方向通信を使うデータ放送 ・ワンセグのデータ放送 対応している放送に切り換えてください。
映像切換 、 音声切換 、 字幕切換 のタッチキーをタッチしても切り換わらない。	受信中の番組が、それらの情報を放送していない。	それらの情報を放送している番組で操作してください。
画質が悪くなった。	ワンセグに切り換わっている。	ワンセグを通常放送に手動で切り換えるときは、 サービス切換 にタッチします。(→P98)
受信できない。 「受信できません」というメッセージが表示される。 「チャンネルスキャンをしてください」というメッセージが表示される。	チャンネルスキャンをしていない。	初めて使うときやバッテリーを外したとき、地上デジタルTVチューナーのリセットボタンを押したとき(→『地上デジタルTVチューナーの取扱説明書』)は、チャンネルスキャンをしてください。→『放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)』(P96)
	移動により、受信中のチャンネル電波が弱くなった。	他の中継局(チャンネル)に切り換えてみてください。エリアプリセットで受信中は、受信可能な中継局を自動的に探して切り換えることができます。→『地上デジタルTVチューナーの取扱説明書』
	放送局(チャンネル)が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わった。	受信環境が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。 →『放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)』(P96)
	受信レベルが低下して、放送が受信できない。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。ワンセグ放送が受信可能な場合は、 サービス切換 で切り換えることができます。→『サービスを切り換える』(P98)

エラーメッセージと対処方法

共通項目

メッセージ	原因	処置
ERROR-5 ERROR-6	本機の電気系、機構系の故障が考えられる。	リセットボタンを押してください。→『スタートブック』
温度保護回路作動中	本機の内部温度に異常がある。	本機が正常な動作をする温度になるまで、お待ちください。改善されない場合は、販売店にご相談ください。
高温のため動作不可能です。安全な場所 に移動して、エンジンを切って、しばらくしてから入れ直してください。	ナビゲーション本体の内部温度が高くなった。	内部温度が下がるまでお待ちください。ヒーター吹き出し口の近くなど、高熱になるところに設置していないことを確認してください。

ナビゲーション

メッセージ	処置
探索できませんでした。	目的地または出発地の位置を変えてください。
行き先が遠すぎるため、探索できませんでした。	途中に立寄地を設定してください。
行き先が近すぎるため、探索できませんでした。	目的地または出発地の位置を変えてください。
通行規制により、通行できない区間があるため、探索できませんでした。	
時間規制により、通行できない区間があるため、探索できませんでした。	
行き先につながる道路が見つからないため探索できませんでした。	
行き先または出発地付近に案内対象道路がないため探索できませんでした。	

DVD、CD、ROM (WMA/MP3/AAC)、DivX

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
ディスク読み込みに失敗しました。	ディスクの読み取り状態に異常がある。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』
再生できません。 ディスクを取り出して ください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』
	ディスクにキズやソリがある。	ディスクにキズがあるときは、ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。→「再生できるディスクの種類」(P208)
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号“2”を含むディスクに交換してください。
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。→「再生できるディスクの種類」(P208)
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出して ください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店にご相談ください。

ワンセグ

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
受信可能なサービスがありません。	サービスが登録されていない	受信状態が変わったときや、受信地域が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。→ (P93) ※放送がないチャンネルは登録されません。

iPod

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
ERROR	iPod が何らかの原因で再生できないとき。	iPod を本機から取り外し、iPod が問題なく動作していることを確認してから再度接続してください。
iPod の接続に失敗しました。接続し直してください。	何らかの原因で製品と iPod の間の認証が失敗したとき。	ACCをOFF/ONしてください。

地上デジタルテレビ

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
受信できません。	地上デジタル放送の電波を受信できない。	「故障かな?と思ったら」の「地上デジタルテレビ」の「受信できない」(→P222)をご覧ください。
スキャンを実行してください。	選局用サービスリストにチャンネルが登録されていない。	チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P96)
チャンネルが登録されていません。	プリセットチャンネルリストにチャンネルが登録されていない。	
サービスが登録されていません。電波状況の良い場所でスキャンをしてください。	サービスが登録されていない。	
このチャンネルは登録できません。	ユーザープリセットにメモリーできないチャンネルを登録しようとした。	登録できるチャンネルを探して登録します。
現在、このサービスは視聴できません。	放送(サービス)としては存在するが、放送されていない。	—
映像情報がありません。	音声のみの番組です。	—
有料放送につき事業者との契約が必要です。	契約が必要な放送を選局している。	有料放送を見るときは、有料放送事業者との契約が必要です。有料放送事業者と契約をしてください。
有料放送です。本機では対応していません。	地上デジタルTVチューナーが対応していない有料放送(双方向通信を使うデータ連動放送、番組単位で購入できる有料放送(ペイ・パー・ビュー))を受信している。	地上デジタルTVチューナーが対応している放送に切り換えてください。

<p>地上デジタル TV で高温を検出しました。保護のため停止中です。 HEAT (ERROR-12) HEAT (ERROR-13)</p>	<p>地上デジタル TV チューナーの内部温度が高くなった。</p>	<p>地上デジタル TV チューナーが、正常に動作する温度になるまでお待ちください。改善されないときは、設置場所に問題がないか確認してください。 →『地上デジタル TV チューナーの取付説明書』</p>
<p>アンテナ接続エラーの可能性あります。 ANTENNA (ERROR-20)</p>	<p>地上デジタル TV チューナーのアンテナに不具合がある。</p>	<p>地上デジタル TV チューナーのアンテナに不具合がないか確認してください。 →『地上デジタル TV チューナーの取付説明書』</p>
<p>地上デジタル TV チューナーに不具合が発生した可能性あります。 ERROR-11 (ERROR-11)</p>	<p>地上デジタル TV チューナーに不具合がある。</p>	<p>地上デジタル TV チューナーのリセットボタンを押してください。 →『地上デジタル TV チューナーの取扱説明書』</p>
<p>IC カードを正しく装着してください。</p>	<p>B-CAS カードが装着されていない。</p>	<p>B-CAS カードが正しく装着されているか確認してください。 →『地上デジタル TV チューナーの取扱説明書』</p>
	<p>B-CAS カードが違う向きで装着されている。 B-CAS カード挿入口や B-CAS カードにゴミなどが付いている。</p>	
<p>この IC カードは使用できません。</p>	<p>B-CAS 以外のカードを装着している。</p>	<p>B-CAS カードを装着してください。 →『地上デジタル TV チューナーの取扱説明書』</p>
<p>ICカードの交換が必要です。</p>	<p>B-CAS カードが破損している。</p>	<p>B-CAS カードのカスタマーセンターに連絡して、B-CAS カードを交換してください。</p>

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICS サービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICS サービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4) VICS デスクランブラー

FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができません。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

(1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

(2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 1 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 1 当センターは、放送設備の保守上又は工
事上やむを得ないときは、VICS サービス
の利用を中止することがあります。
2 当センターは、前項の規定により VICS
サービスの利用を中止するときは、あ
らかじめそのことを加入者にお知らせし
ます。ただし、緊急やむを得ない場合は、
この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表 視聴料金

視聴料金：315円（うち消費税 15円）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

その他の情報

検索におけるデータベースについて

場所を探すベースとなっているデータによっては、表示されるポイント(位置)が実際のポイントと離れている場合があります。

タウンページデータについて

- NTT タウンページをもとに位置データを整備していますが、もとのデータそのものが間違っている場合もあります。また、住所番地が広大な場所やもとのデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示されます。
- 正確な位置に表示されない場所を目的地としてルートを設定したときは、その施設から離れた場所が最終の案内地になる場合があります。

自然物に関するデータについて

- 施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索のデータとして、タウンページのデータが収録されています。

ロゴマーク表示について

- ロゴマークの表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

ルートに関する注意事項

！ 注意

- ルート探索をすると、自動的にルート / 音声案内が設定されます。曜日、時刻規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。
- 運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
- なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- ルート探索は 100m スケールの地図に表示される道路を対象としています。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます(本州～北海道などのフェリーが運航されている場合には、航路を使うルートが探索されます)。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるわけではありません。
- 冬期通行止めなどにより通行できない道路を探索すると、エラーメッセージが表示されます。

ルート探索のしかた

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。
- 渋滞考慮ルート、有料道路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- 場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点※」付近に立寄地を設定してみてください。

※「大きな交差点」とは、細街路（100mスケールでグレー表示の細い道）以外の道どうしの交差点です。

ルートの道塗りについて

- 道路形状によっては、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、立寄地の前後では道塗りされない場合があります。このため、立寄地付近でルートが途切れたように見えることがあります。

音声案内について

- オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。ただし、その地点が右折などで案内が必要な場合は、通常の案内を行います。

交差点拡大図について

- 交差点拡大図は、交差点とその約150m手前の地点を結んだ線が上になるように表示されます。道路形状によっては、ヘディングアップにならない場合があります。
- 第1案内地点の案内地点での交差点拡大図は、表示されないことがあります。

ルート候補選択画面での有料料金について

- 特殊な料金体系の有料道路では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「〇〇円以上」と表示されます。
- 料金計算ができないルートの場合は、「不明」と表示されます。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 有料道路上およびランプ上からルートを探したときや、有料道路上に目的地や出発地を設定したときは、有料道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 有料料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。

オートリルートについて

目的地、立寄地付近の時間規制がある場合は、規制を無視するルートを引く場合があります。

VICS 情報に関する注意事項

FM 多重放送について

- VICS センターからの FM 多重放送を使用した VICS 情報は、NHK-FM の FM 多重放送の電波によって提供されます。
- 一定周期で情報が更新されるため、情報が集まるまで時間がかかります。
- 放送時間は、放送局によって異なります。VICS センター情報などで確認してください。

VICS センターのお問い合わせ先

VICS の概念、計画、または FM 多重放送により提供される VICS 情報に関することは、(財) VICS センターへお問い合わせください。

電話受付時間：9:30～17:45

(土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く)

電話番号：0570-00-8831

(ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます)

PHS からは (東京) 03-3592-2033

(大阪) 06-6209-2033

FAX 受付時間：24 時間

FAX 番号：03-3592-5494 (全国)

また、VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などは下記のホームページでご覧いただけます。

URL：<http://www.vics.or.jp/>

阪神高速道路株式会社からのご連絡

阪神高速道路にはネットワークの未整備区間を補完するため、乗継券を受け取り、一般道路を経由したあとにその乗継券で再度、通行料金を支払わずに阪神高速道路を利用できる「乗り継ぎ区間」があります。(乗り継ぎ区間では ETC が利用可能)。また、「乗り継ぎ区間」の詳細につきましては、以下をご覧ください。

3号神戸線(京橋・摩耶出入口) ⇔ 5号湾岸線(住吉浜出入口)

4号湾岸線(大浜出入口) ⇔ 15号堺線(堺出入口)

3号神戸線(中之島西出口) → 1号環状線(堂島入口)

16号大阪港線(波除出口) → 1号環状線(堂島入口)

3号神戸線(中之島西出入口) ⇔ 16号大阪港線(波除出入口)

3号神戸線(生田川出入口) ⇔ 7号北神戸線(箕谷出入口)

31号神戸山手線(神戸長田出入口) ⇔

3号神戸線(柳原 東行入口、柳原 西行出口)

収録データベースについて

地図データについて

- 日本測地系に対応しています。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。
(測量法第44条に基づく成果使用承認 90-063)[2009年3月発行データ使用]
- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なる場合がありますのでご了承ください。

有料道路料金データについて

- 本製品に使用している有料道路の料金データは、2009年10月1日現在(2009年3月調査時点)のものであります。

VICSサービスエリアについて

- 本製品に収録されているVICSエリアは下記の都道府県が対象となります。
北海道(北見)(旭川)(札幌)(釧路)(函館)、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県、栃木県、群馬県、茨城県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、石川県、福井県、富山県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- VICSサービスエリアが拡大されても、本製品では新しく拡大されたサービスエリアでのレベル3(地図表示型)表示はできません。

その他情報提供元

- NTT情報開発株式会社(2009年3月現在のタウンページデータ)
- 財団法人交通事故総合分析センター(1999年度統計による危険地帯データ)
- (株)IMJモバイル(2008年10月現在の駐車場データ)



メモ

- 収録データベースに誤字、脱字、位置ずれなどの表記上または内容上の誤りがあっても弊社では保証するものではありません。

索引

用語索引

五十音順

あ行

明るさ調整	182
アシスト字幕	132
アンテナコントロール	191
案内開始画面	50
案内地	59
イコライザーカーブ	28,184
イコライザー設定	184
イジェクトボタン	113
一時停止	140,141,146
一時的に画面を消す	182
一方通行表示	167
イルミネーションカラー設定	180
インジケーター付リスト	16
インターネットプロバイダ	173
右左折専用レーン案内	20,169
映像切換	99
エクスターナルユニット	152
エラーメッセージ	223
エリアプリセット	86
エンファシス	212
オートハイウェイモード	19
オーディオブック	144
お出かけメニュー	
最近探した場所	37
ジャンル	34
住所	33
周辺施設	35
電話番号	36
登録した場所	37
マップコード	38
名称	32
オート	79
オートアンテナ	191
オートプレイ	135
オートリルート	61
オリジナルリスト	121
音送り	16
音響効果 → イコライザーカーブ	28
音声案内	20,60
音声切換	97,116,122,128
音声言語	116,122,128
オンデマンドVICS	74,80
オンデマンドVICS専用サーバー	74

か行

カスタム色	180
カーソル	203
カテゴリ	140
カバーアート	141
記号・マーク	206
規制表示	168
機能設定	166
行送り	16
キーワード検索	32
緊急情報の自動表示	77
禁止マーク	111,114,120,123,126,127
携帯電話	156
ケータイ地図MapFan	40
言語設定	132
現在地画面	17
検索できるジャンル	34
高音域	185,187
交差点案内表示	59,168
交通規制情報	75
交通障害情報	75
交通情報	75,89,92
ここへ行く	48
ここを登録する	66
誤差	215
コーデック	150
コピーガード機能付きCD	208
コマ送り	114,123,127

さ行

最近探した場所から探す	37
サイドマップ	21,24
サービスエリア	22
サービス切換	98
サブウーファース	188
サブジャンル	34
サンプリング	150,212,213
シーク	79
市区町村名	33
自宅(目的地)	49
自宅を登録する	66
視聴制限	134
字幕切換	98,116,122,128,136
字幕言語	116,122,128
車速パルス	197
シャッフル	143

車両情報設定	170	ソースレベルアジャスター	189
ジャンクション	22		
ジャンルで探す	34	た	
十字カーソル	32	タイトルサーチ	117
渋滞考慮	61	ダイレクトサーチ	115
渋滞考慮オートリルート	61,167	ダイレクトタッチ	112
渋滞考慮オートリルート自動選択	167	タウンページ	229
渋滞考慮ルート探索	49	立寄地	54
渋滞情報	74,75	先送り	57
渋滞情報取得開始設定	81,169	消去	55
渋滞情報点減表示	168	追加	55
渋滞情報表示	168	並べ替え	55
渋滞情報連続取得設定	81	タッチパネル	12
周波数	79	タッチパネルキャリブレーション	181
周辺施設	35	タッチパネル調整	181
主音声	97	単位	206
受信感度	79	短縮ダイヤル	36
出発地	56	地上デジタルテレビ	140
順調表示	168	地画色切換	167
消音	192	地画で探す	32
消去		地デジ → 地上デジタルTV	95
走行軌跡	72	地点の登録	66
電話発着履歴	162	チャプター	210
登録した場所・よく行く場所	71	チャンネルスキャン	93,96
詳細情報	39,77,106	チャンネルリスト	94
詳細設定	185	中音域	185,186,187
ショートカットメニュー	15	駐車場情報	75
自立航法	214	駐車場情報マーク表示	168
人工衛星	214	通行止め	62
スカイビュー	19	通信機器	173
スキャン	93,96	通信接続設定	173
スキャン再生	104,108,149	低音域	185,186,187
スクロール	17	ディスク	111,120,126
図形情報(VICS情報の)	78	ディスクメニュー	112,123,126
スケール	18	ディスクメニュー操作タッチキー	112
スマートループ	74,80	デモ走行	52
スロー	114,123,127	テレビアスペクト	133
セカンダリDNS	178	電話をかける	
接続ID	178	登録された電話番号	160
接続先電話番号	178	到着予想時刻	58
接続先名称	178	到着予想時刻速度(一般道)	168
接続状態	197	到着予想時刻速度(有料道)	168
接続パスワード	178	登録した場所の効果音	70
設定地点リスト	51	登録した場所の名称	69
セーフティインフォメーション	20	登録した場所のヨミ	69
センター情報(VICSセンター)	78	道路交差情報通信システム	75
走行軌跡自動消去	167	都市高速道路入口	59
走行軌跡表示	167	トップメニュー	112
走行軌跡を消去する	72	トラック	102,105,140,141,146
走行履歴	80		

な行

ナビゲーション画面	13
ナビゲーションの音量調整	172
ナビスタナビ	182
ノーマル	188
ノーマルビュー（ノースアップ）	18
ノーマルビュー（ヘディングアップ）	18

は行

ハイウェイモード	19
ハイパスフィルター	189
パーキングエリア	22
バージョン情報	198
バスブースター	190
パスワード	178
バックカメラ	164
バック信号	197
発信者番号通知サービス	157
早送り	102,105,120,140,141,146
早戻し	102,105,120,140,141,146
パレンタルロック → 視聴制限	134
番組情報	93
ハンズフリー通話	156
バンド	87,97
ビットレート	150,212,213
ファイナライズ	208
ファクトリーカーブ	185
ファンクションメニュー	29
フェーダー/バランス設定	184
フォルダー	107,108,126,130,211
副音声	97
ブックマーク	112
物理チャンネル	92,95
踏切案内	20,169
プライベートマッピング	70
プライマリDNS	178
プリセット	86
プレイリスト	117,121
フレームレート	150
プロバイダ	173
プロバイダリスト	176
プローブ情報送信設定	169
分岐先	22
ページ送り	16
編集	69
放送局（VICS情報）	79
放送局名	79
方面案内表示	168
ボタン	12

ポート番号

178

ま行

マーク（登録した場所）	69
マークリスト	70
マップコード	38
マップマッチング	215
マニュアル	79
マニュアルプリセット	87,96
マルチアングル	117,133
マルチ音声	116,122,128
マルチ字幕	116,122,128
マルチセッション	211
メディア	103,106,129
メニュー	13,112
メモリダイヤル	158,160
メモリーデバイス	200
文字情報（VICS情報）	77
文字の種類を切り換える	200
文字の入力操作	200
大文字	201
漢字に変換	204
記号	206
小文字	201
種類	200
スペース	203
全角	201
半角	201
文字を削除する	203
文字を入力する	202
モード切換	121

や行

有料道路注意地点	20
有料道路使用条件	167
有料道路分岐	59
ユーザープリセット	86
よく行く場所	44
ヨミ（登録した場所）	69

ら行

ライト点灯案内	169
ラウドネス	187
ラジオ	86
ランダム	104,107,149
リージョン番号	209
リスト	16,79,121
リニアPCM	118,124
リバース	188
リピート	103,107,118,124,130,143,148

リフレッシュ案内	20,169
料金所	21,23
旅行時間情報	75
ルート	229
ルート案内	58
ルートインフォメーション	58
ルート再探索	61
ルート消去	63
ルートスクロール	52
ルート探索	
渋滞考慮ルート探索	49
ルート探索基準	167
ルートプロフィール	51
ルートを探索させる	48
レーン情報	58
レベル 1：文字	75
レベル 2：簡易図形	75
レベル 3：地図	75
レンタルコンテンツ	129
ロゴマーク	
表示設定	170
ロータリーボリューム&セレクター	12

わ行

ワイドスクリーン	144
ワイドモード	192
ワンセグ	92

数字・アルファベット順

数字

2D マーク	70
2カ国語放送	97
2次元測位	214
2次元バーコード → マップクリップ	40
3次元測位	214
10キーサーチ	115,123,126,148
16:09	133
50音タブ	16

A

AAC	105,211,213
AV1入力	191
AV2入力	191
AV設定	183
AVソース	26
AVソース画面	13
AVソースプレート	27,113,121,127

B

BSM	88
-----	----

C

CD	102,105
CD TEXT	102
CHAPTER	118,124
CMスキップ	120
CMバック	120
CUSTOM1	185
CUSTOM2	185

D

DDCD	208
DISC	103,107,118,124,130
DivX	125,213
DivX VODコード	135
Dolby D	116,122,128
DTS音声	116,122,128
DVD	110,125
DVD-VR	119
DVD機能設定	131

E

EQ	28
ETC車載器	23
ETCレーン案内	23
ETCレーン案内表示	168

- F**
- FILE 126,130
 - FLAT 184
 - FM多重放送 79,231
 - FOLDER 107,126,130
- G**
- GPS 214
 - GPSアンテナ 197
 - GPS受信状態 196
- I**
- IC 21
 - ID 178
 - ID3 Tag 212
 - iMapFan (アイマップファン) 40
 - Info 106,147
 - iPod 140
 - ISO9660 211
- J**
- JCT 21
 - Joliet 211
- L**
- L/R切換 118,124
 - LETTER BOX 133
 - Liteメニュー 44
- M**
- m3u 211
 - MP3 105,211,212
 - MUTE 192
- N**
- NATURAL 184
- P**
- PA 21
 - PANSCAN 133
 - POWERFUL 184
 - Proxyサーバー 178
- Q**
- QRコード → マップクリップ 40
- R**
- ROM 105
 - Romeo 211
- S**
- S.BASS 184
 - SA 21
 - SDメモリーカード 146
 - SEEK 92,95
- T**
- TIME 126
 - TITLE 118,124
 - TRACK 103,107
 - TV表示設定 94
- U**
- USBメモリー 146
- V**
- VICS 75
 - VICS (Vehicle Information & Communication System) 75
 - VICS情報提供時刻 76
 - VICS情報の表示形態 75
 - VICS情報表示対象道路 168
 - VICS情報マーク 77
 - VICS情報を見る 76
 - VICSセンター 74,231
 - VOCAL 184
- W**
- WMA 105,211,212

記号・マーク一覧

地図関連			
高速・有料道	港、フェリー乗り場	寺院	
国道	タワー	教会	
主要地方道	灯台	城、城跡	
都道府県道	墓地	牧場	
一般道	公共施設	デパート	
細街路	警察署、交番	DIYショップ	
鉄道	消防署	ホテル	
都道府県境	病院		
国道番号	郵便局	検索・ルート関連	
都道府県道番号	NTT	目的地	工事
有料道道路番号	各種学校	立寄地	作業
一方通行	小学校	出発地	事故
海・川・湖沼	中学校	案内地	障害物・路上障害
緑地	大学	案内中ルート(有料道)	入口制限
施設敷地	自動車学校	案内中ルート(一般道)	入口閉鎖
施設	温泉	案内中ルート(細街路)	駐車場(空車)
駅舎	遊園地・その他		駐車場(混雑)
インターチェンジ/ランプ名	キャンプ場	目的地	駐車場(満車)
交差点名	ゴルフ場	立寄地	駐車場(閉鎖)
信号機	野球場	出発地	駐車場(不明)
指示点	体育館	案内地	気象
山岳	スキー場	案内中ルート(有料道)	行事
公園	海水浴場、プール	案内中ルート(一般道)	災害
工場	ヨットハーバー	案内中ルート(細街路)	火災
トンネル出入口	モータースポーツ		原因/事象なし
サービスエリア	テニスコート	渋滞情報関連	
パーキングエリア	美術館、博物館	渋滞	一般道：白枠 有料道：青枠 ※スマートループ 渋滞情報：点線
料金所	動物園	混雑	
駐車場、道の駅	植物園	順調	
空港、民間飛行場	水族館	規制区間	入口閉鎖・通行止
ヘリポート	ホール・劇場	入口閉鎖・通行止	速度規制
	神社	進入禁止	通行止め・閉鎖
		大型通行止め	対面通行
		対面通行	片側交互通行
		片側交互通行	徐行
		徐行	車線規制
		車線規制	チェーン規制
		チェーン規制	凍結
		凍結	故障車
		故障車	

※記号やマークは、ビューヤスケールによって表示されない場合があります。
 ※実際の色と異なる場合があります。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる **☎**フリーコール および **☎**フリーダイヤル は、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

●カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話： **☎** 0120-944-111 【一般電話】 03-5496-8016 FAX： 03-3490-5718

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

カーナビゲーションの通信サービスやネットワーク接続（携帯電話、Bluetooth接続は除く）に関するご相談窓口

パイオニアモバイルネットワークス株式会社

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜 9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話： **☎** 0120-702-383 【一般電話】 03-3495-9963

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

電話： **☎** 0120-5-81028 コーパイオニア 【一般電話】 03-5496-2023 FAX： **☎** 0120-5-81029

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair.html>

※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：【一般電話】 098-879-1910 FAX： 098-879-1352

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜 9：30～12：00、13：00～18：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話： **☎** 0120-5-81095 【一般電話】 0538-43-1161 FAX： **☎** 0120-5-81096